

デジタルモンスター
DIGITAL MONSTER
ART BOOK Ver.1~5 & 20th

Kenji Watanabe




KENJI

デジタルモンスター DIGITALMONSTER ART BOOK Ver.1~5 & 20th

CONTENTS

Kenji Watanabe Special Illustration ―――― P002

Chapter1>>> DIGITALMONSTER ART WORK **P005**

ART WORK ―――― P006

デジコラム1 いろいろなアグモン ―――― P019

デジコラム2 玩具「Ver.20th」大解剖!! ―――― P059

デジコラム3 デジモンの分類 ―――― P083

デジコラム4 10周年&15周年デジモンの誕生 ―――― P101

デジコラム5 ロイヤルナイツ ―――― P150

Chapter2>>> Making of DIGIMON **P151**

デジタルモンスター誕生秘話 ―――― P152

デジタルモンスターの生態 ―――― P156

デジモンの住む世界「デジタルワールド」 ―――― P158

デジモンイラストができるまで ―――― P160

デジタルモンスターVer.1～5のキセキ ―――― P162

液晶玩具「デジタルモンスター」の進化 ―――― P164

渡辺けんじ スペシャルインタビュー ―――― P168

デジモンなんでも比較 ―――― P172

Chapter3>>> DIGIMON DATA **P177**

「Ver.20th」デジモン進化系譜 ―――― P178

デジタルモンスタープロフィール ―――― P183

50音引き索引 ―――― P198

Chapter1>>>

DIGITALMONSTER ART WORK

「デジタルモンスター Ver.20th」に収録されている、全デジモンの公式イラストを収録。
デジモンたちのユニークな生態や、イラストの制作過程が
感じられる、サブカットにも注目して欲しい。



「デジタマ」の見方

『デジタルモンスターVer.20th』に収録されている、どのデジタマから育成可能かを表します。
一部のカラーでのみ育成可能なデジモンがいます。

※ ※ ………すべてのカラーで育成可能。

………「オリジナルブラウン」にのみ収録。

………「オリジナルグレー」にのみ収録。

………「アルファモンカラー」にのみ収録。

………「ズバモンカラー」にのみ収録。

………「オメガモンカラー」にのみ収録。

※「アルファモンカラー」「ズバモンカラー」
「オメガモンカラー」でのみ分岐します。

ボタモン
BOTAMON

幼年期Ⅰ
スライム型

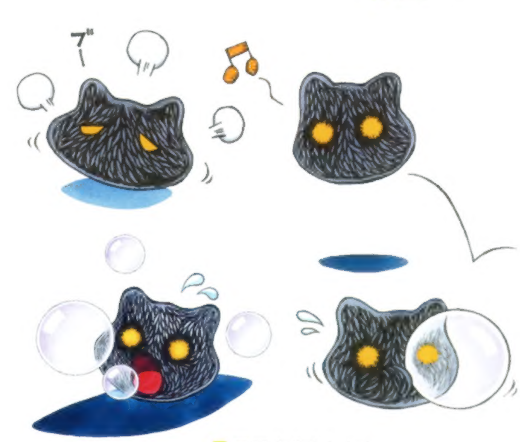


デジタマ>>> 





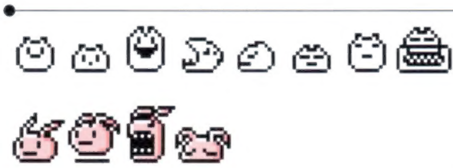
線画>>>



アラカルト>>>

コロモン
KOROMON

幼年期Ⅱ
レッサー型



デジタマ>>> 





線画>>>



アラカルト>>>

ベタモン

BETAMON

成長期
ウィルス種
両生類型



デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>







アグモン

AGUMON

成長期
ワクチン種
爬虫類型

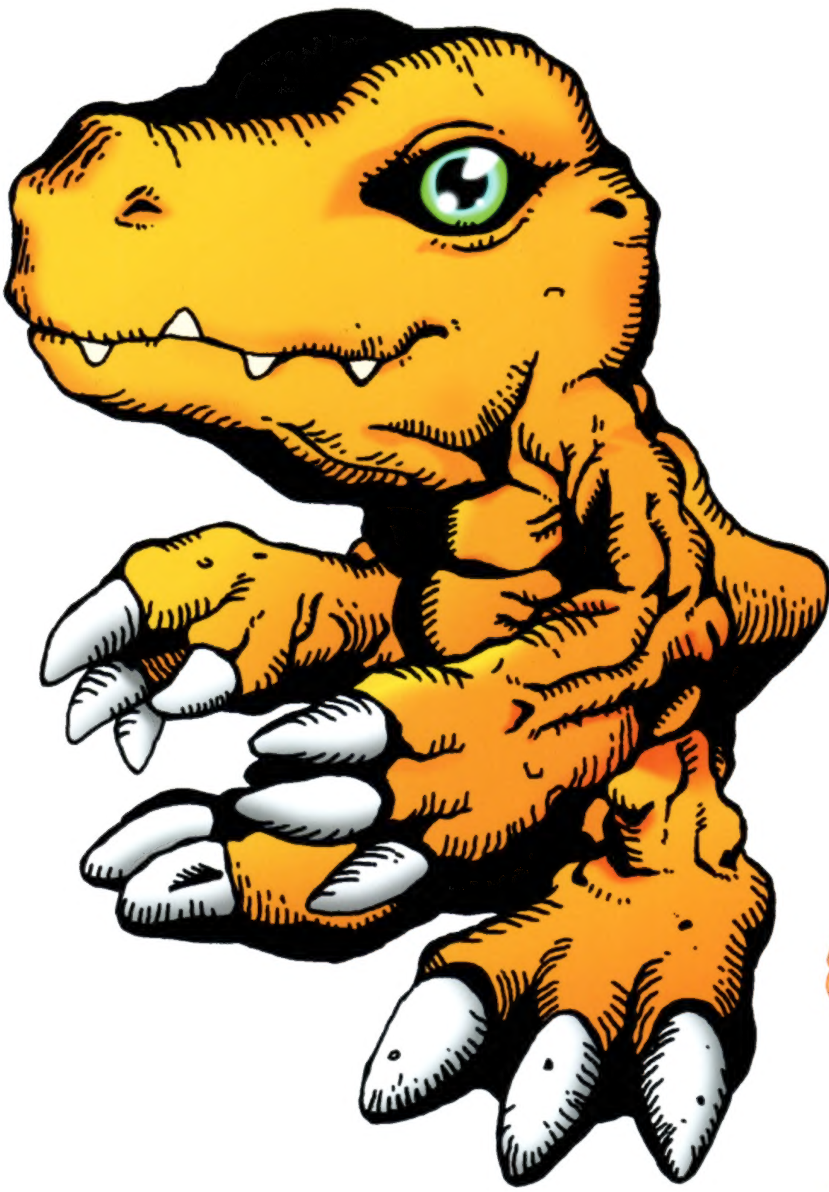


デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>



ティラノモン

TYRANOMON

成熟期
データ種
恐竜型



デジタマ>>> 



線画>>>





アラカルト>>>









グレイモン

GREYMON

成熟期
ワクチン種
恐竜型



デジタマ>>>



線画>>>







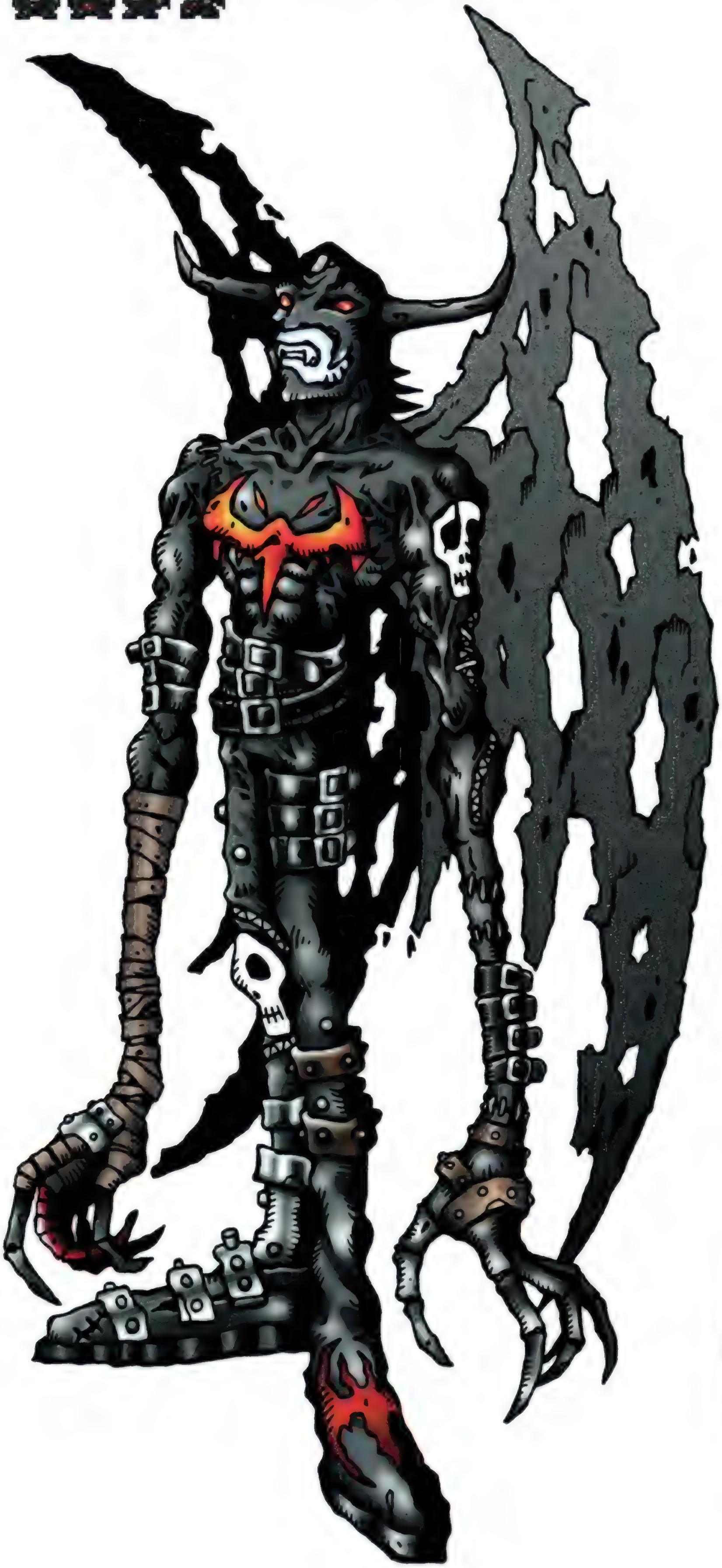
アラカルト>>>

デビモン

DEVIMON

成熟期
ウィルス種
堕天使型





デジタマ>>>



線画>>>







アラカルト>>>





メラモン

MERAMON

成熟期
データ種
火炎型





デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>



エアドラモン

AIRDRAMON

成熟期
ワクチン種
幻獣型



デジタマ>>>



線画>>>



アラカルト>>>

シードラモン

SEADRAMON

成熟期
データ種
水棲型



デジタマ>>>







線画>>>



アラカルト>>>



ヌメモン

NUMEMON

成熟期
ウィルス種
軟体型



デジタマ>>> 



線画>>>





アラカルト>>>









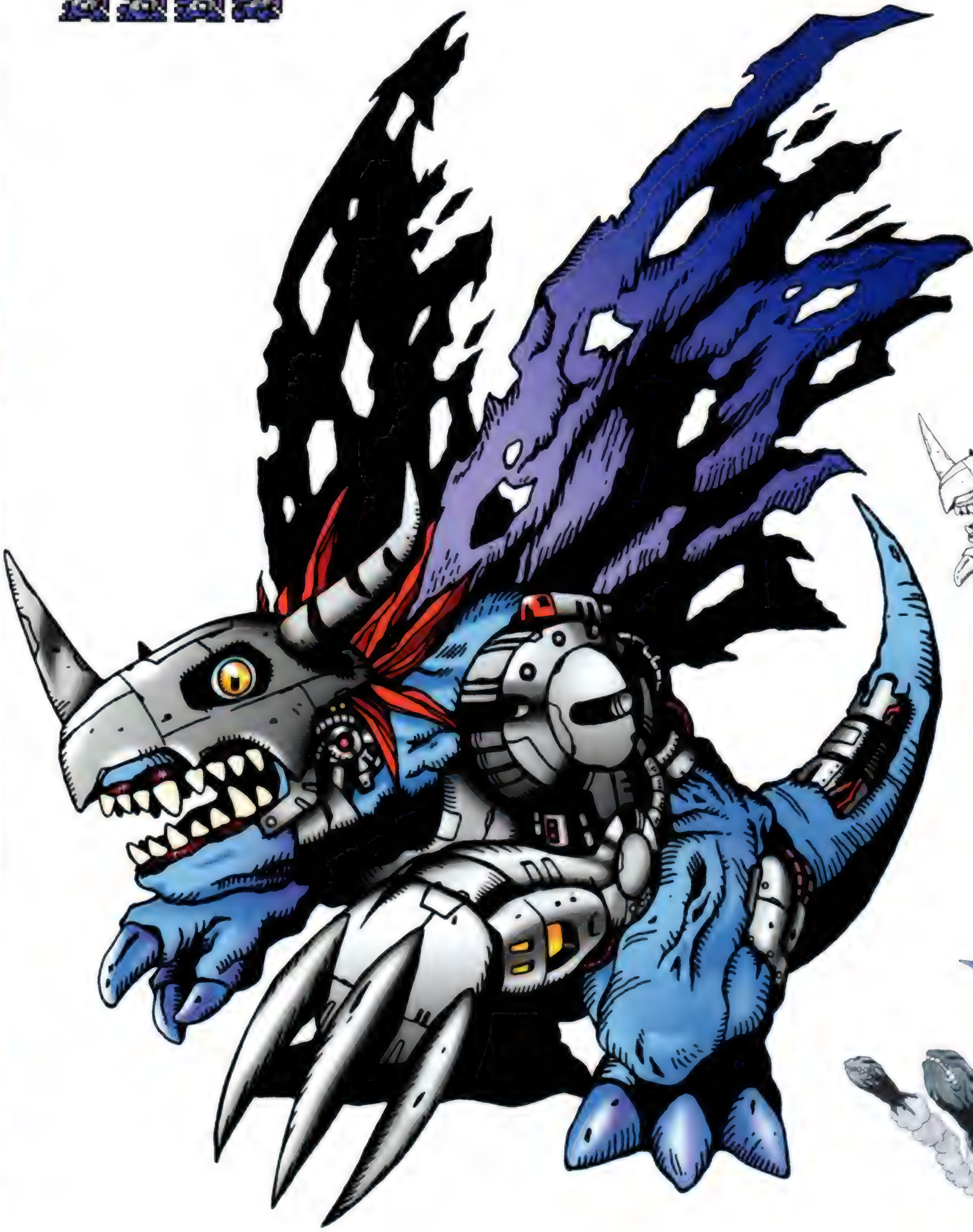
メタルグレイモン（ウィルス種）

METALGREYMON

完全体
ウィルス種
サイボーグ型

デジタマ>>>







線画>>>



アラカルト>>>

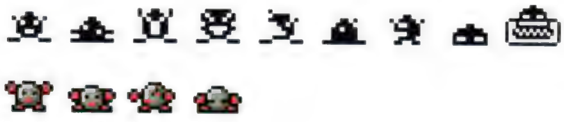




マメモン

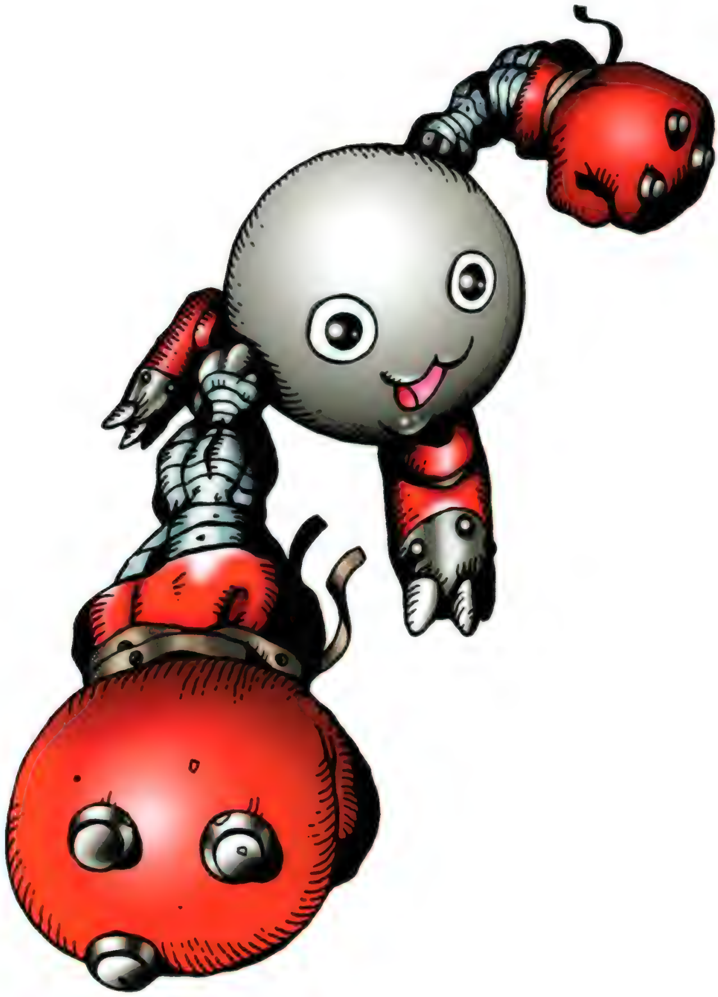
MAMEMON

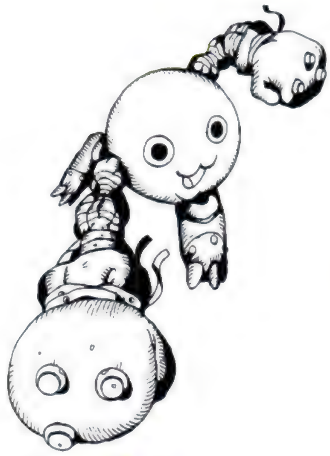
完全体
データ種
突然変異型



デジタマ>>>



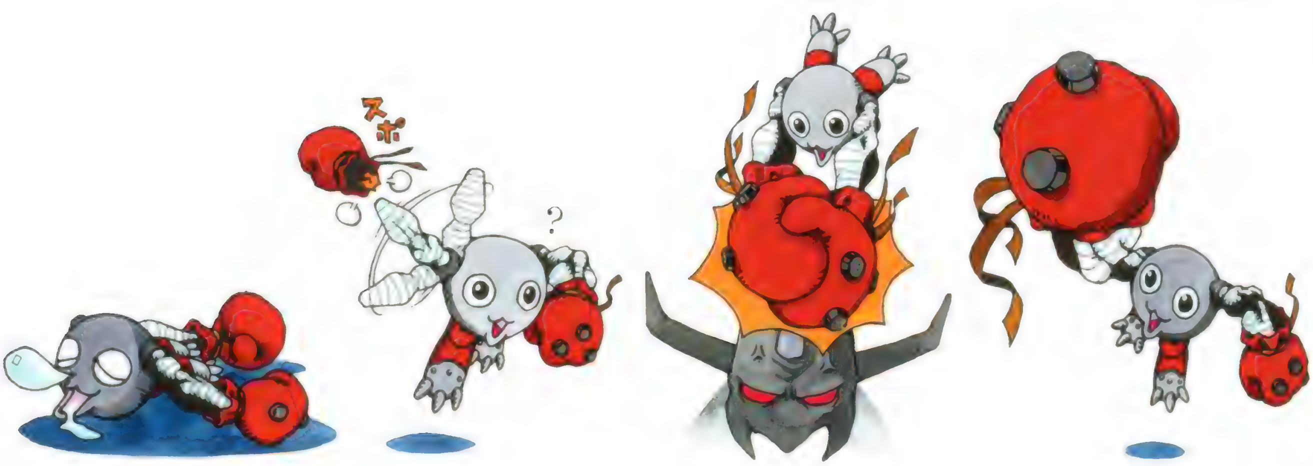




線画>>>



アラカルト>>>

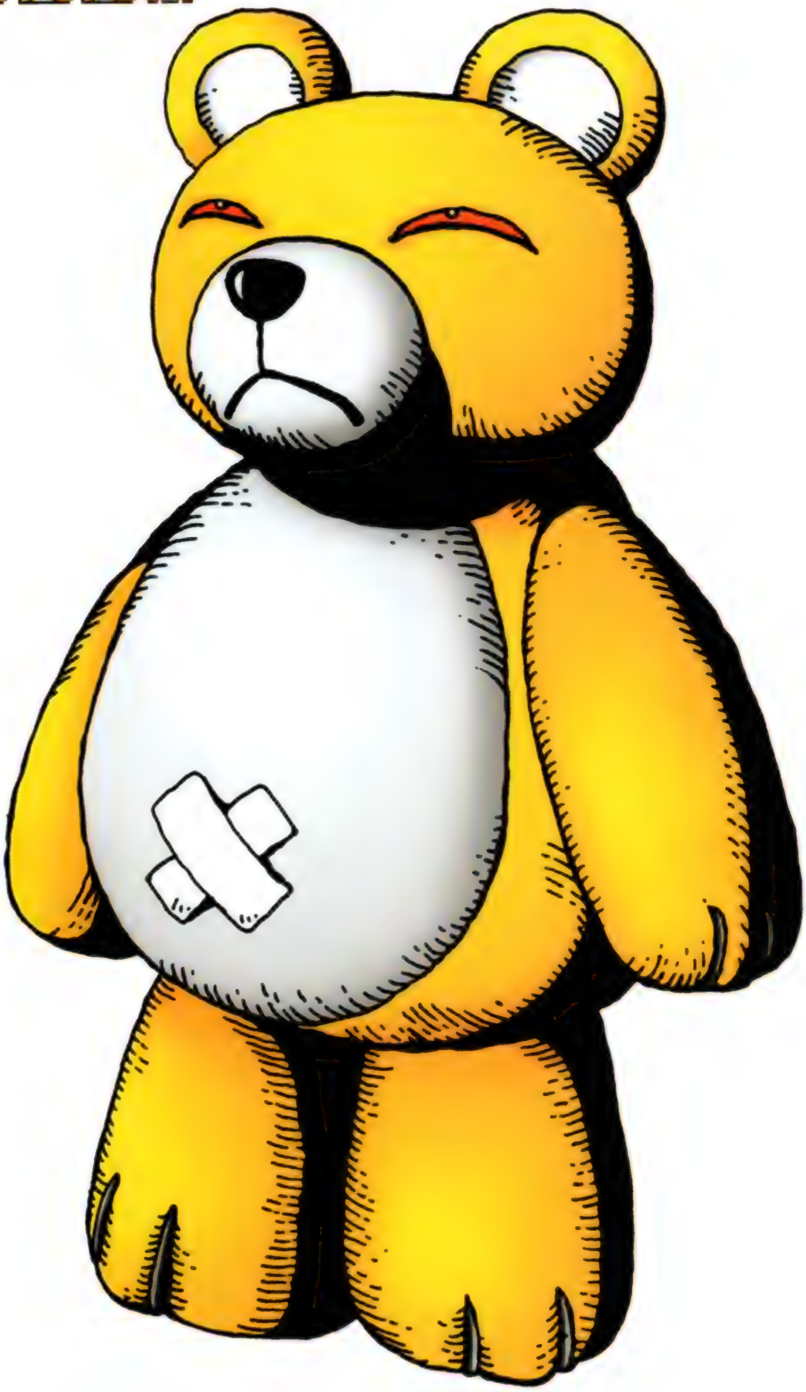


もんざえモン

MONZAEMON

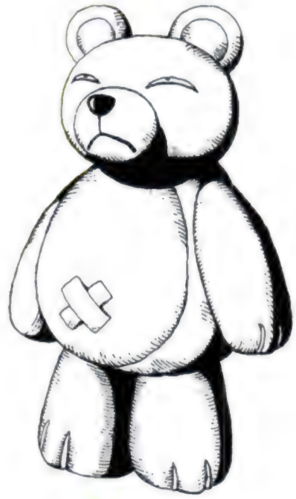
完全体
ワクチン種
パペット型





デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>





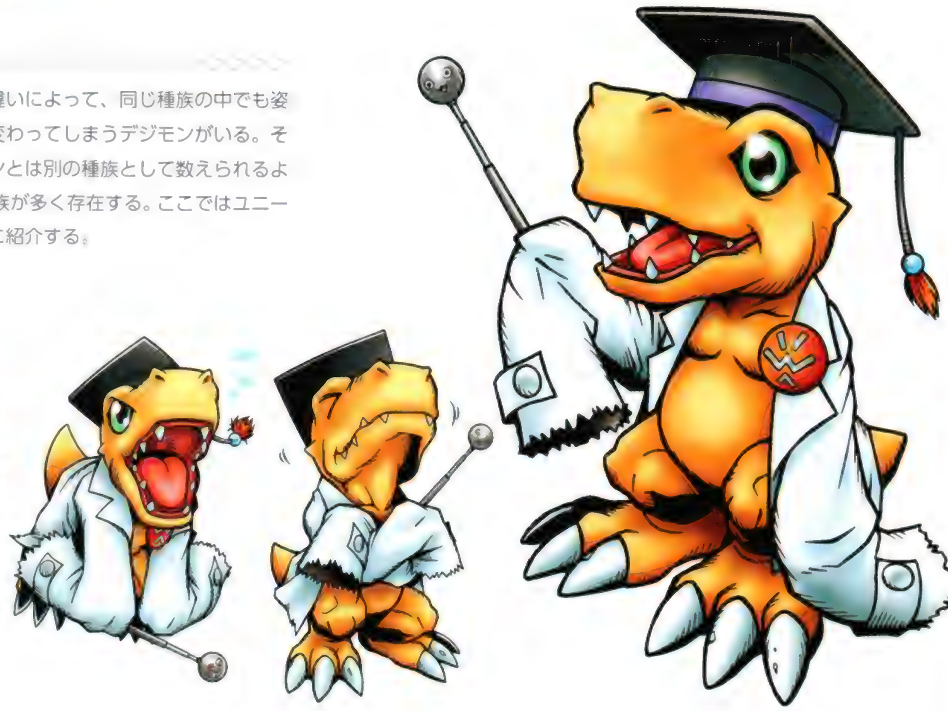




デジコラム1

いろいろなアグモン

取り込んだデータや生育環境の違いによって、同じ種族の中でも姿や形、デジコアの内部構造まで変わってしまうデジモンがいる。それらのデジモンは、元のデジモンとは別の種族として数えられるようになる。特にアグモンは、別種族が多く存在する。ここではユニークな「アグモン」の数々を一挙に紹介する。



アグモン博士
[成長期／恐竜型／ワクチン]

デジタルワールド大学のデジタルモンスター学博士号をもつ天才アグモン。肩書きは自身によるものだが、デジモンの種類や生態にとても詳しい。言葉の語尾に「ギャ」をつける独特の喋りで、遠方の出身ではないかと考えられている。



アグモン(2006アニメ版)
[成長期／恐竜型／ワクチン]

腕に赤い革ベルトを巻き、その成長は従来とは異なると推測されている。必殺技に「ベビーフレイム」を口に溜め一気に吐き出す「ベビーバーナー」もある。



アグモン(X抗体)
[成長期／恐竜型／ワクチン]

デジモンをバグにかからせ、デジコアの機能を停止させる「Xプログラム」。逆にプログラムを取り込み「X抗体」を作り出し、より強力な姿となったアグモン。



アグモン(黒)
[成長期／爬虫類型／ウィルス]

ウィルス種になったアグモンで、体の色も黒くなった姿。ワクチン種のアグモンよりも性格がさらに獰猛となり、手なずけるのが難しくなっている。



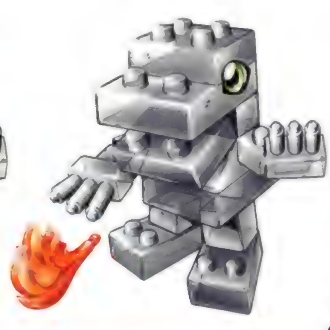
ユキアグモン
[成長期／恐竜型／ワクチン]

雪原に住むアグモン。雪が降ったときの子どものように、いつもハシャギまわるやんちゃな性格。体の色が雪と同じなため、戦いのときはバレずに近づける。



トイアグモン
[成長期／パペット型／ワクチン]

全身が特殊プラスチックのブロックでつくられたアグモン。臆病な一面があり、驚くとブロックがバラバラになってしまう。だが正義感が強く、子どもが大好き。



トイアグモン(黒)
[成長期／パペット型／ウィルス]

黒く染まったトイアグモン。ネットワーク上でコンピュータウィルスに犯され、子どもをイジメるオモチャになってしまう。必殺技は「トイフレイム」。



ブシアグモン
[成長期／恐竜型／ワクチン]

流浪の超剣士。胸の家紋は超剣士たる証…という肩書きはブシアグモン自身によるもの。くり出す剣技は一流のものだが、「超剣士」の意味は未だに謎。



ニセアグモン博士
[成長期／恐竜型／ウィルス]

アグモン博士にライバル心を持ち、困らせるためのアイデア研究を欠かさず行っている。だが、デジモンの生態には詳しくなく、平気でウソの情報を流す困り者。

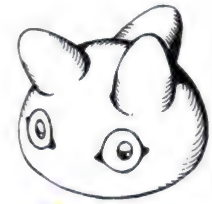
プニモン

PUNIMON

幼年期 I
スライム型



デジタマ>>> 



線画>>>



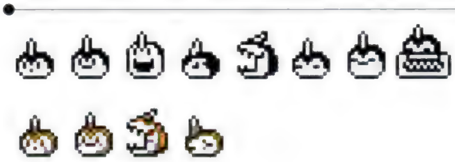


アラカルト>>>

ツノモン

TUNOMON

幼年期 II
レッサー型



デジタマ>>> 





線画>>>



アラカルト>>>

ガブモン

GABUMON

成長期
データ種
爬虫類型

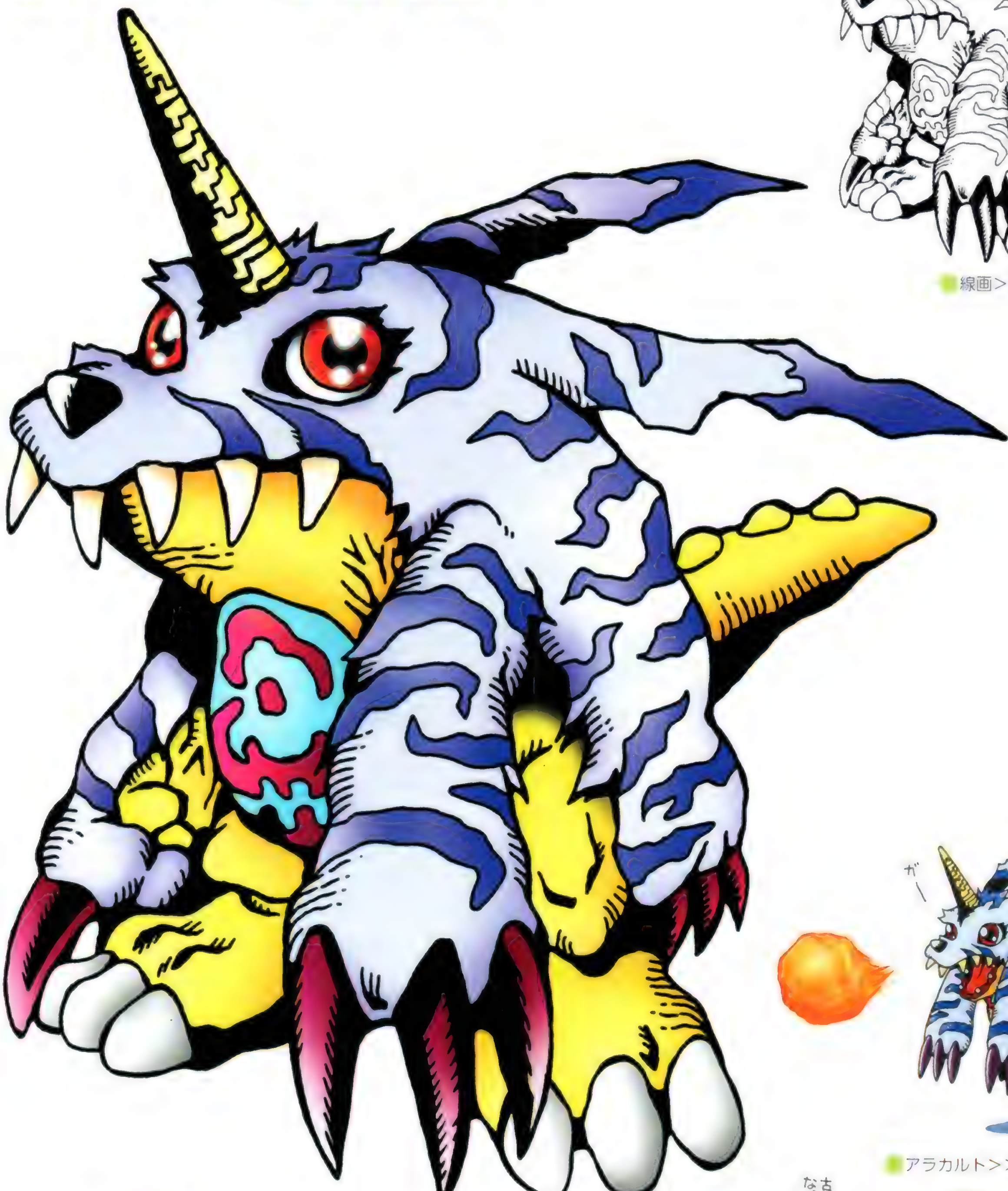


デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>



エレキモン

ELECMON

成長期
データ種
哺乳類型



デジタマ>>> 



線画>>>





アラカルト>>>

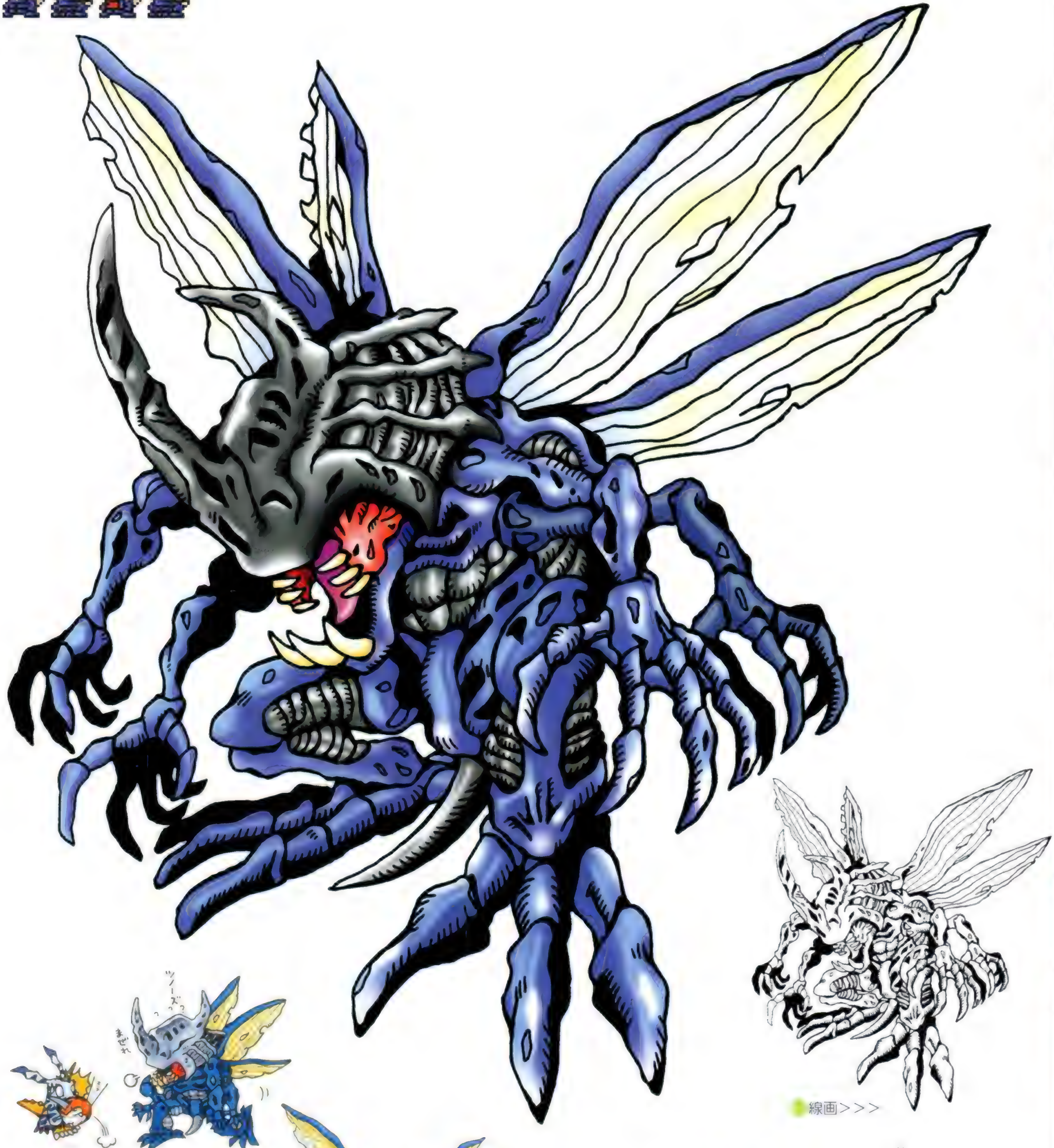
カブテリモン

KABUTERIMON

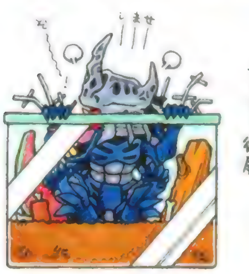
成熟期
ワクチン種
昆虫型

デジタマ>>>





線画>>>











アラカルト>>>

ガルルモン

GARURUMON

成熟期
ワクチン種
獣型



デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

エンジェモン

ANGEMON

成熟期
ワクチン種
天使型





デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>

ユキダルモン
YUKIDARUMON

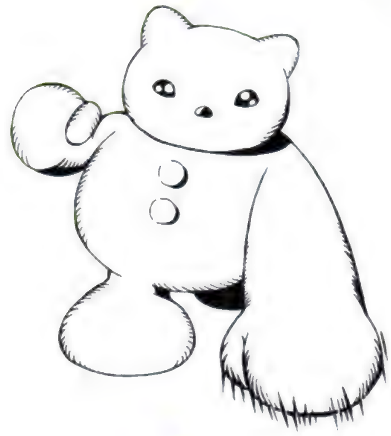
成熟期
ワクチン種
氷雪型



デジタマ>>>







線画>>>











アラカルト>>>

バードラモン

BIRDRAMON

成熟期
ワクチン種
巨鳥型



デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

ホエーモン（ファイル島近海）

WHAMON

成熟期
ワクチン種
水棲型

デジタマ>>>







線画>>>



アラカルト>>>

ベジーモン

VEGIMON

成熟期
ウィルス種
食虫植物型





デジタマ>>> 



線画>>>



アラカルト>>>



スカルグレイモン
SKULLGREYMON

完全体
ウィルス種
アンデッド型



デジタマ>>> 





線画>>>





アラカルト>>>

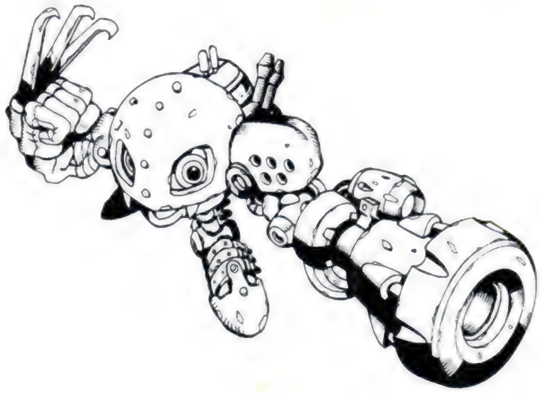
メタルマメモン
METALMAMEMON

完全体
データ種
サイボーグ型

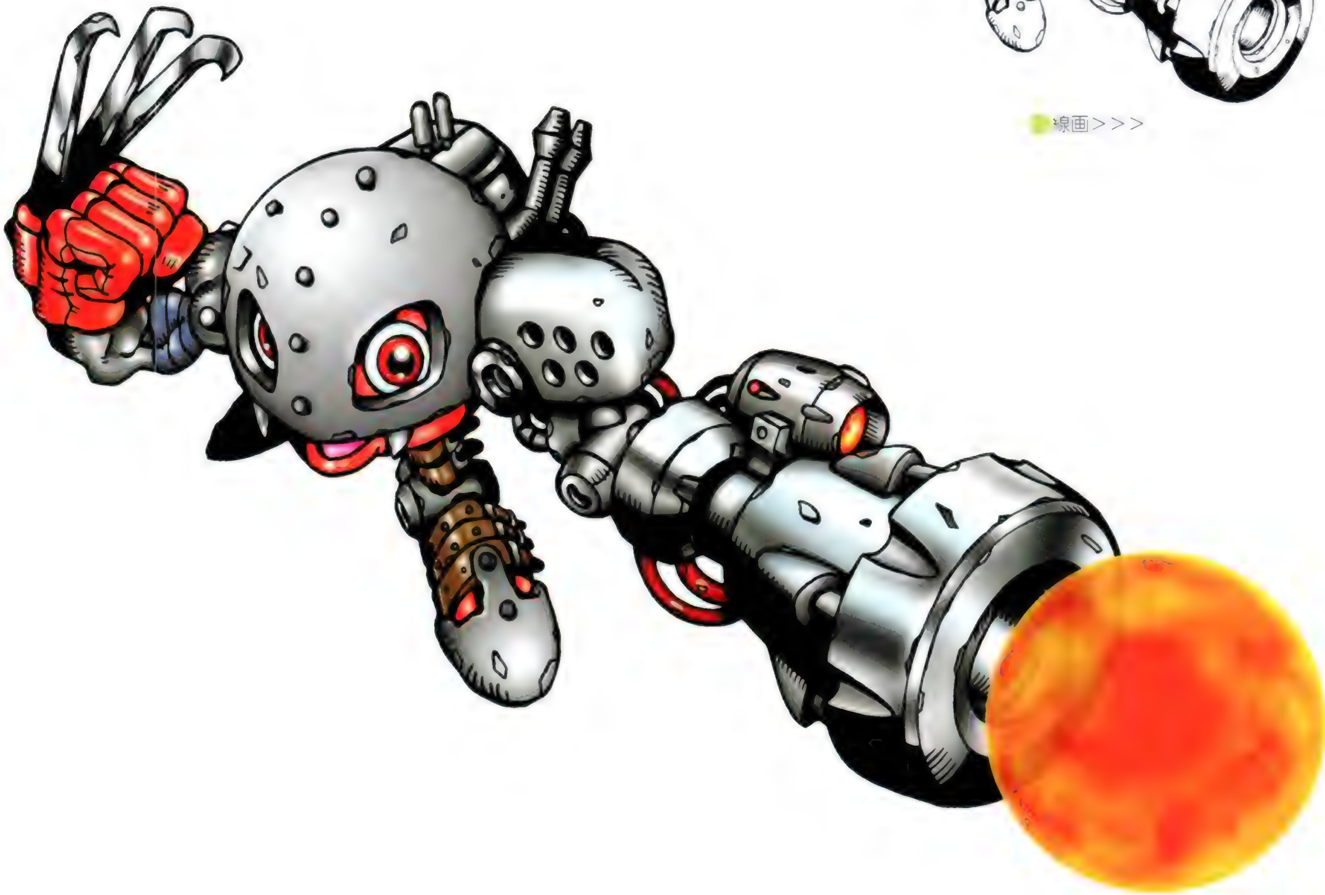


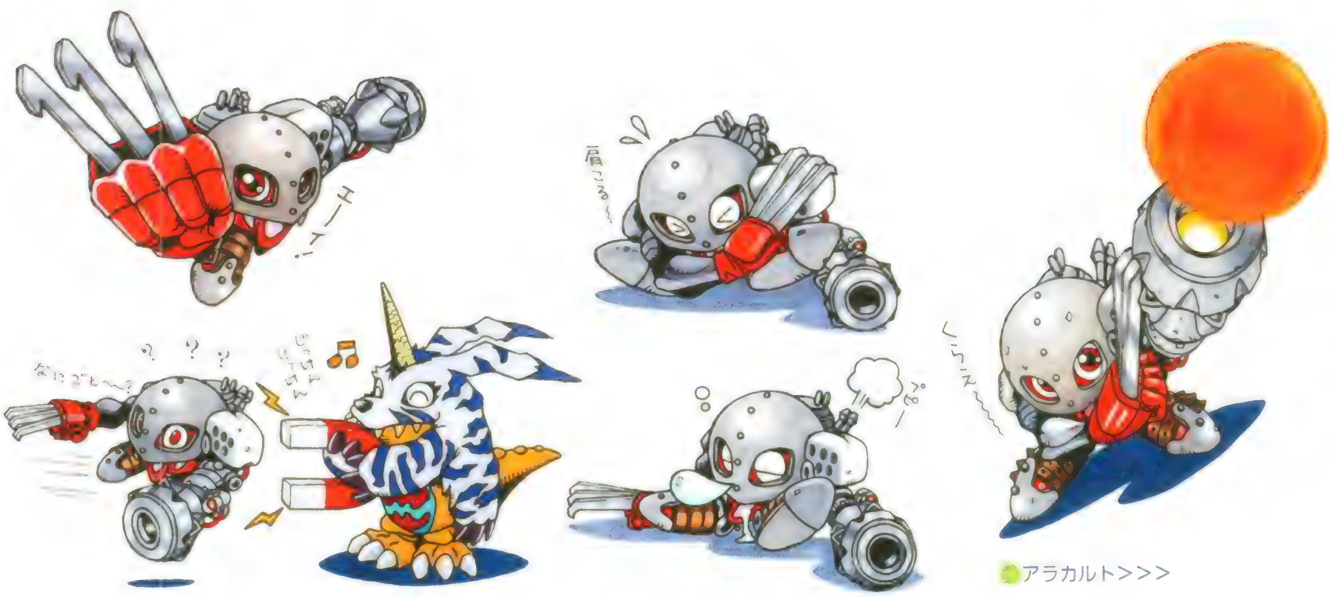
デジタマ>>>





線画>>>



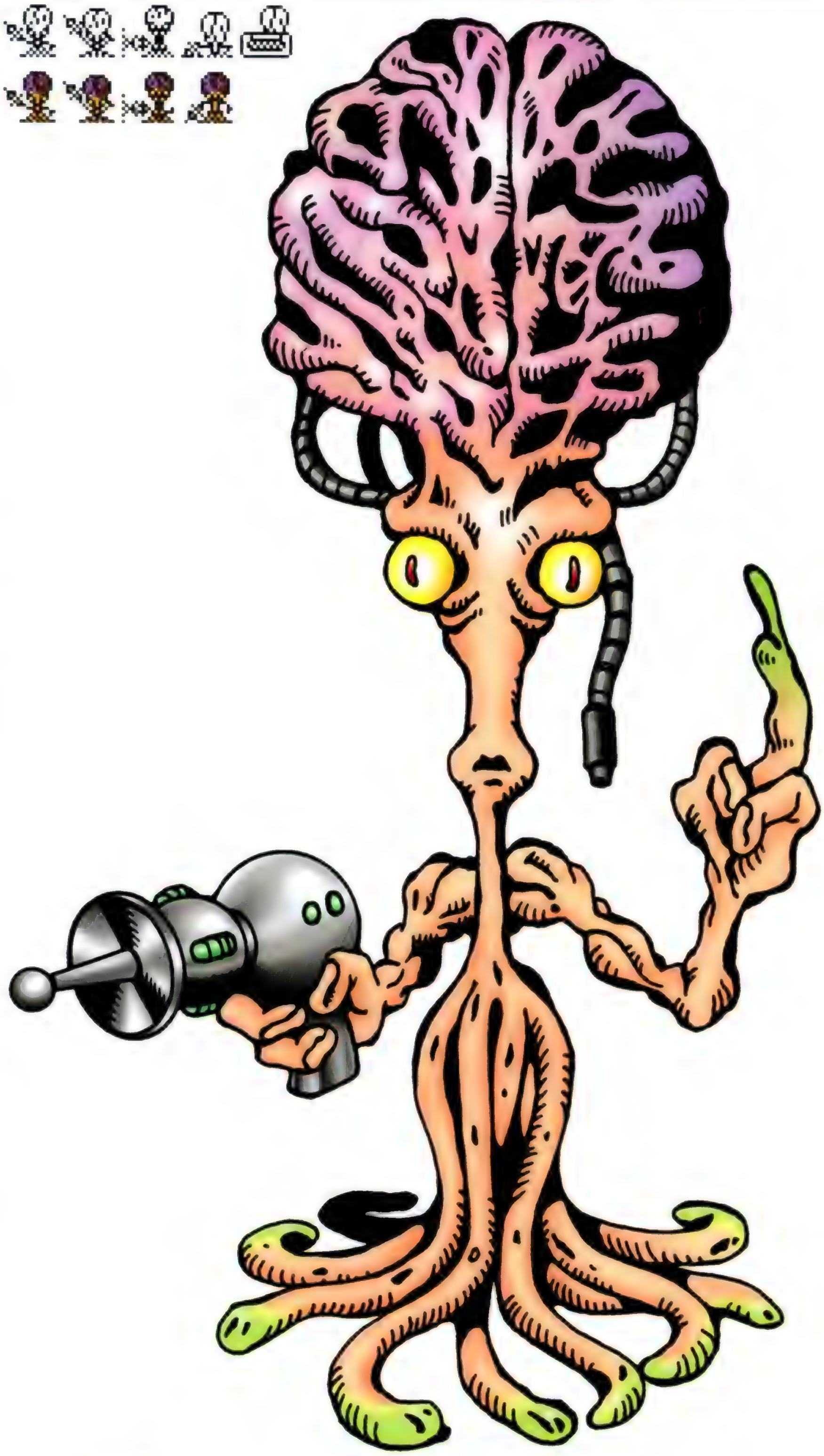


アラカルト>>>

ベーダモン

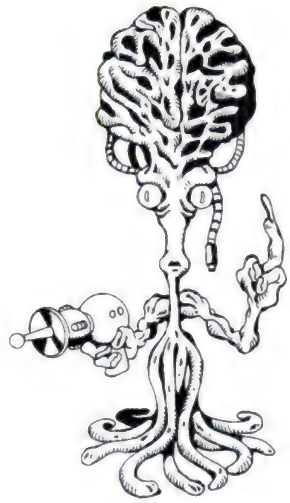
VADEMON

完全体
ウィルス種
宇宙人型



デジタマ>>>





線画>>>











アラカルト>>>

ポヨモン

POYOMON

幼年期 I
スライム型





デジタマ>>>





線画>>>



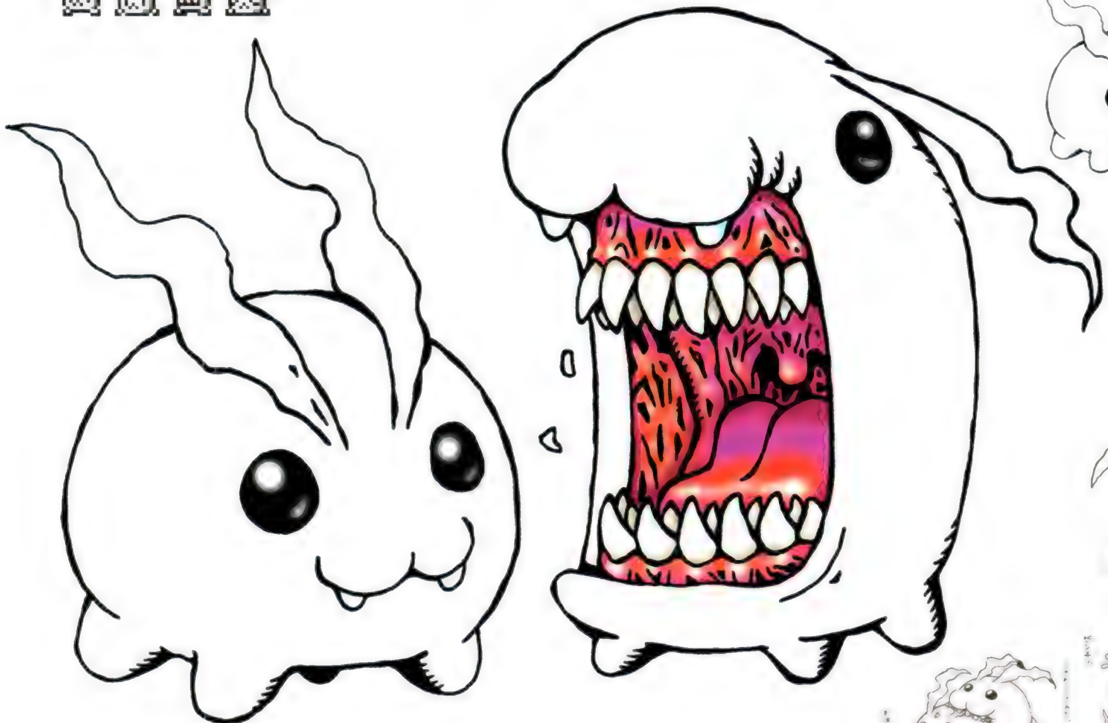
アラカルト>>>

トコモン

TOKOMON

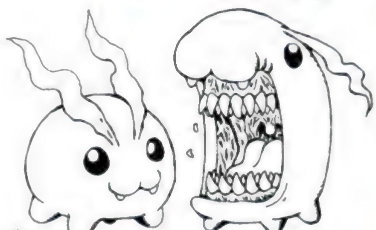
幼年期 II
レッサー型





デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>

パタモン

PATAMON

成長期
データ種
哺乳類型



デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>



クネモン

KUNEMON

成長期
ウィルス種
幼虫型



デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>

ユニモン

UNIMON

成熟期
ワクチン種
幻獣型



デジタマ>>>







線画>>>



アラカルト>>>

ケンタルモン

CENTALMON

成熟期
データ種
獣人型



デジタマ>>> 





線画>>>









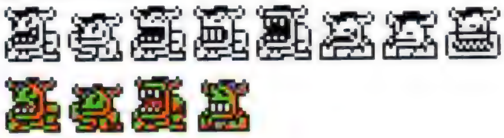
アラカルト>>>



オーガモン

OGREMON

成熟期
ウィルス種
鬼人型





デジタマ>>>



線画>>>



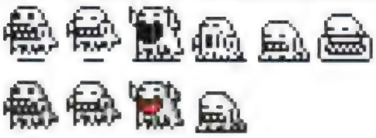


アラカルト>>>

バケモン

BAKEMON

成熟期
ウィルス種
ゴースト型



デジタマ>>>





線画>>>







アラカルト>>>

シェルモン

SHELLMON

成熟期
データ種
軟体型

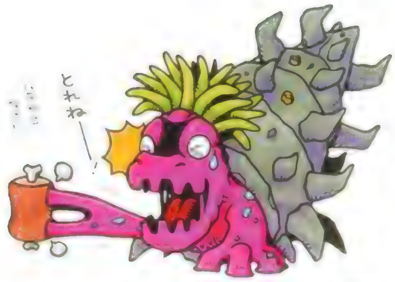


デジタマ>>>



線画>>>







アラカルト>>>







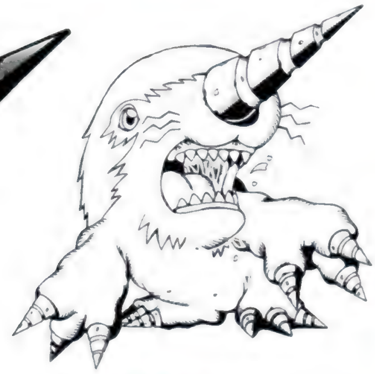
ドリモゲモン
DRIMOGEMON

成熟期
データ種
獣型

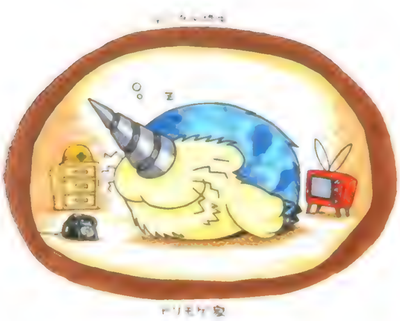


デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>







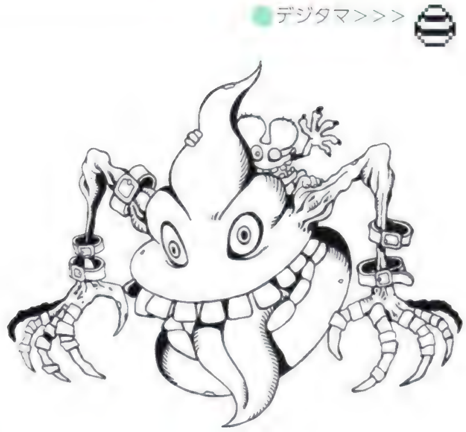
スカモン

SUKAMON

成熟期
ウィルス種
突然変異型



デジタマ>>>



線画>>>



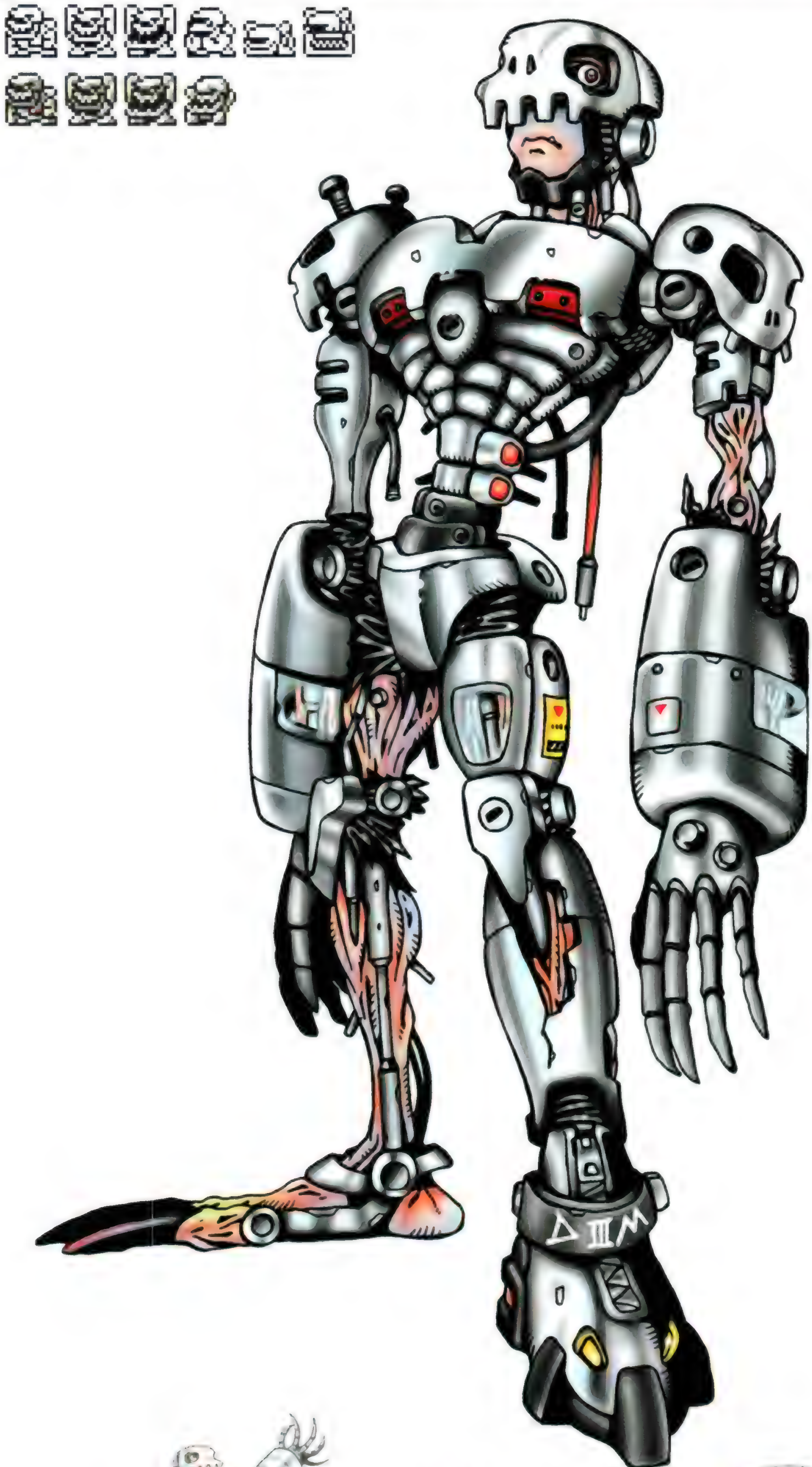


アラカルト>>>

アンドロモン

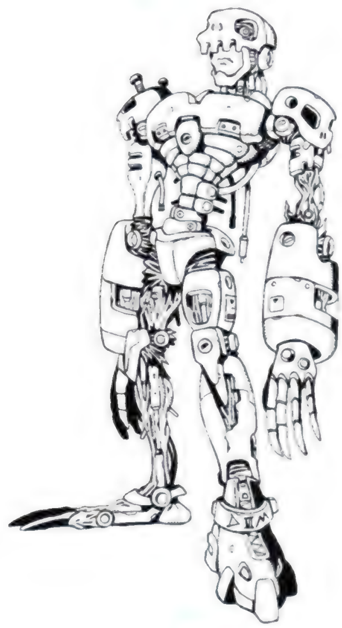
ANDROMON

完全体
ワクチン種
サイボーグ型

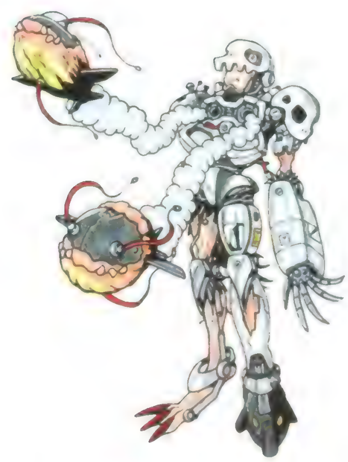


デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

ギロモン

GIROMON

完全体
ワクチン種
機雷型



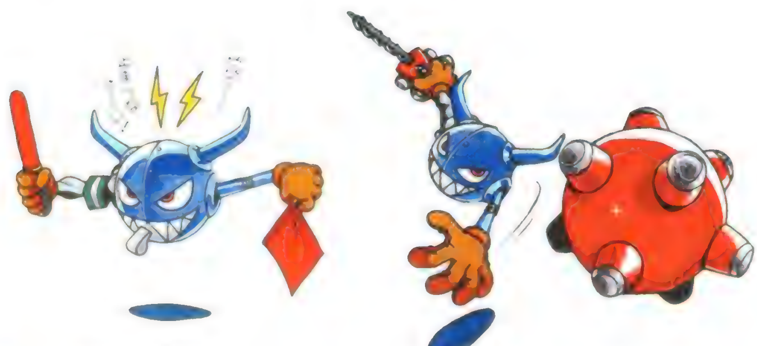
デジタマ>>>





線画>>>







アラカルト>>>

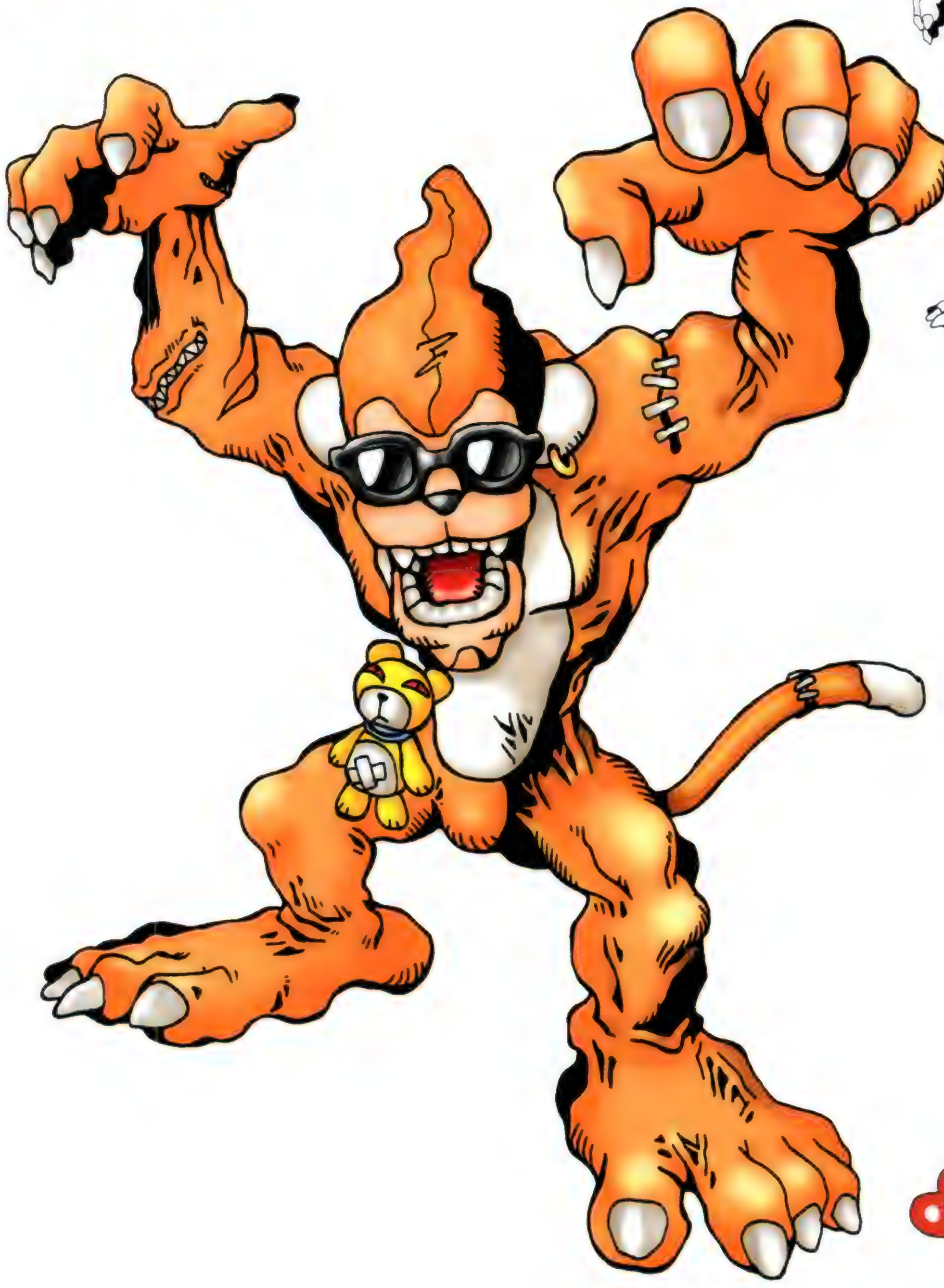
エテモン

ETEMON

完全体
ウィルス種
パペット型



デジタマ>>>





線画>>>









アラカルト>>>



ユラモン

YURAMON

幼年期 I
—
種子型





デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>

タネモン

TANEMON

幼年期 II
—
球根型





デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>

ピヨモン

PIYOMON

成長期
ワクチン種
雛鳥型

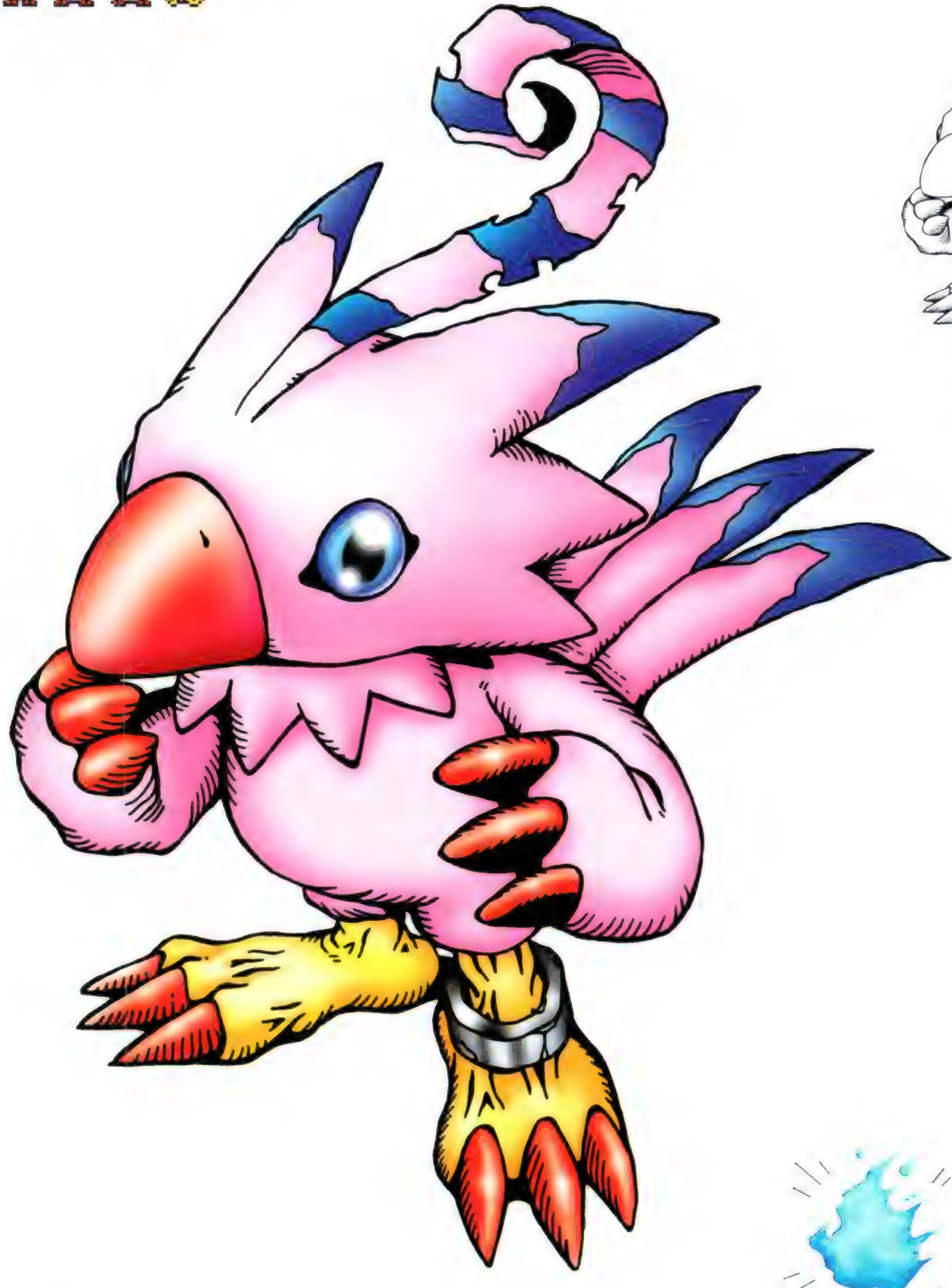


デジタマ>>>



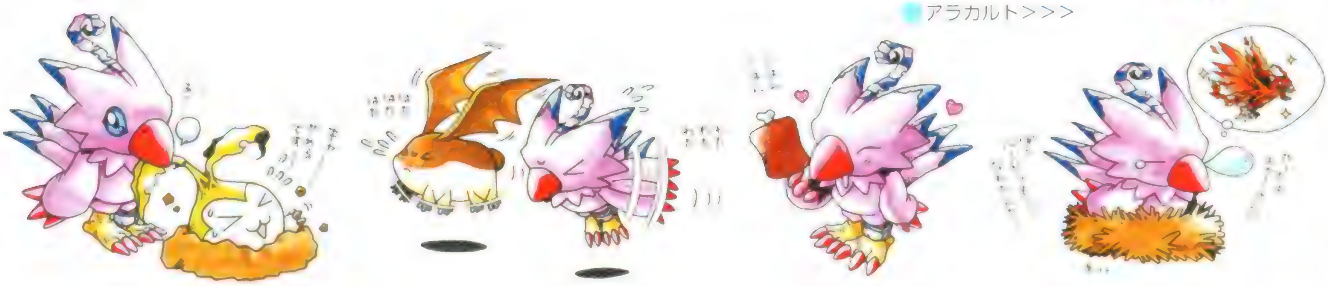


線画>>>





アラカルト>>>



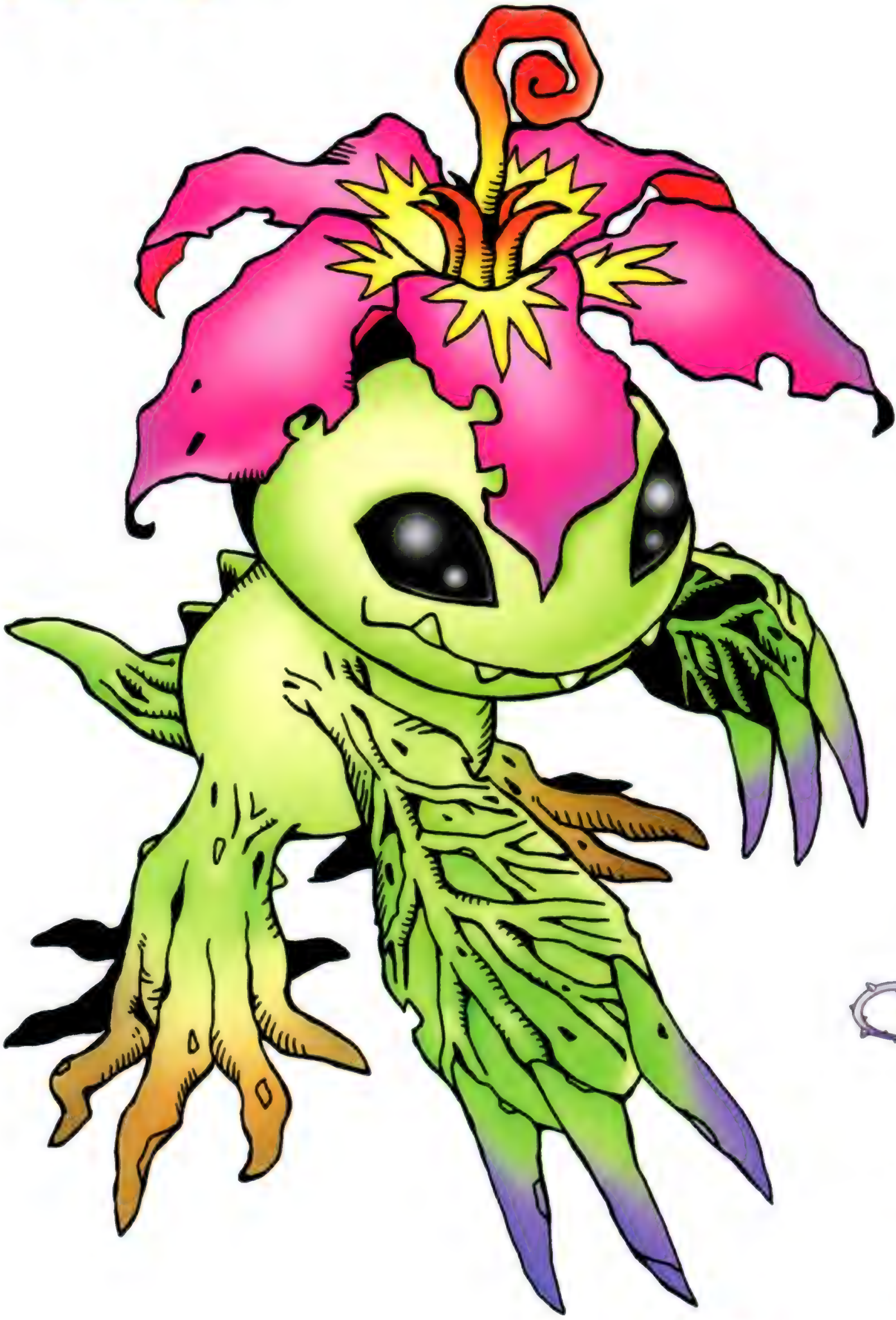
パルモン

PALMON

成長期
データ種
植物型



デジタマ>>> 





線画>>>



アラカルト>>>



モノクロモン

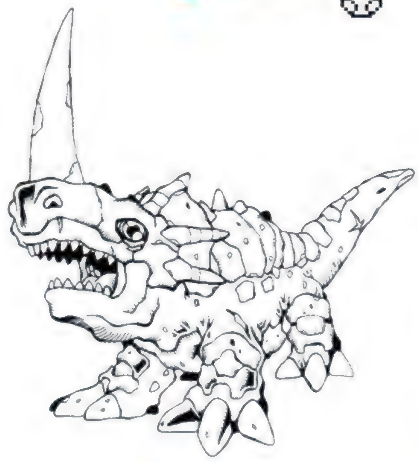
MONOCHROMON

成熟期
データ種
鎧竜型



デジタマ>>>







線画>>>





アラカルト>>>





コカトリモン

成熟期
データ種
巨鳥型

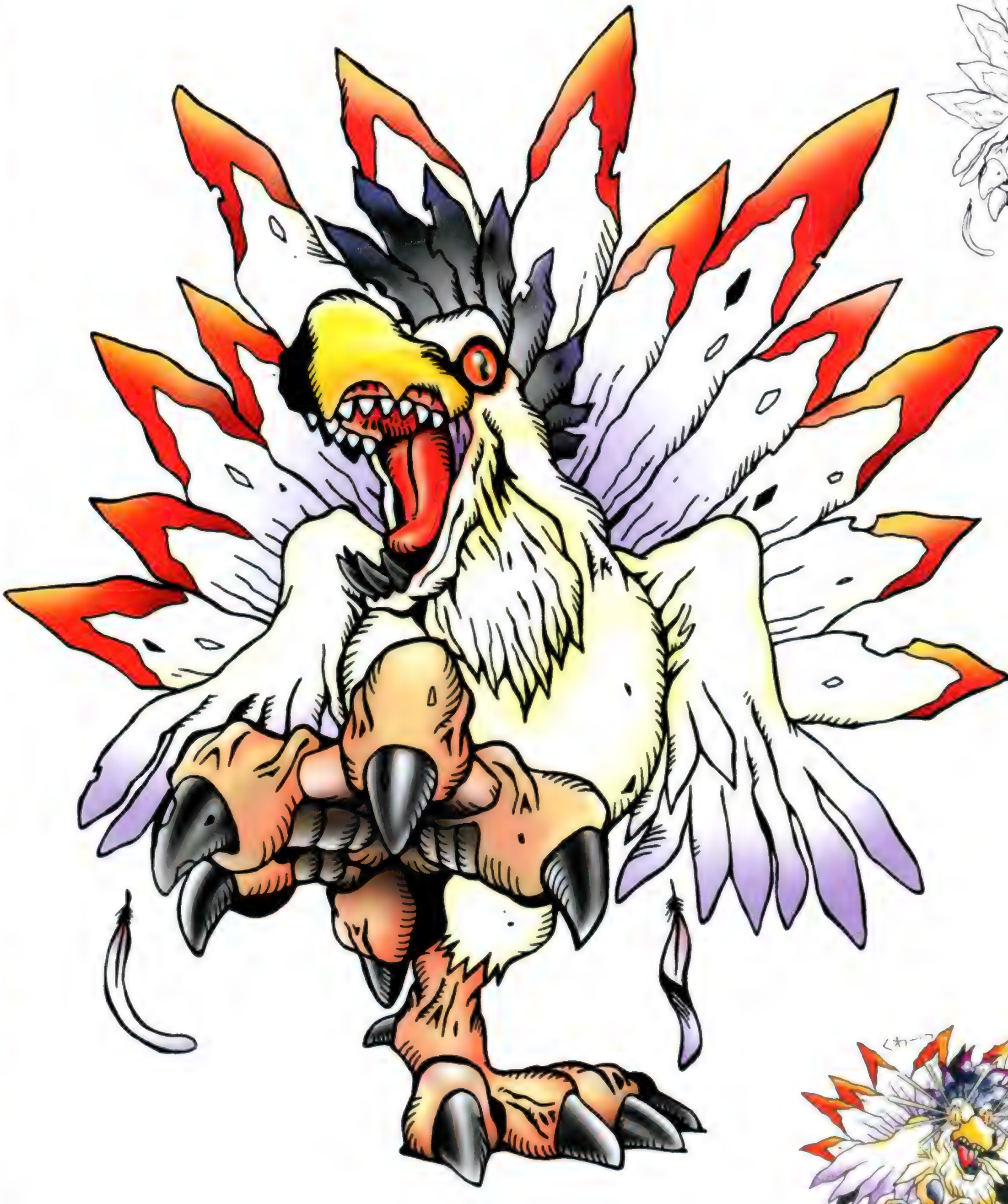


デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>









レオモン

成熟期
ワクチン種
獣人型





デジタマ>>>



線画>>>



アラカルト>>>





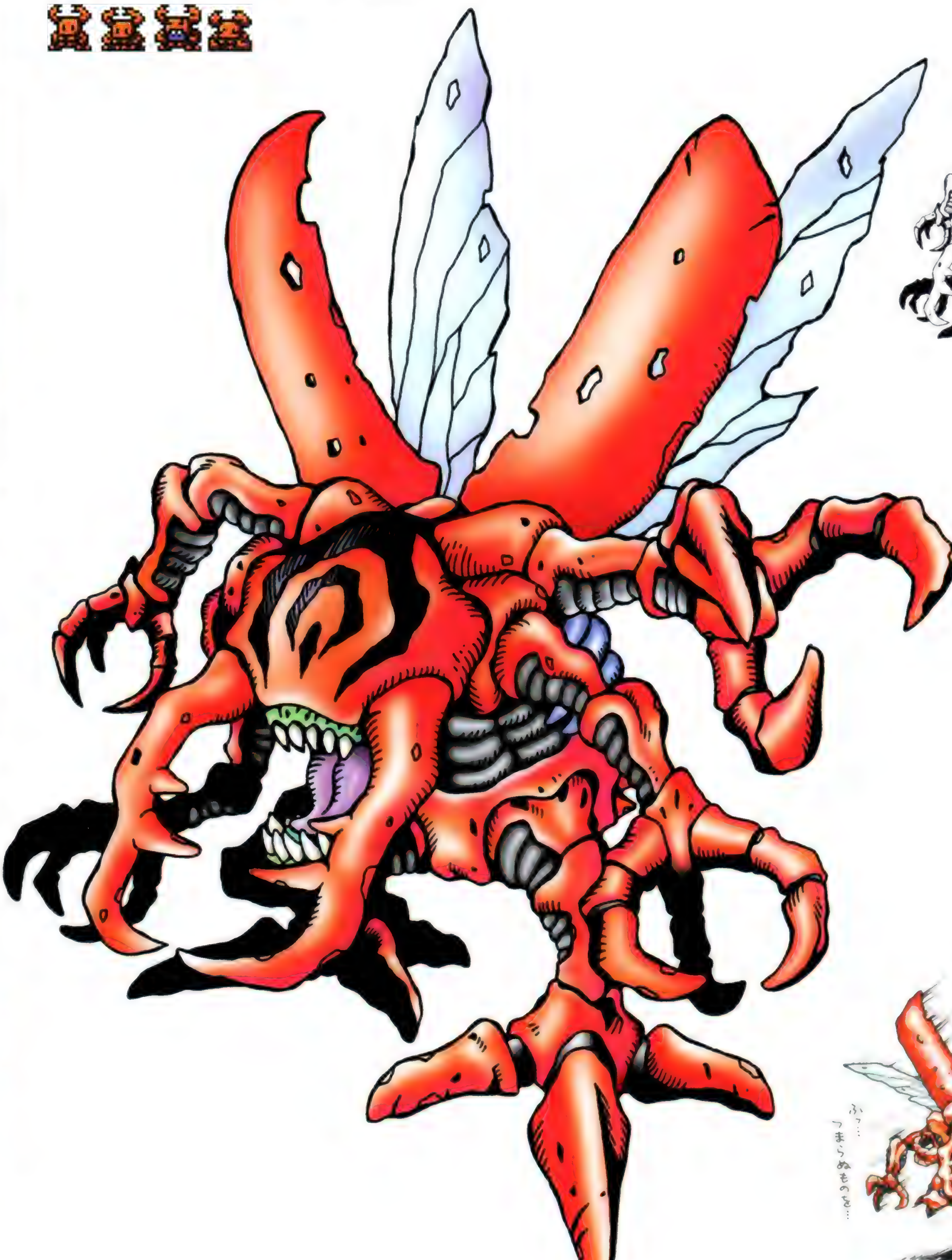
クワガーモン

KUWAGAMON

成熟期
ウィルス種
昆虫型



デジタマ>>> 





線画>>>



アラカルト>>>









シーラモン

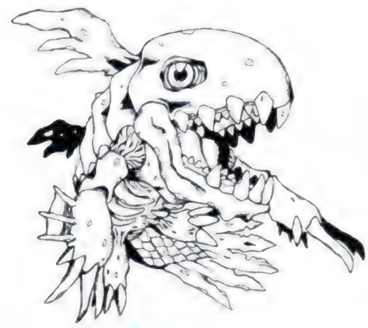
CEELAMON

成熟期
データ種
古代魚型



デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>





モジャモン

MOJYAMON

成熟期
ワクチン種
珍獣型



デジタマ>>>







線画>>>





アラカルト>>>

ナニモン

NANIMON

成熟期
ウィルス種
インベイド型





デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>



メガドラモン
MEGADRAMON

完全体
ウィルス種
サイボーグ型



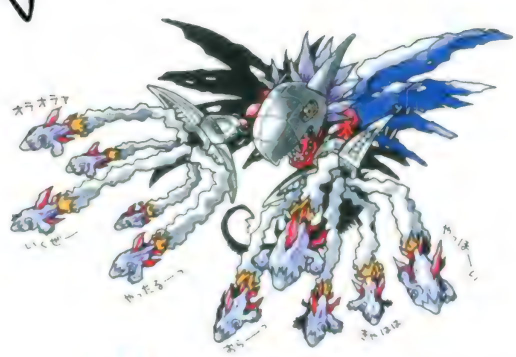
デジタマ>>>





線画>>>





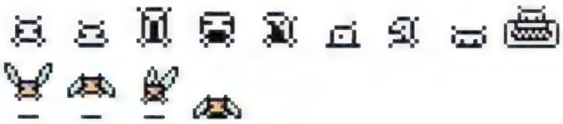


アラカルト>>>

ピッコロモン

PICCOLOMON

完全体
データ種
妖精型



デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

デジタマモン
DIGITAMAMON

完全体
データ種
パーフェクト型



デジタマ>>>





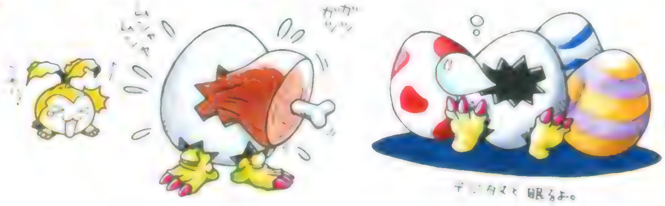

線画>>>







アラカルト>>>



Chapter1>>> DIGITALMONSTER ART WORK

デジコラム2

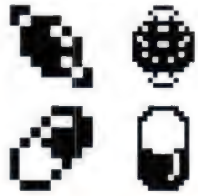
玩具「Ver.20th」大解剖!!

DIGIMON 20th

初代液晶玩具「デジタルモンスター」が、20年の時を経て復刻した「デジタルモンスター Ver.20th」。2体同時育成が可能になり、今まで育成したデジモンが記録される「コレクション」機能の搭載など、多くの要素が追加された。その追加要素によって増加した、ドット絵を紹介する。

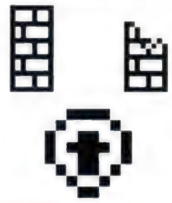
食事

従来同様の「ニク」と「プロテイン」も見られるが、2体同時に与える際はひと回り大きいサイズになる。2体同時に食べる姿も必見。



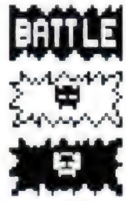
トレーニング

1体のときは連打して、壁を壊すトレーニング。2体のときは上下選択式となり、相手の守る位置に盾の形をしたドットが出現する。



バトル

CPUとの対戦モードを実装。通信をせずとも、勝率を上げられるようになる。タッグバトルでは、攻撃を受けるとバトンタッチする。



トイレ

ウンチは従来からドット絵に変更はない。だが、ウンチを流す際のモーションは、右から左ではなく、上から下へと変更された。



背景

「Ver.1」の背景が踏襲され、草原を採用。上にはカップの形をしたCPU対戦、下にはノートの形をしたアルバムのアイコンが追加された。





本体

カラーは「Ver.1」と同様の、「グレー」と「ブラウン」に、新色3種が加わり合計5種が登場。新要素はあるが液晶画面や奥行き、すべてサイズはほぼ従来のままである。

デジモン死亡・感情

病気や喜びのサイン。対戦で勝利したり、病気を治療すると、アイコンを出す。



デジモンの技

デジモンの数が増えたことにより、バトルやトレーニング時の攻撃技のドットも大幅に追加。ほぼ全てのデジモンに、2種類の攻撃技のドット絵が割り振られている。



ズルモン

ZURUMON

幼年期 I
—
スライム型



デジタマ>>> 



線画>>>







アラカルト>>>

パグモン

PAGUMON

幼年期 II
—
レッサー型



デジタマ>>> 



線画>>>







アラカルト>>>

ガジモン

GAZIMON

成長期
ウィルス種
哺乳類型



デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

ギザモン

GIZAMON

成長期
ウィルス種
水棲哺乳類型

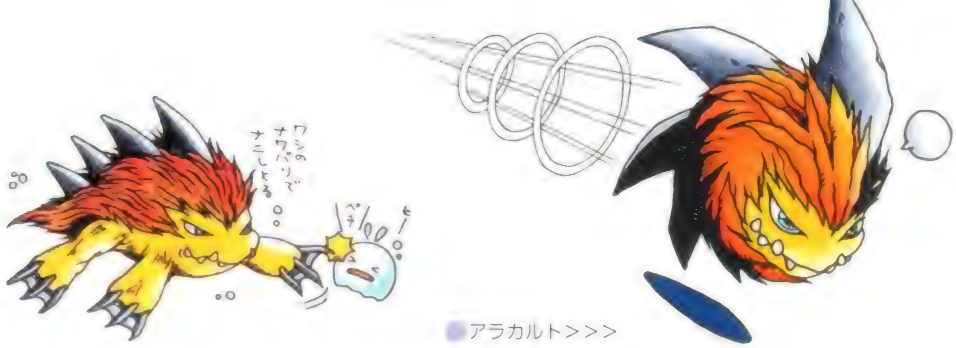


デジタマ>>> 



線画>>>





アラカルト>>>

ダークティラノモン

DARKTYRANOMON

成熟期
ウィルス種
恐竜型



デジタマ>>> 



線画>>>





アラカルト>>>

サイクロモン

CYCLOMON

成熟期
ウィルス種
竜人型

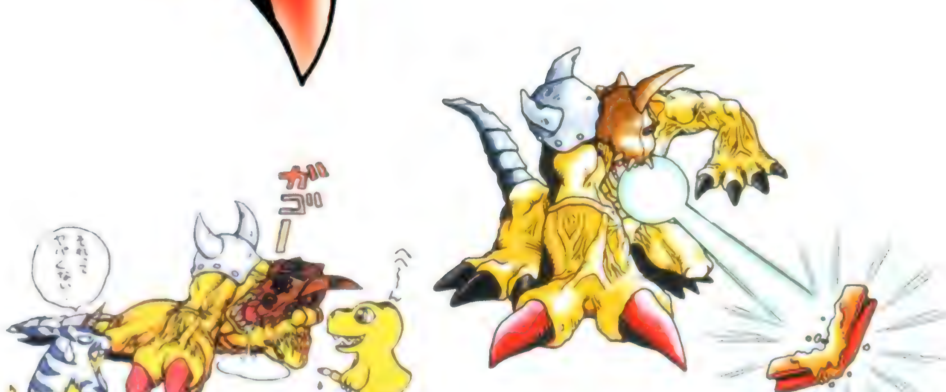


デジタマ>>> 





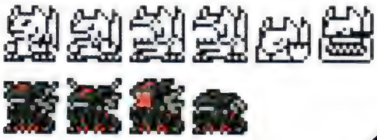
線画>>>



アラカルト>>>

デビドラモン DEVIDRAMON

成熟期
ウィルス種
邪竜型



デジタマ>>>







線画>>>



アラカルト>>>



タスクモン

TUSKMON

成熟期
ウィルス種
恐竜型



デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

フライモン

FLYMON

成熟期
ウィルス種
昆虫型



デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

デルタモン

DELTAMON

成熟期
ウィルス種
合成型



デジタマ>>>





線画>>>









アラカルト>>>

レアモン

RAREMON

成熟期
ウィルス種
アンデッド型



デジタマ>>> 



線画>>>





アラカルト>>>

メタルティラノモン

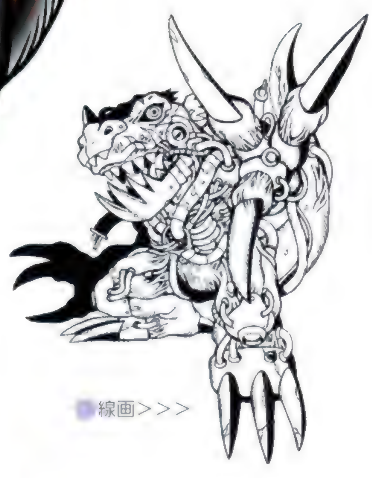
METALTYRANOMON

完全体
ウィルス種
サイボーグ型



デジタマ>>>





線画>>>



アラカルト>>>

ナノモン

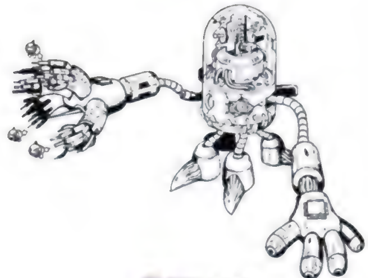
NANOMON

完全体
ウィルス種
マシーン型

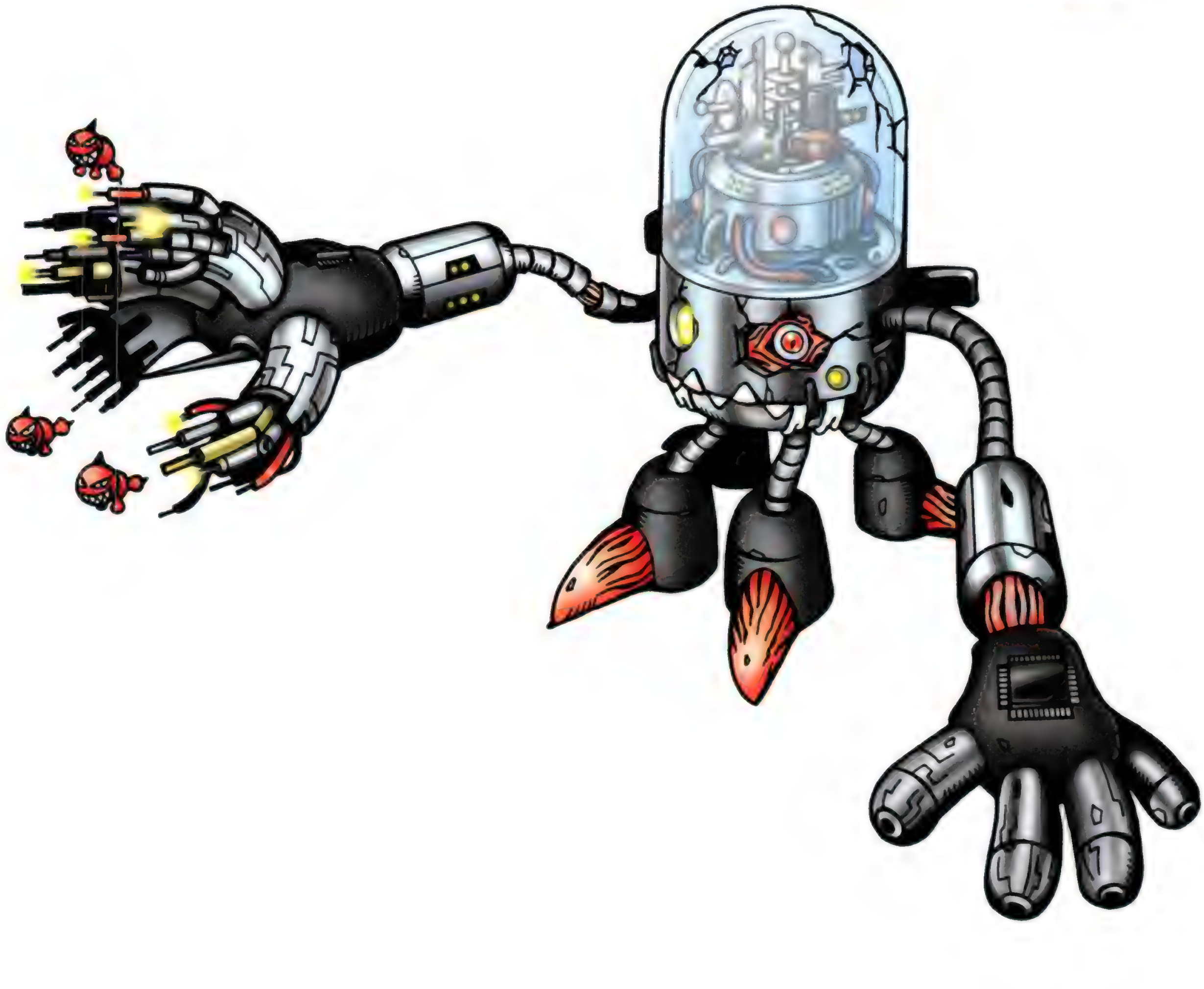


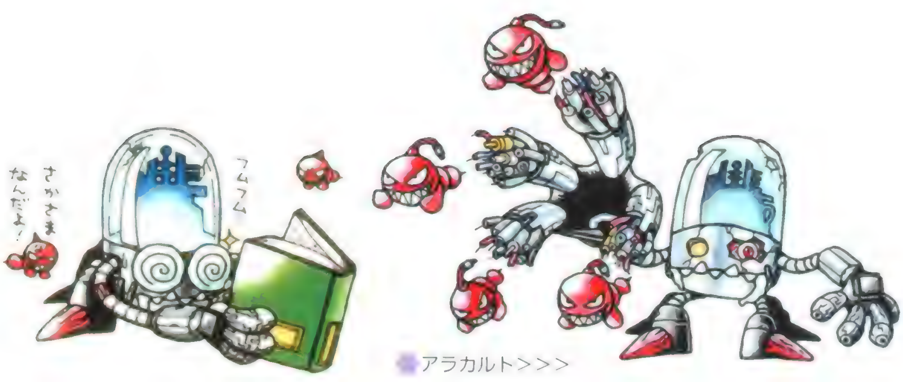
デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

エクスティラノモン

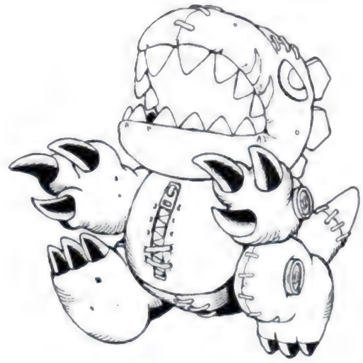
EX-TYRANNOMON

完全体
ワクチン種
パペット型

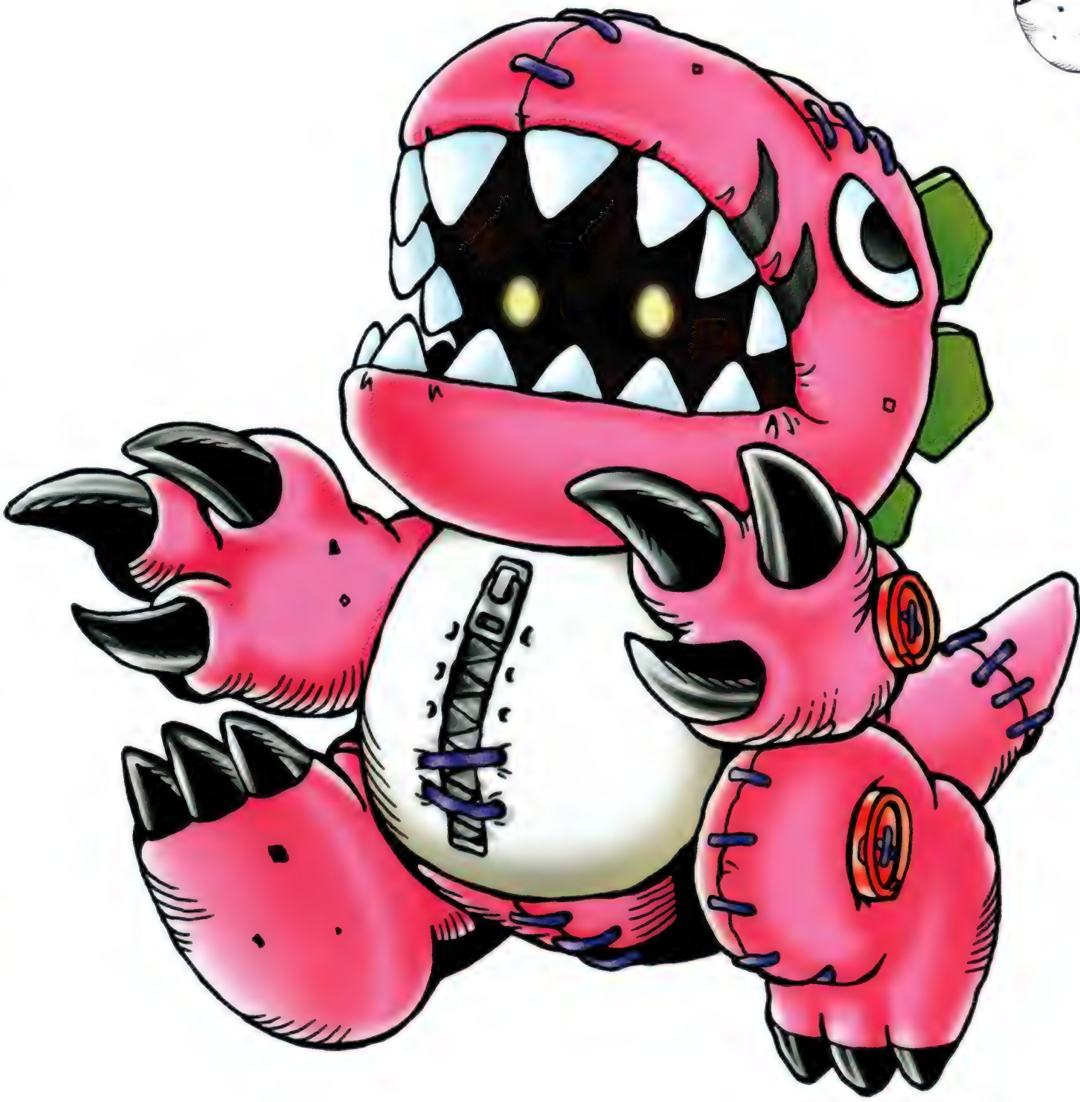


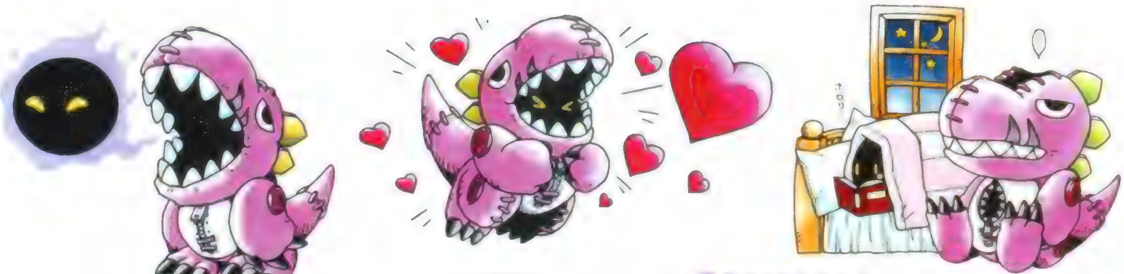
デジタマ>>>





線画>>>





アラカルト>>>

ブリッツグレイモン

BLITZGREYMON

究極体
ウィルス種
サイボーグ型



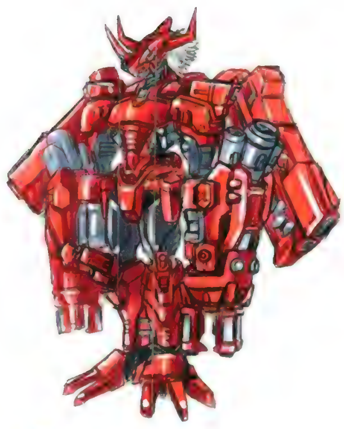
デジタマ>>>





線画>>>





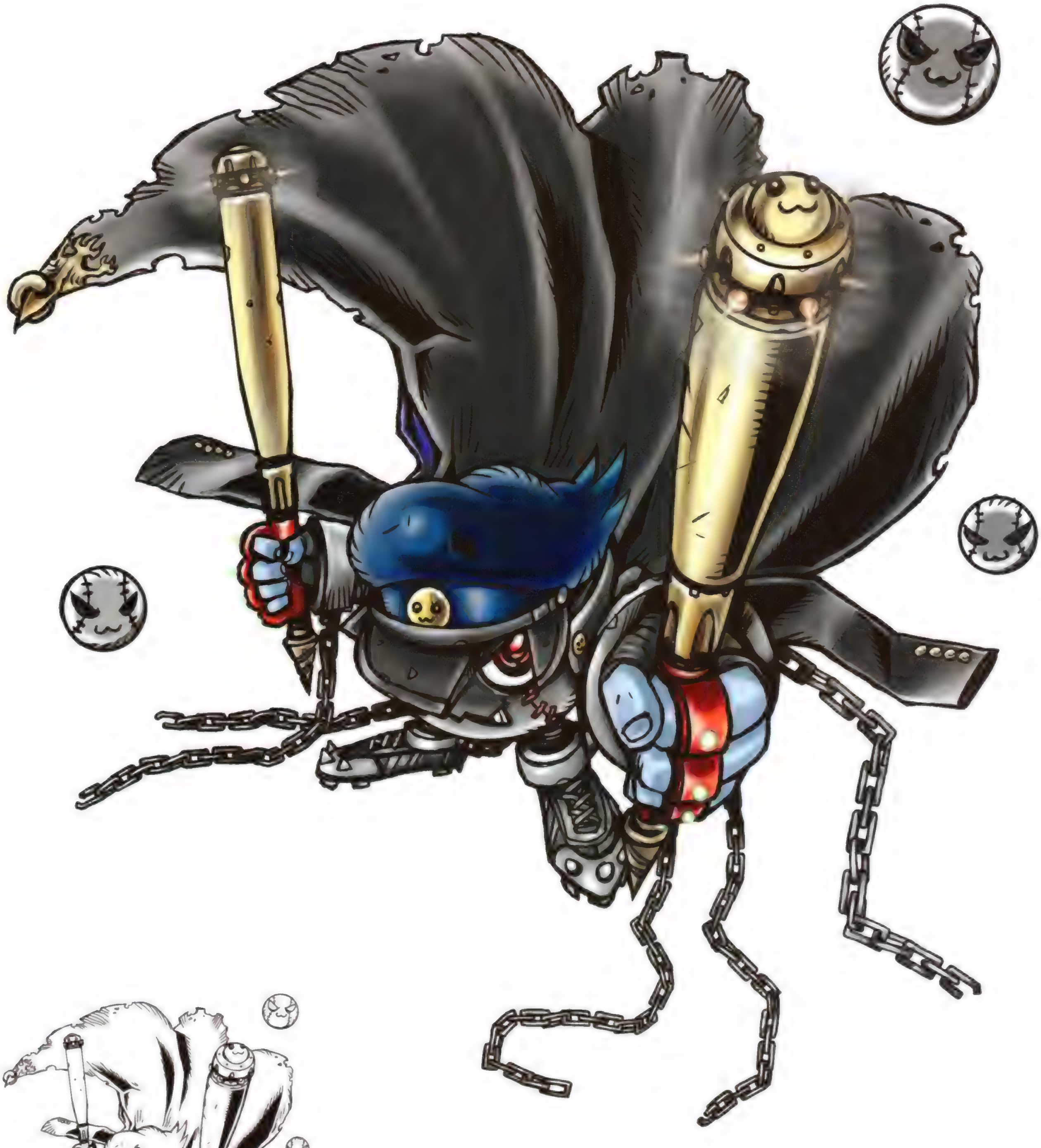
初期デザイン>>>

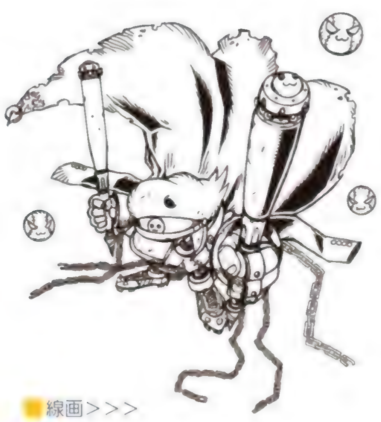
バンチョーマメモン
BANCHOMAMEMON

究極体
データ種
突然変異型



デジタマ>>>



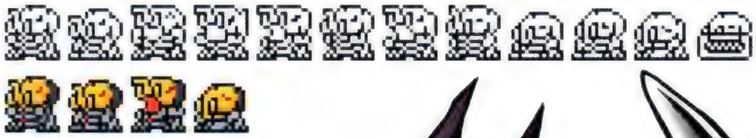


線画>>>

スカルマンモン

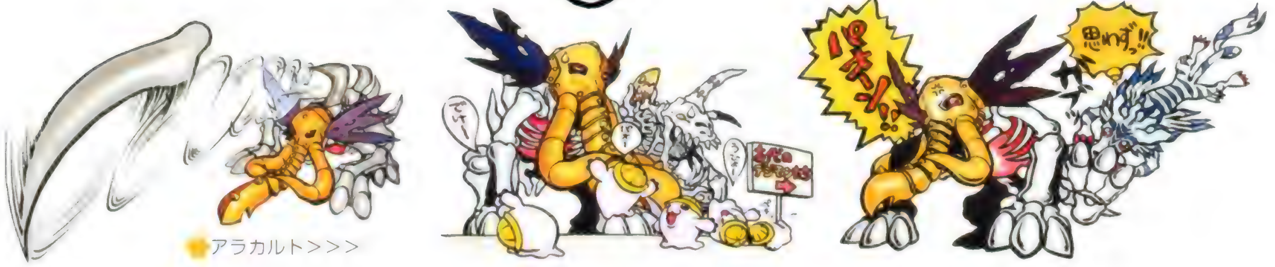
SKULLMAMMON

究極体
ワクチン種
アンデッド型



●デジタマ>>>





●アラカルト>>>

クーレスガルルモン

CRESGARURUMON

究極体
データ種
獣騎士型



デジタマ>>>





線画>>>





初期デザイン>>>

ハイアンドロモン

HIANDROMON

究極体
ワクチン種
サイボーグ型

デジタマ>>>



キングエテモン

KINGETEMON

究極体
ウィルス種
パペット型

デジタマ>>>





イージスドラモン

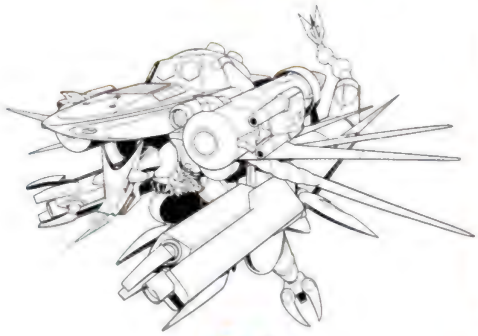
AEGISDRAMON

究極体
ワクチン種
サイボーグ型



デジタマ>>>





線画>>>



タイタモン

TITAMON

究極体
ウィルス種
神人型



デジタマ>>>





線画>>>







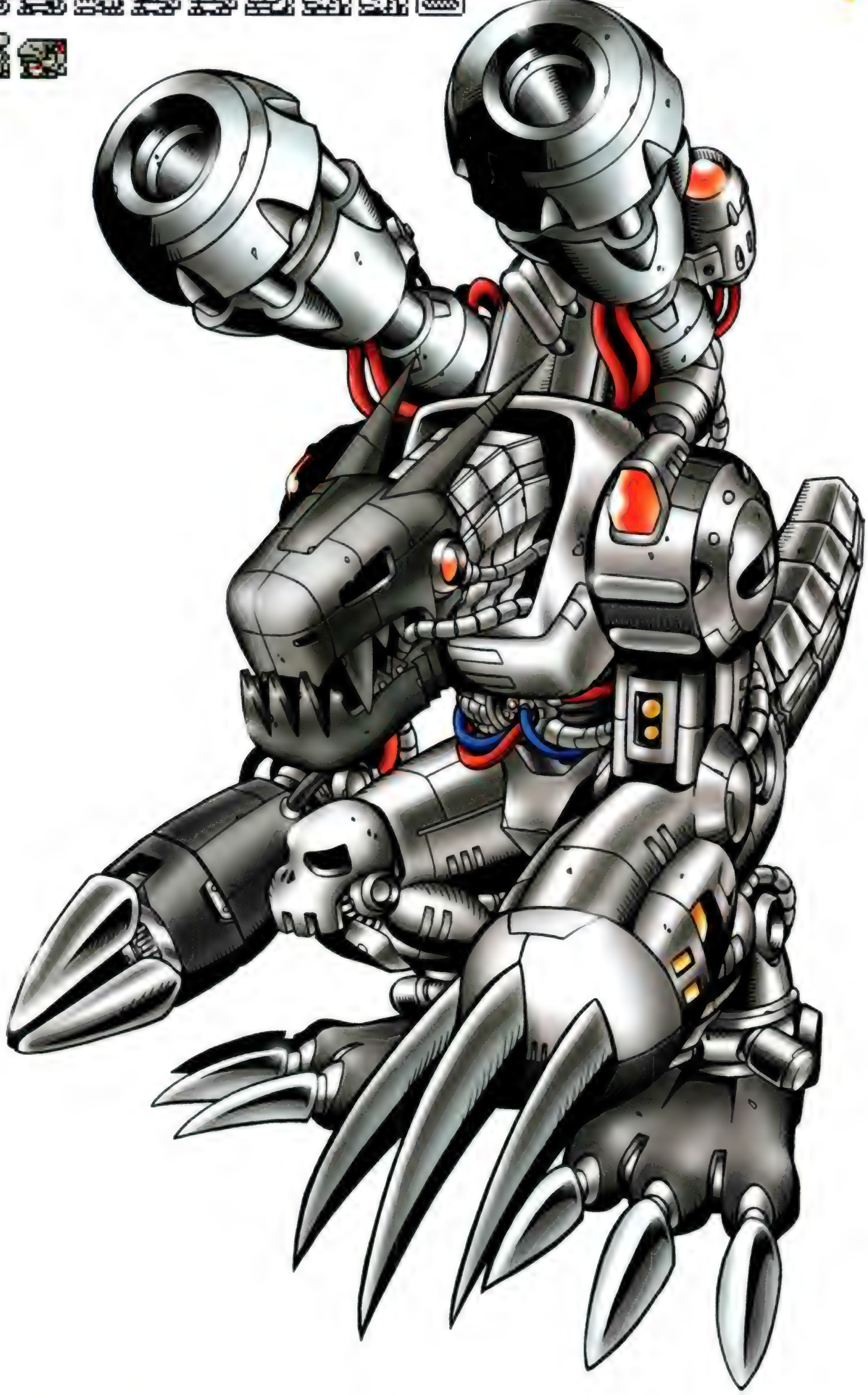

ムゲンドラモン
MUGENDRAMON

究極体
ウィルス種
マシーン型

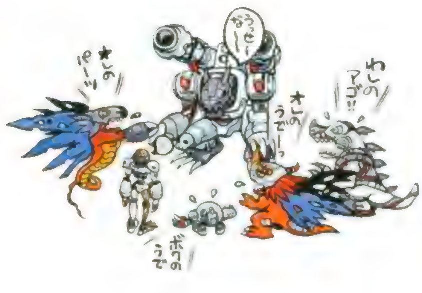


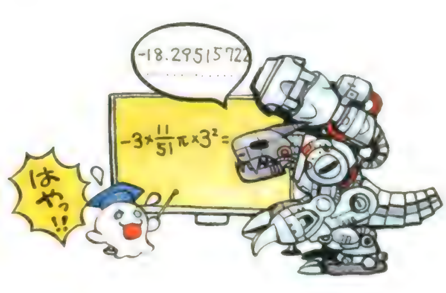
デジタマ>>>











アラカルト>>>

ピノッキモン PINOCCHIMON

究極体
ウィルス種
パペット型



デジタマ>>>



アラカルト>>>





デジモンの分類

デジモンたちはその生息地や生態、活動の目的によってさまざまな「分類」がされている。ここではその一例を紹介する。またこれらの分類の他にも、ある種の使命をもとに行動する集団・勢力である「ロイヤルナイツ」や「オリンポス十二神」、「三大天使」、「七大魔王」などが存在する。



ネイチャースピリッツ

自然豊かな大地に生息するデジモンたちの系統。動物や爬虫類、恐竜など、野性的な姿をしたデジモンが多い。

代表的なデジモン>>>>>
モノクロモン／トータモン／スターモン／ゲコモン／オタマモン／アトラーカブテリモン(青)



ディープセイバーズ

デジタルワールドの大部分を占めている「ネットの海」に生息するデジモンの系統。水中を住処とするため、海の生き物の姿をしたものが多い。

代表的なデジモン>>>>>
ホエーモン／ルカモン／イッカクモン／ゴマモン／プカモン／ゲソモン／アノマロカリモン



ナイトメアソルジャーズ

ゴースト系や悪魔系などのデジモン系統。暗黒の力を宿したアンデッド型や魔人型のデジモンの多くが分類され、暗いところに好んで生息する。

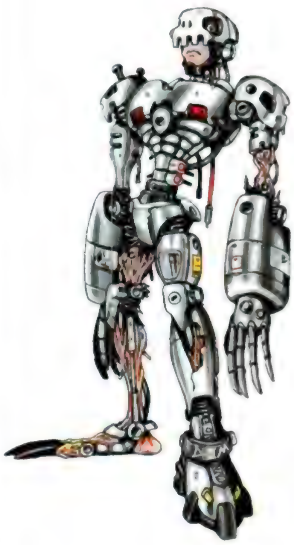
代表的なデジモン>>>>>
バケモン／マンモン／ヴァンデモン／キャンドモン／ウィザーモン



ウィンドガーディアンズ

主に森に生息し、空を飛びまわるデジモン系統。ピヨモンやバードラモンなどの空を飛ぶデジモンはもちろんのこと、ベジーモンなどの植物系も含まれる。

代表的なデジモン>>>>>
ピヨモン／ジュレイモン／トゲモン／ブロッサモン／レッドベジーモン／ガーベモン／ホウオウモン



メタルエンパイア

機械系デジモンの分類。体が完全に機械化したマシーン型から、一部が機械化したサイボーグ型、金属を防具・武器として使用するものまで幅広く分類される。

代表的なデジモン>>>>>
アンドロモン／ガードロモン／トイアグモン／コクワモン／チョロモン／ムゲンドラモン



ウィルスバスターズ

ウィルス種のデジモンに抵抗する力を持つデジモンの系統。レオモンなどの正義感の強いものや、エンジェモンなど天使系のデジモンが所属する。

代表的なデジモン>>>>>
エンジェモン／エンジェウーモン／ニャロモン／テイルモン／ホーリーエンジェモン／アグモン／レオモン



ジャングルトルーパーズ

デジタルワールドの環境保護を目的としているデジモンの系統。ネイチャースピリッツに似ているものの、その目的意識の差で分類が分かれている。

代表的なデジモン>>>>>
クネモン／スティングモン／タネモン／ララモン／ロゼモン／シュリモン



アンノウン

上記の分類から外れたデジモンの系統。分類が難しいものや出自がはっきりしていないデジモン、突然変異型のデジモンがここに含まれる。

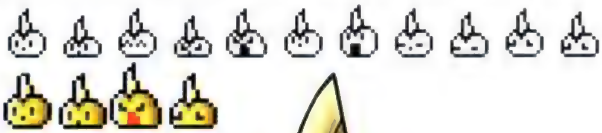
代表的なデジモン>>>>>
ヌメモン／ナニモン／スカモン／レアモン

サクモン

SAKUMON

幼年期 I
武器型

デジタマ>>>







初期デザイン>>>



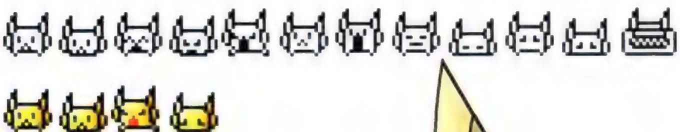
アラカルト>>>

サクットモン

SAKUTTOMON

幼年期 II
武器型

デジタマ>>>







初期デザイン>>>



アラカルト>>>

ズバモン

ZUBAMON

成長期
ワクチン種
武器型

デジタマ>>>







デザインラフ>>>

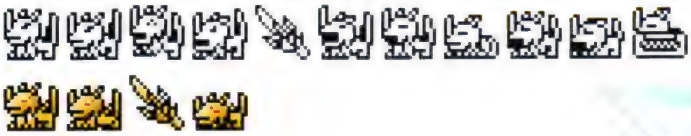


初期デザイン>>>

ズバイガーモン

ZUBAEAGERMON

成熟期
ワクチン種
武器型



デジタマ>>>





ポーズラフ>>>



初期デザイン>>>

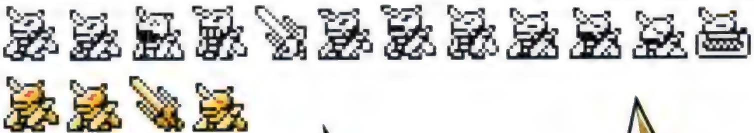


アラカルト>>>

デュラモン

DURAMON

完全体
ワクチン種
武器型



デジタマ>>> 





ポーズラフ>>>



初期デザイン>>>

デュランダモン
DURANDAMON

究極体
ワクチン種
聖剣型



デジタマ>>>





初期デザイン>>>

ハックモン

HACKMON

成長期
データ種
小竜型



デジタマ>>>



線画>>>







初期デザイン>>>



デザインラフ>>>



ポーズラフ>>>

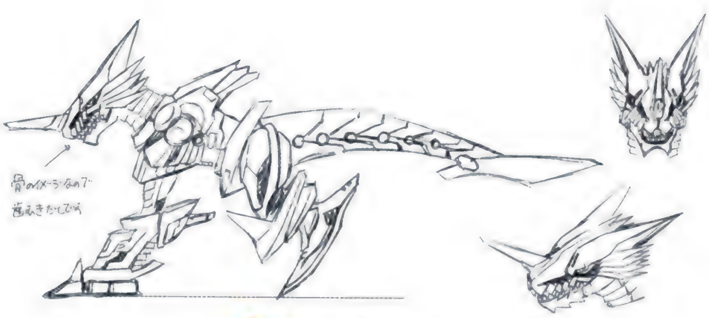
バオハックモン
BAOHUCKMON

成熟期
データ種
恐竜型



デジタマ>>>



デザインラフ>>>

セイバーハックモン

SAVIORHUCKMON

完全体
データ種
竜人型



デジタマ>>>





初期デザイン>>>

ジエスモン

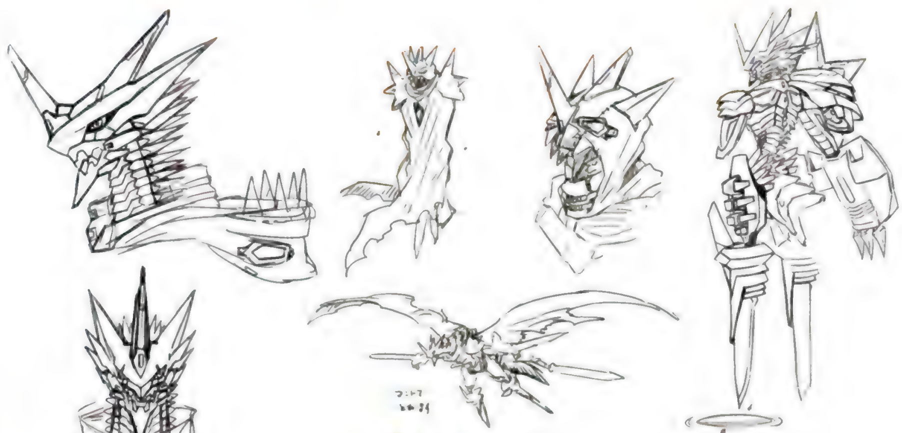
JESMON

究極体
データ種
聖騎士型

デジタマ>>>





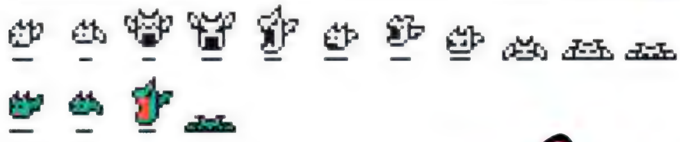


デザインラフ>>>

プチモン

PETITMON

幼年期 I
スライム型



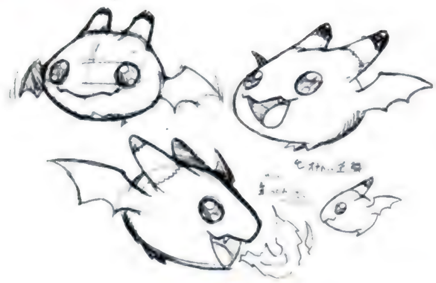
デジタマ>>>







線画>>>



初期デザイン>>>

ベビドモン

BABYDMON

幼年期 II
幼竜型



デジタマ>>>







線画>>>



初期デザイン>>>

ドラコモン

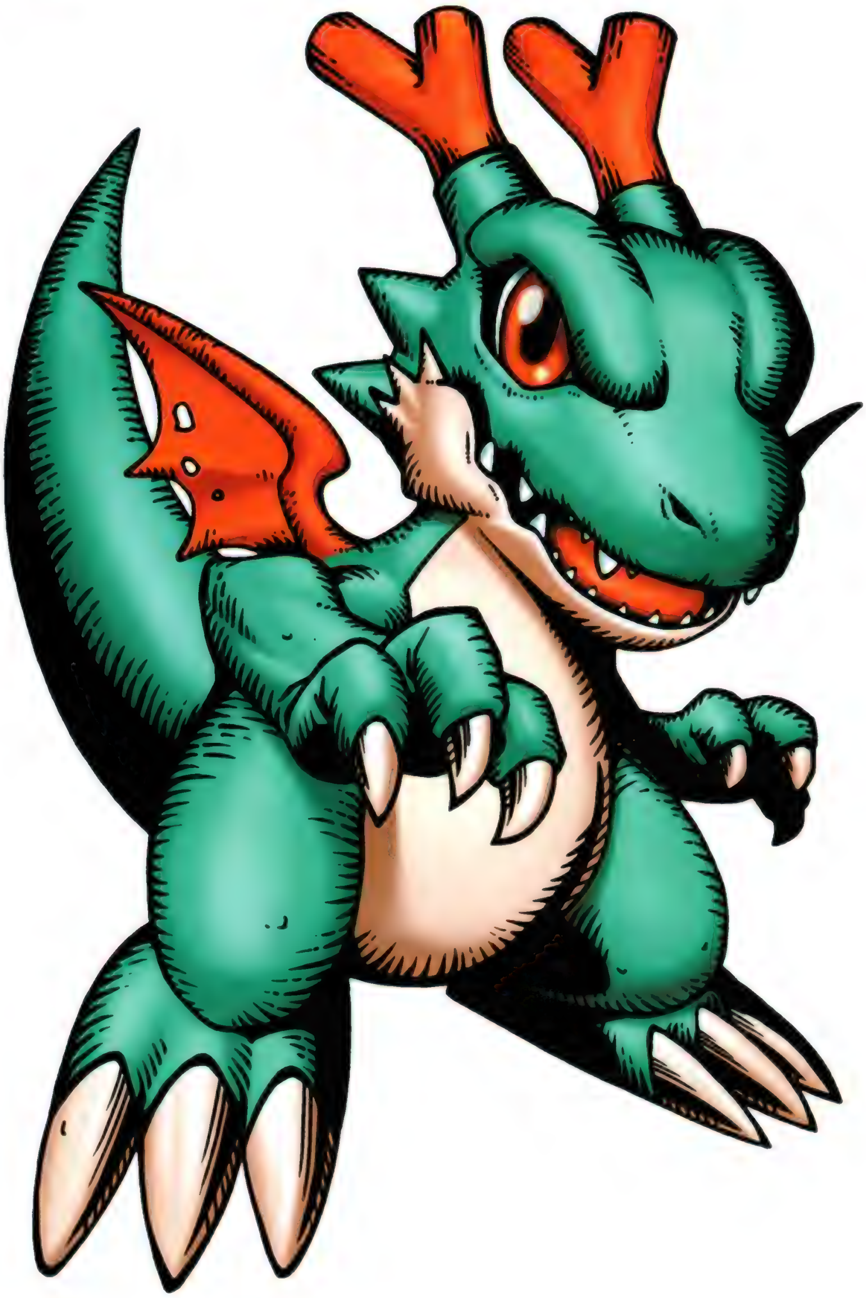
DRACOMON

成長期
データ種
竜型



デジタマ>>>







ポーズラフ>>>

コアドラモン(青)

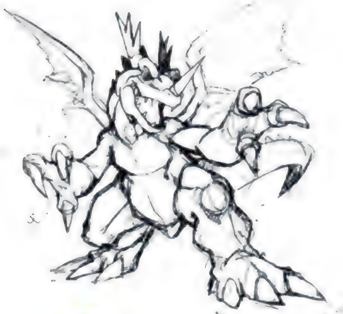
COREDRAMON [BLUE]

成熟期
ワクチン種
竜型

デジタマ>>>







ポーズラフ>>>



初期デザイン>>>



線画>>>

ウイングドラモン

WINGDRAMON

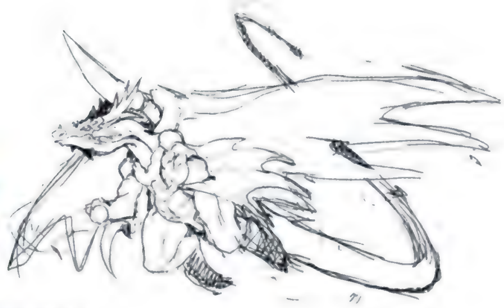
完全体
ワクチン種
天竜型



デジタマ>>> 







ポーズラフ>>>

スレイヤードラモン

SLAYERDRAMON

究極体
ワクチン種
竜人型



デジタマ>>>



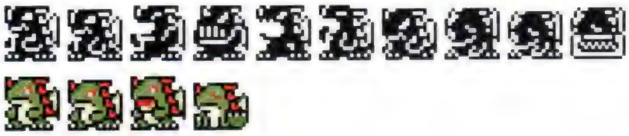


初期デザイン>>>

コアドラモン(緑)

COREDRAMON (GREEN)

成熟期
ウィルス種
竜型



デジタマ>>>



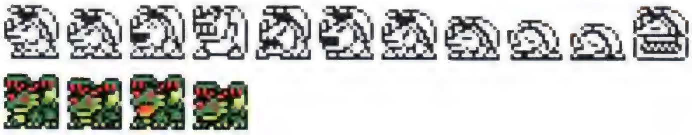




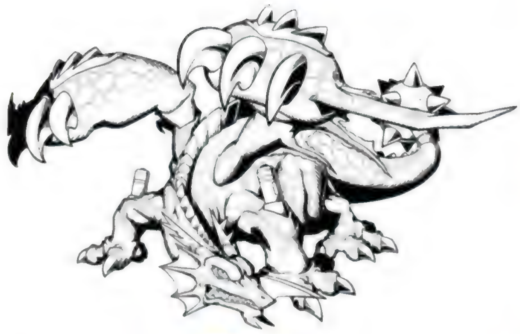
初期デザイン>>>

グラウンドラモン
GROUNDRAMON

完全体
ウィルス種
地竜型



デジタマ>>> 



線画>>>





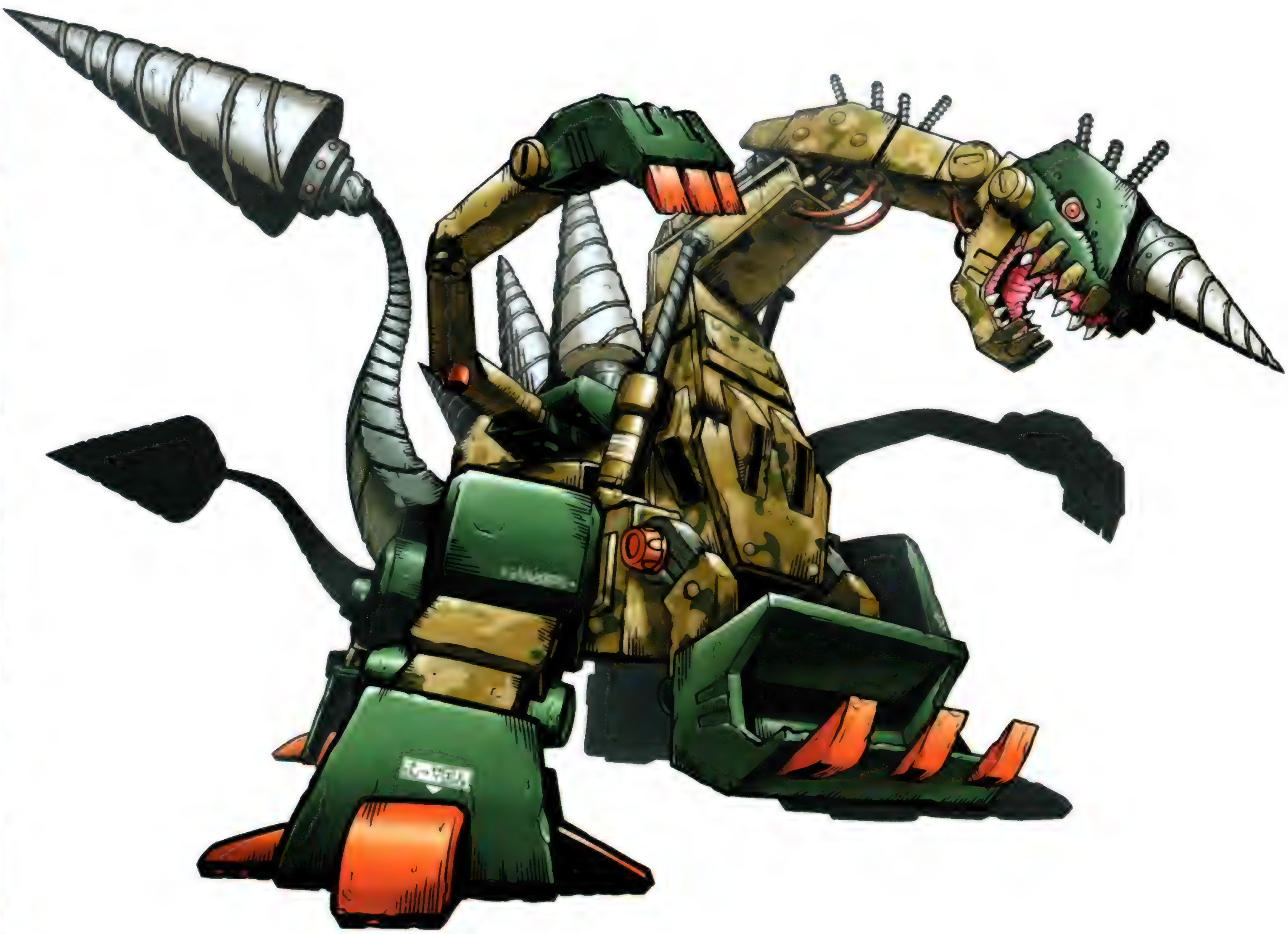
初期デザイン>>>

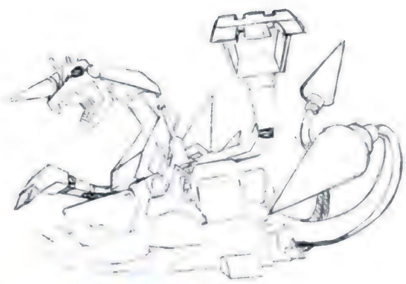
ブレイクドラモン
BREAKDRAMON

究極体
ウィルス種
機竜型

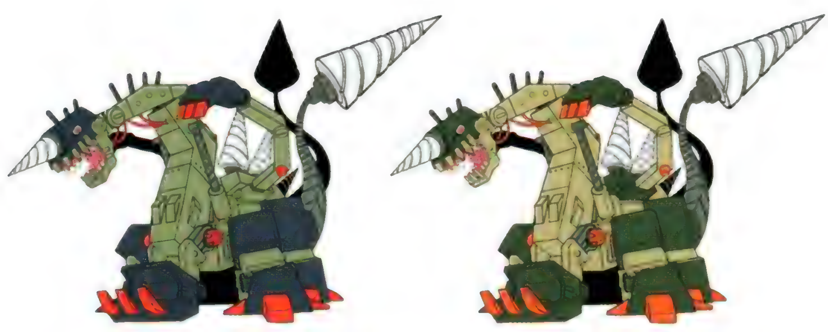
デジタマ>>> 







ポーズラフ>>>



初期デザイン>>>

デジコラム4

10周年&15周年デジモンの誕生

2017年6月に「デジタルモンスター」20周年として、ズバモンを含めたその進化系統が、周年記念デジモンとして誕生した。過去にも、周年記念デジモンとして「ドラコモン」と「ハックモン」が誕生し、各媒体で活躍した。過去のデジモンのターニングポイントを彩ってきた、その記念デジモンを紹介する。

10th Anniversary
10周年





スレイヤードラモン&ブレイクドラモン

ドラコモンの進化先であるコアドラモンは青・緑と2種類が存在し、それぞれ異なる究極体となる。どちらも「デジモンバトルターミナル」という、筐体で遊ぶデータカードダス用のカードとして、初めて登場した。



ドラコモン

デジモン10周年記念のイベントで、プチモン、ベビドモンとともに存在が明かされ、カードやアニメで登場した。「ドラモン」と名の付くデジモンたちの「祖」という設定から、世界観の深みが感じられるデジモンとなった。

15th Anniversary
15周年



ハックモン

15周年を記念して誕生し、アプリゲーム「デジモンコレクターズ」に初めて登場した。進化形態は順次、カードの復刻セットである「プレミアムセレクトファイルVol.2」や、「デジヴァイスVer.15th」に登場した。ハックモンの進化形態であるジエスモンの登場で、13体いる聖騎士集団「ロイヤルナイツ」が勢揃いした。

シスタモン ノワール(左) シスタモン ブラン(右)

ガンクゥモンからの命により、ハックモンを鍛え、護衛をしている2体のデジモン。どちらも覚醒すると、姿が変わる。

ピチモン

PITCHMON

幼年期 I

スライム型





デジタマ>>>





アラカルト>>>

プカモン

PUKAMON

幼年期 II

レッサー型



デジタマ>>>







アラカルト>>>

コロナモン

CORONAMON

成長期
ワクチン種
獣型



デジタマ>>>





線画>>>



ポーズラフ>>>

ファイラモン

FIRAMON

成熟期
ワクチン種
獣型



デジタマ>>>







線画>>>



ポーズラフ>>>

フレアモン

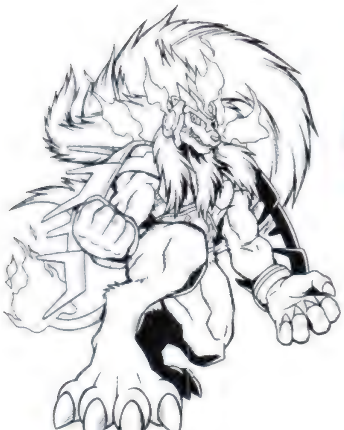
FLAREMON

完全体
ワクチン種
獣人型



デジタマ>>> 





線画>>>



ポーズラフ>>>

アポロモン

APOLLOMON

究極体
ワクチン種
神人型



デジタマ>>>



ルナモン

LUNAMON

成長期
データ種
哺乳類型



デジタマ>>>







線画>>>



ポーズラフ>>>

レキスモン

LEKISMON

成熟期
データ種
獣人型

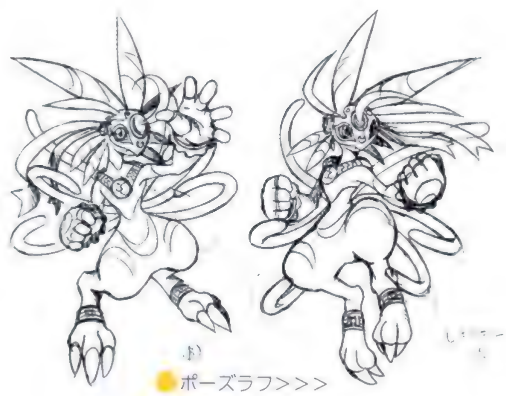


デジタマ>>> 





線画>>>



ポーズラフ>>>

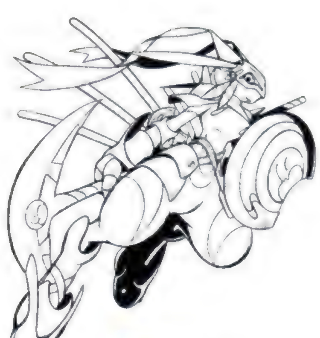
クレシェモン CRESCEMON

完全体
データ種
魔人型

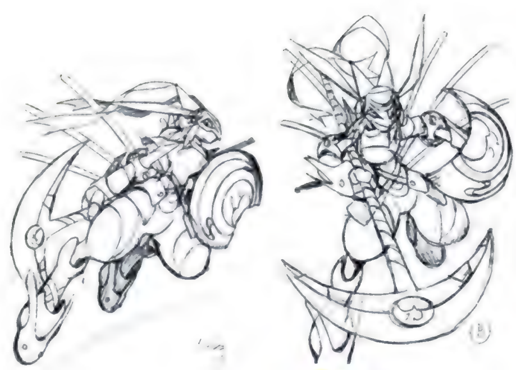


デジタマ>>> 





線画>>>

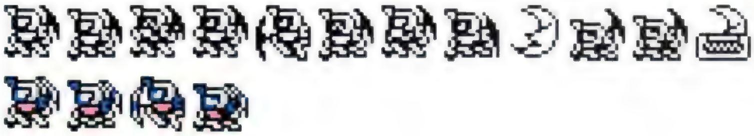


ポーズラフ>>>

ディアナモン

DIANAMON

究極体
データ種
神人型



デジタマ>>>



メタルグレイモン(ワクチン種)

METALGREYMON

完全体
ワクチン種
サイボーグ型



デジタマ>>>











アラカルト>>>

ウォーグレイモン

WARGREYMON

究極体
ワクチン種
竜人型



デジタマ>>>

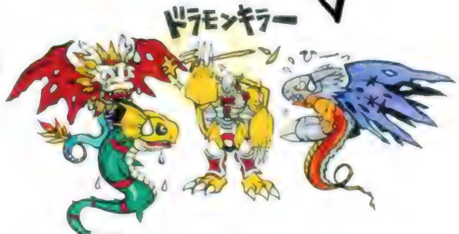


✣「アルファモンカラー」「ズバモンカラー」「オメガモンカラー」でのみ分岐









アラカルト>>>

ワーガルルモン
WEREGARURUMON

完全体
ワクチン種
獣人型



デジタマ>>>







アラカルト>>>



メタルガルルモン

METALGARURUMON

究極体
データ種
サイボーグ型



デジタマ>>>



✣「アルファモンカラー」「ズバモンカラー」「オメガモンカラー」でのみ分岐





アラカルト>>>

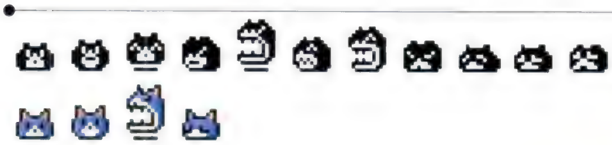
ドドモン

DODOMON

幼年期 I

スライム型

デジタマ>>>





ドリモン

DORIMON

幼年期 II

レッサー型

デジタマ>>>





ドルモン

DORUMON

成長期
データ種
獣型





デジタマ>>>





線画>>>



カラー案>>>

ドルガモン

DORUGAMON

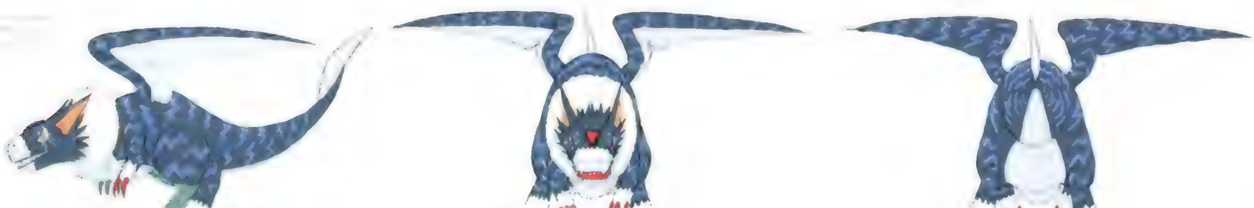
成熟期
データ種
獣竜型



デジタマ>>>







初期デザイン>>>

ドルグレモン

DORUGUREMON

完全体
データ種
獣竜型

デジタマ>>>











初期デザイン>>>

アルファモン

ALPHAMON

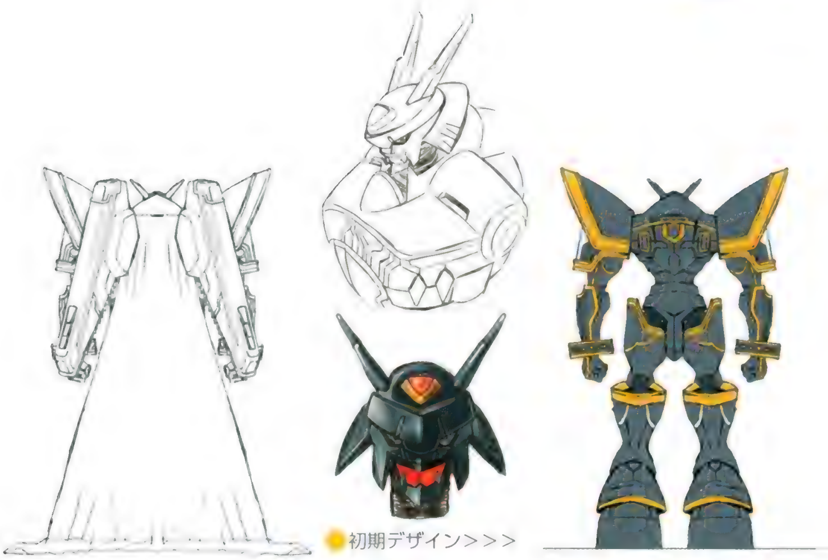
究極体
ワクチン種
聖騎士型



デジタマ>>>







初期デザイン>>>



ポーズラフ>>>

ユキミボタモン

YUKIMIBOTAMON

幼年期Ⅰ
スライム型

デジタマ>>>



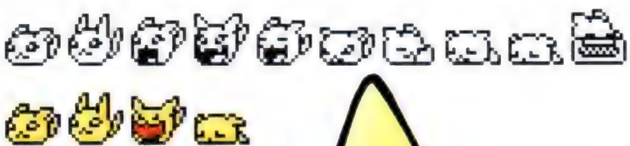


ニャロモン

NYAROMON

幼年期Ⅱ
レッサー型

デジタマ>>>





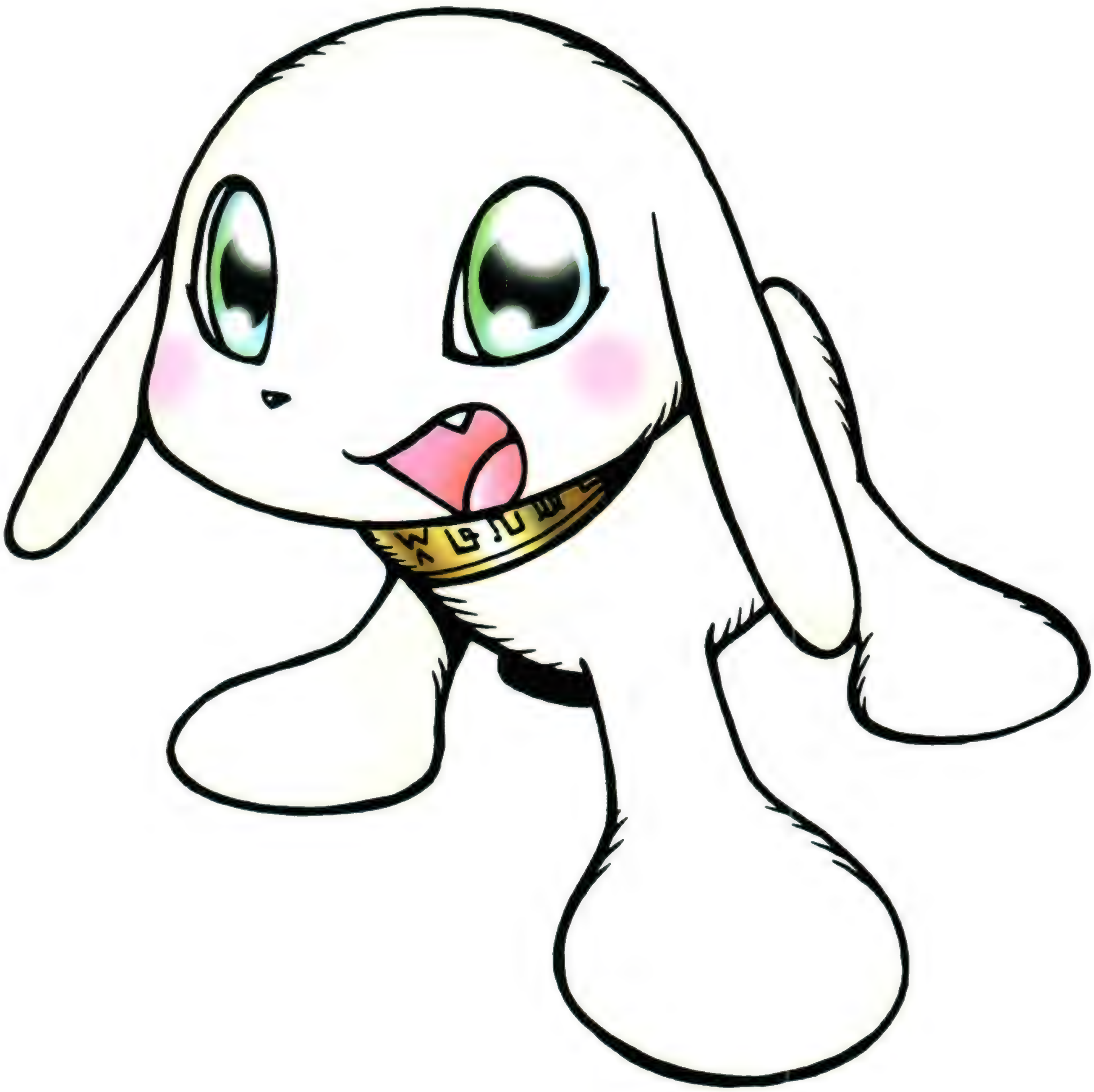
プロットモン

PLOTMON

成長期
ワクチン種
哺乳類型



デジタマ>>>



メイクーモン

MEICOOMON

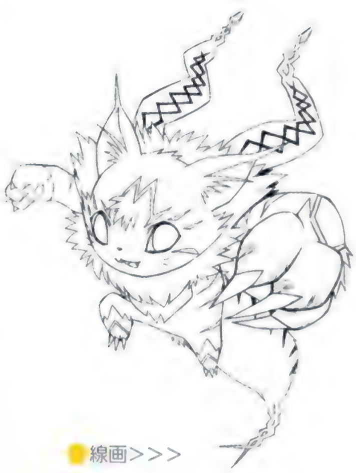


成熟期
不明
不明

デジタマ>>>



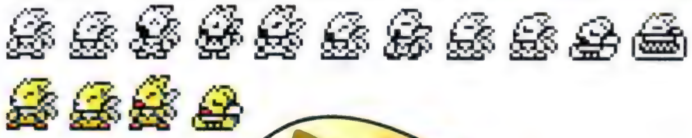




線画>>>

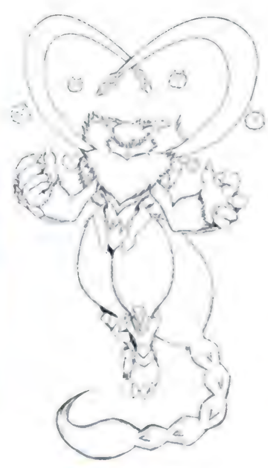
メイクラックモン
MEICRACKMON

完全体
ワクチン種
獣人型



デジタマ>>>



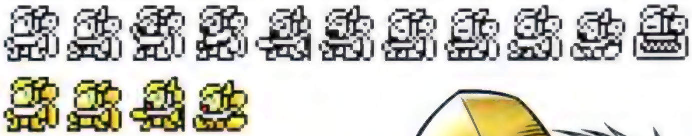


線画>>>

ラジエルモン

RASIELMON

究極体
ワクチン種
座天使型



デジタマ>>>





線画>>>



初期デザイン>>>

オメガモン Alter-S

OMEGAMON Alter-S

究極体
ウィルス種
聖騎士型



デジタマ>>>







線画>>>



初期デザイン>>>

ラストティラノモン
RUSTTYRANOMON

究極体
ウィルス種
サイボーグ型



デジタマ>>>



エグザモン

EXAMON

究極体
データ種
聖騎士型



デジタマ>>>





ポーズラフ>>>



線画>>>







グレイスノヴァモン
GRACENOVAMON

究極体
ワクチン種
銀河型



デジタマ>>>







初期デザイン>>>



ポーズラフ>>>

オメガモン

OMEGAMON

究極体
ワクチン種
聖騎士型

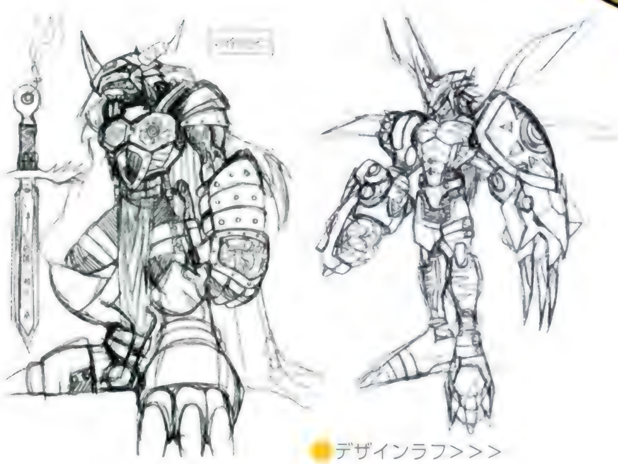


デジタマ>>>



✣「アルファモンカラー」「ズバモンカラー」「オメガモンカラー」でのみ進化。





デザインラフ>>>

インペリアルドラモン：パラディンモード

IMPERIALDRAMON PALADIN MODE

究極体
ワクチン種
古代聖騎士型



ファイターモード>>>



ドラゴンモード>>>

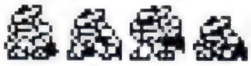


※ドラゴンモード、ファイターモードは「Ver.20th」には収録されていません。

デュークモン

DUKEMON

究極体
ウィルス種
聖騎士型







別ポーズ>>>

マグナモン

MAGNAMON

アーマー体
フリー
聖騎士型

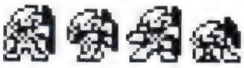




デュナスモン

DYNASMON

究極体
データ種
聖騎士型





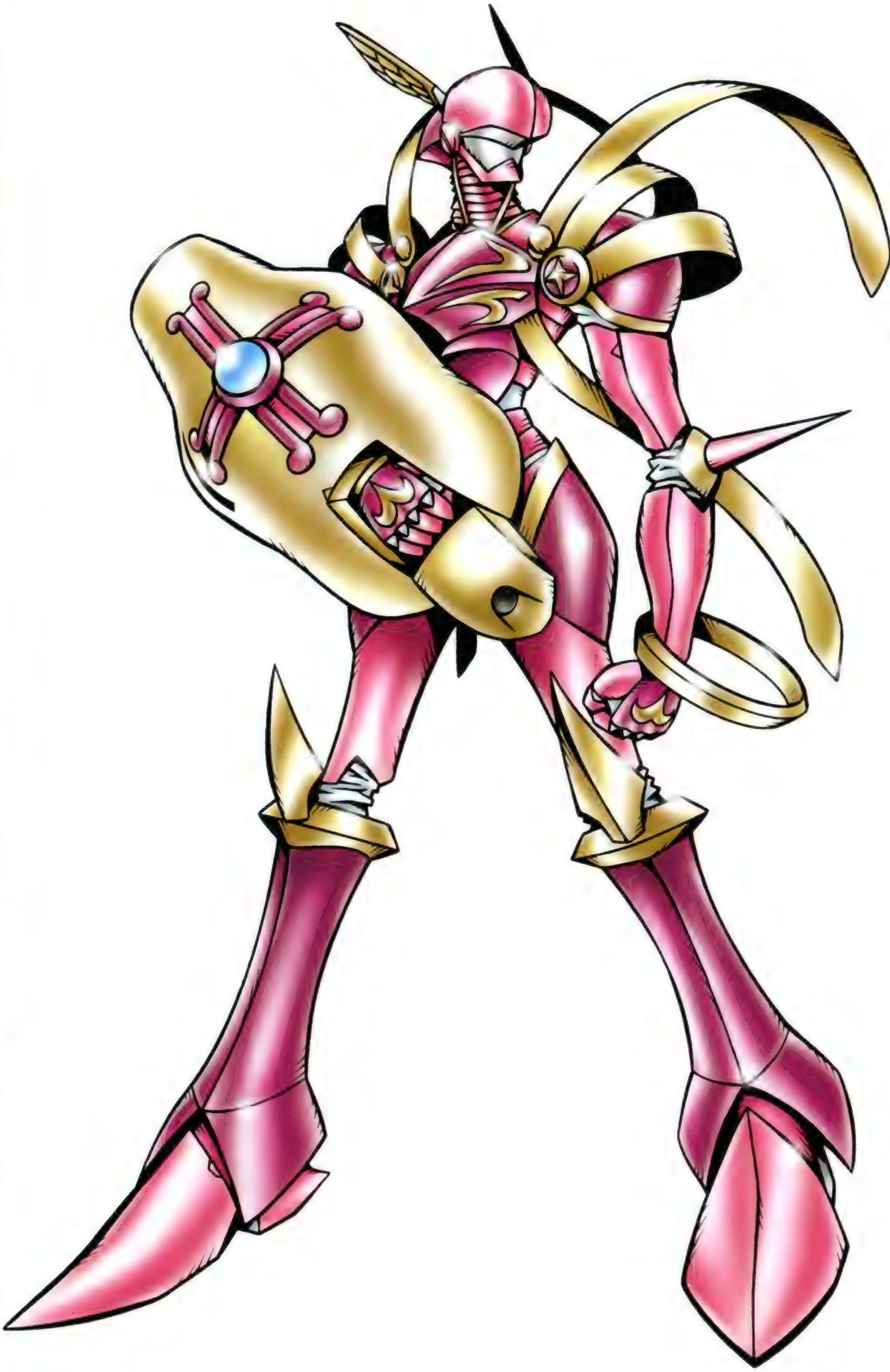


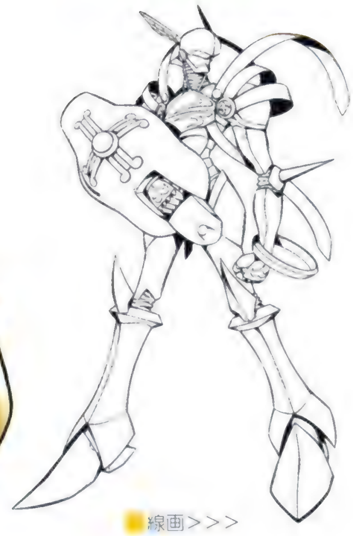
線画>>>

ロードナイトモン

LORDKNIGHTMON

究極体
ウィルス種
聖騎士型





線画>>>

アルフォースブイドラモン

ULFORCEVDRAMON

究極体
ワクチン種
聖騎士型



クレニアムモン
CRANIUMMON

究極体
ワクチン種
聖騎士型



スレイプモン

SLEIPMON

究極体
ワクチン種
聖騎士型





初期デザイン>>>



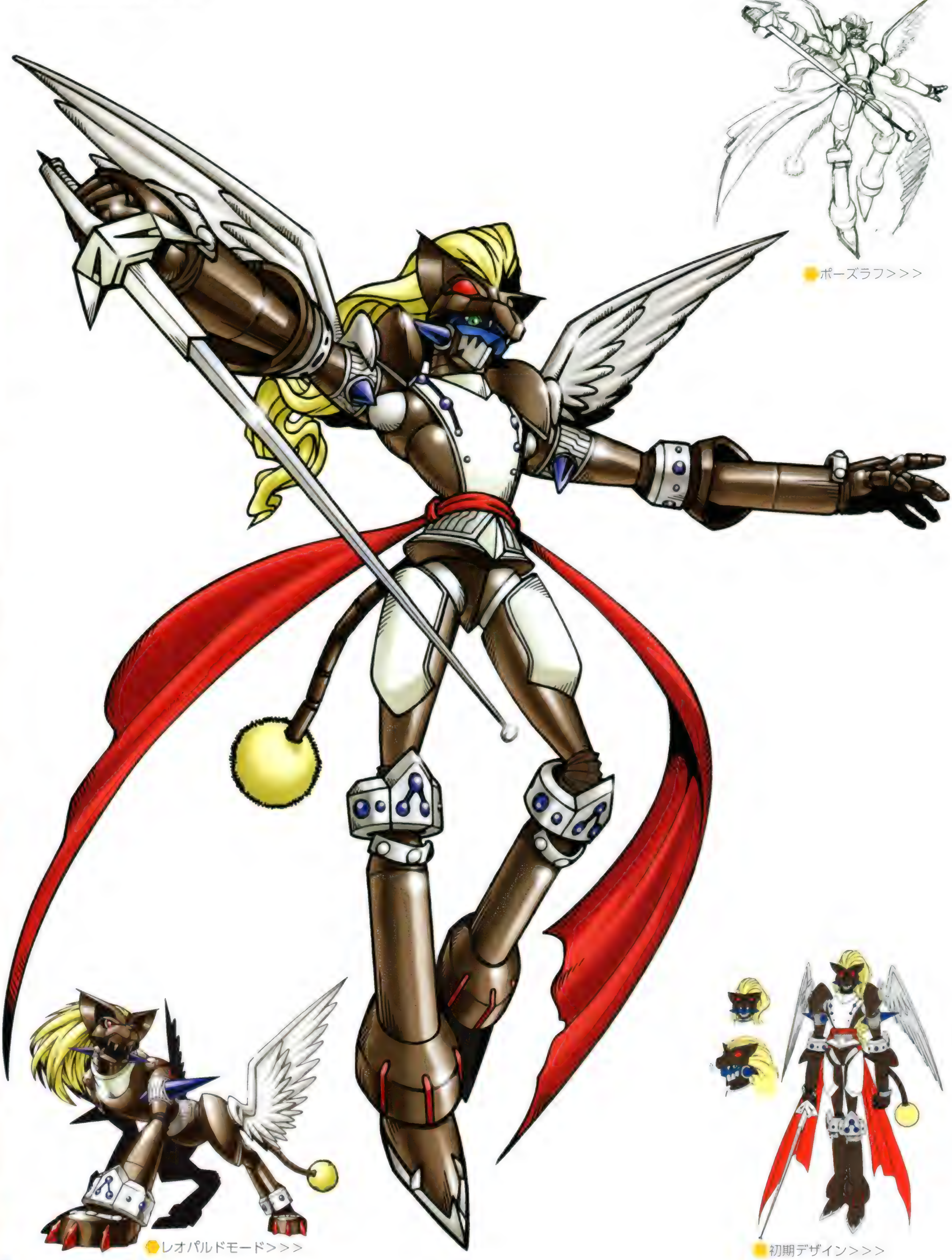
ポーズラフ>>>

ドゥフトモン

DUFTMON

究極体
データ種
聖騎士型





ポーズラフ>>>

レオパルドモード>>>

初期デザイン>>>

※レオパルドモードは「Ver.20th」には収録されていません

ガンクゥモン

GANKOOMON

究極体
データ種
聖騎士型







初期デザイン>>>

ルーチェモン：フォールダウンモード

LUCEMON FALLDOWNMODE

完全体
ウィルス種
魔王型







天使型>>>



サタンモード>>>



ラルバ>>>

※天使型、サタンモード、ラルバは「Ver.20th」には収録されていません。

リヴァイアモン

LEVIAMON

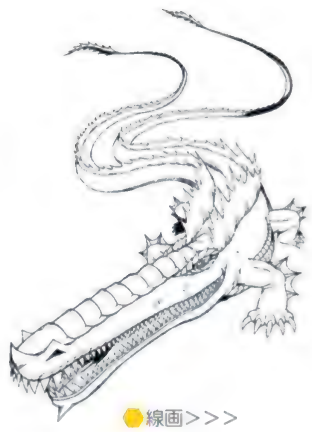
究極体
ウィルス種
魔王型







ポーズラフ>>>



線画>>>

ベルゼブモン
BEELZEBUMON

究極体
ウィルス種
魔王型







ブラストモード>>>



＋ベヒーモス>>>

＊ブラストモード、＋ベヒーモスは「Ver.20th」には収録されていません。

リリスモン

LILITHMON

究極体
ウィルス種
魔王型





線画＞＞＞

ベルフェモン：レイジモード
BELPHEMON RAGEMODE

究極体
ウィルス種
魔王型






初期デザイン>>>


ポーズラフ>>>


スリープモード>>>

※スリープモードは「Ver.20th」には収録されていません。

バルバモン

BARBAMON

究極体
ウィルス種
魔王型





デザインラフ>>>

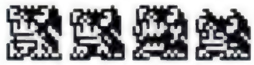


線画>>>

デーモン

DEMON

究極体
ウィルス種
魔王型







現実世界の姿>>>

※現実世界の姿は「Ver.20th」には収録されていません

ベリアルヴァンデモン
BELIALVAMDEMON

究極体
ウィルス種
魔王型







ムルムクスモン
MURMUKUSMON

究極体
ウィルス種
魔王型





デスモン

DEATHMON

究極体
データ種
魔王型







ウィルス種>>>

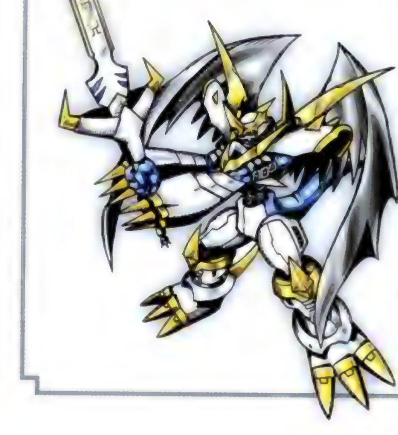
※ウィルス種は「Ver.20th」には収録されていません。

デジコラム5

ロイヤルナイツ

「ロイヤルナイツ」とは、デジタルワールドの守護を目的として行動している聖騎士デジモンたちの総称である。オメガモンが誕生した後その存在が明かされ、アルファモンの設定で13体存在することが判明した。15周年記念デジモン・ハックモンの究極体であるジエスモンの登場で、ロイヤルナイツ13体すべてが勢揃いした。





ロイヤルナイツの始祖

インペリアルドラモン:パラディンモード

究極体／古代聖騎士型／ワクチン種 インペリアルドラモンの最終最強形態である。古代デジタルワールドが未曾有の危機のとき、完全な崩壊から救ったとして、彼を始祖として「守護」をする存在が生まれたと考えられている。

役割と活動

ネットワークセキュリティの最高位として君臨する、13体の聖騎士デジモンたち。彼らは各自の考え方に基づき、デジタルワールドの守護・各地の問題解決のために活動している。その考え方次第では、ときに協力し合い、ときに対立したりもする。「プロジェクト・アーク」と呼ばれる、デジタルワールドの初期化計画の際には、イグドラシルの命令のもと、デジモンたちを削除する使命が与えられた。

メンバーリスト>>>>>

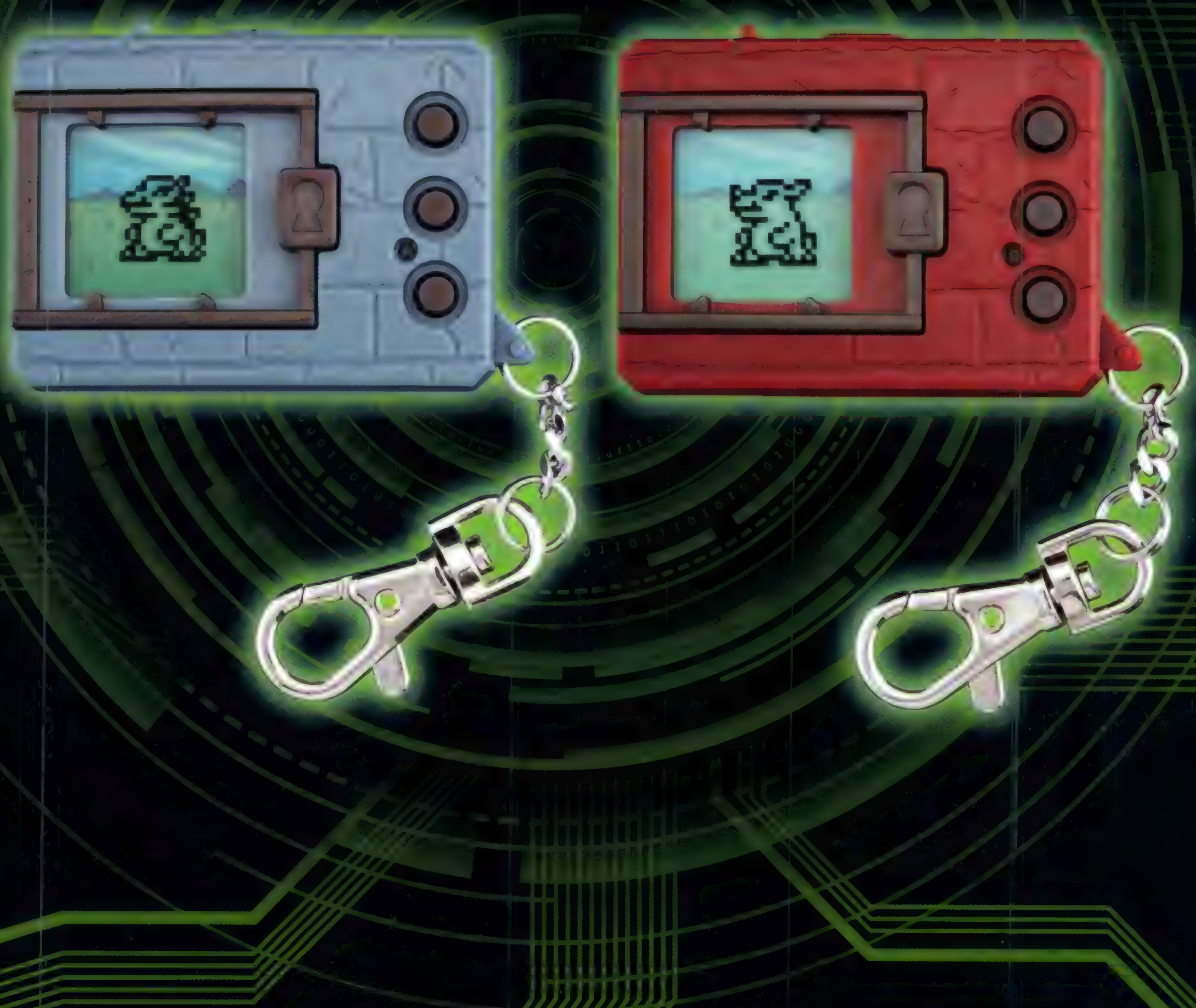
- アルファモン
- アルフォースブイドラモン
- エグザモン
- オメガモン
- ガンクゥモン
- クレニアムモン
- ジエスモン
- スレイプモン
- デュークモン
- デュナスモン
- ドゥフトモン
- マグナモン
- ロードナイトモン

Chapter2>>>

Making of DIGIMON

デジモンができるまで

本書初公開の貴重な資料から、デジモンの源流を紐解いていく。
そして、液晶玩具としての「デジモン」。デジタルワールドに生きるモンスターとしての「デジモン」。
その２つの歴史と設定を追う。



デジタルモンスター誕生秘話

男の子版「たまごっち」として始まった企画

1996年11月に「デジタル携帯ペット」というコンセプトで発売され、爆発的なヒットとなった『たまごっち』。その開発と同時期に、「バトル」の要素を加えた男の子版として開発が始まった。当初は「カプセルザウルス」という名称だったが、食事やトイレなどの世話・育成することで、変身し姿形が変わっていく仕様などは、ほぼ「デジモン」と同じような形まで出来上がっていた。

カプセルザウルス

〈ロゴデザイン〉


男の子版 たまごっち カプセルザウルス

たまごっちは 女 の子だけのモノではない！

「育てる喜び」は、女の子だけのモノではありません。
男の子だって、カブトムシを飼ったり犬を可愛がったり…。
また、子供たちに人気の"ミニ4駆"も「改造」という形で
自分の車を「育てている」と言えるのではないでしょうか！？

でも、育てるだけでは男の子は満足しません！

カブトムシを飼っている時も、大人しく見て楽しんでいるのは
最初だけ…。そのうち、他のカブトムシやクワガタと戦わせて
遊んでしまいます。

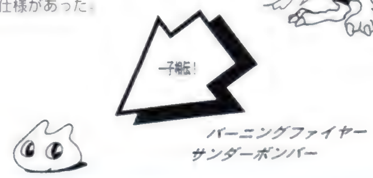
やっぱり男の子には バトル 要素！

インタラクティブ性
＋対戦バトル
＋携帯性
＋低単価
カプセルザウルス

〈企画書 概要〉

デジモンでなくなった仕様も

カプセルザウルスでは「技」を4つまで覚えることができ、寿命をむかえたとき、それらの中から2つまで「伝承」する仕様があった。

育成

食事には「ニク」・「クサ」・「キノミ」の3種あり、与える量によって成長のスピードや進化先に影響がある。トレーニングは、ランダムに出てくるモンスターを叩く、「モグラたたき」形式のゲームであった。「ラッキー度」や「身長」など、細かい用語や仕様にデジモンとの差異がある。

変身

「進化」とは言わずこの時点では「変身」で、「幼年期Ⅱ」にあたるものもない。進化の段階は「世代」と呼ばれており、「成長期」「完全体」が実際には採用されたようだ。デジモンの完全体にあたる「第Ⅳ世代」には、攻撃力が衰える代わりに「奥義」が使える、という仕様があった。

バトル

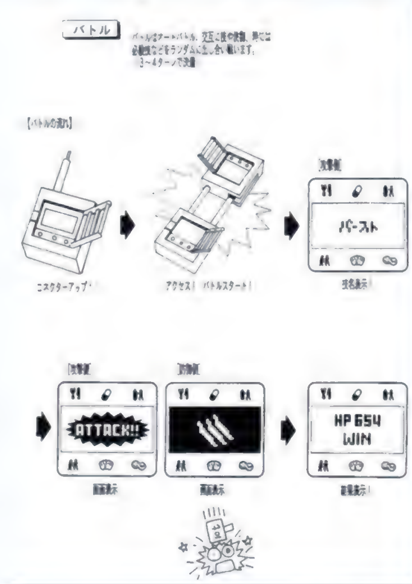
オートバトル、交互に技や防御をくり出し戦闘をする仕様はデジモンにも活かされる。画面上に必殺技名が表示されるのはカプセルザウルス独自のもの。「コネクターアップ！」や、「アクセス！」などの専門用語も用意されていた。数字で残りのHPを表示し、勝ち負けを判定する仕組みであった。



〈企画書 育成〉



〈企画書 変身〉



〈企画書 バトル〉

液晶玩具「デジタルモンスター」から、アニメやゲームへ世界観は広がっていった。開発時の企画書をもとに、「デジモン」の原点を紐解いていく。

かわいらしかった モンスターデザイン

カプセルザウルス用に用意されたモンスターたち。それぞれ丸みがあり目も大きく、デジモンよりもかわいらしい印象である。モンスターの属性・特徴もカラーリングでわかりやすいようにデザインされた。「カプセルザウルス」から「デジタルモンスター」へと、テーマ性での大きな方向転換があり、このモンスターたちは名前を付けられることもなく、お蔵入りになってしまった。



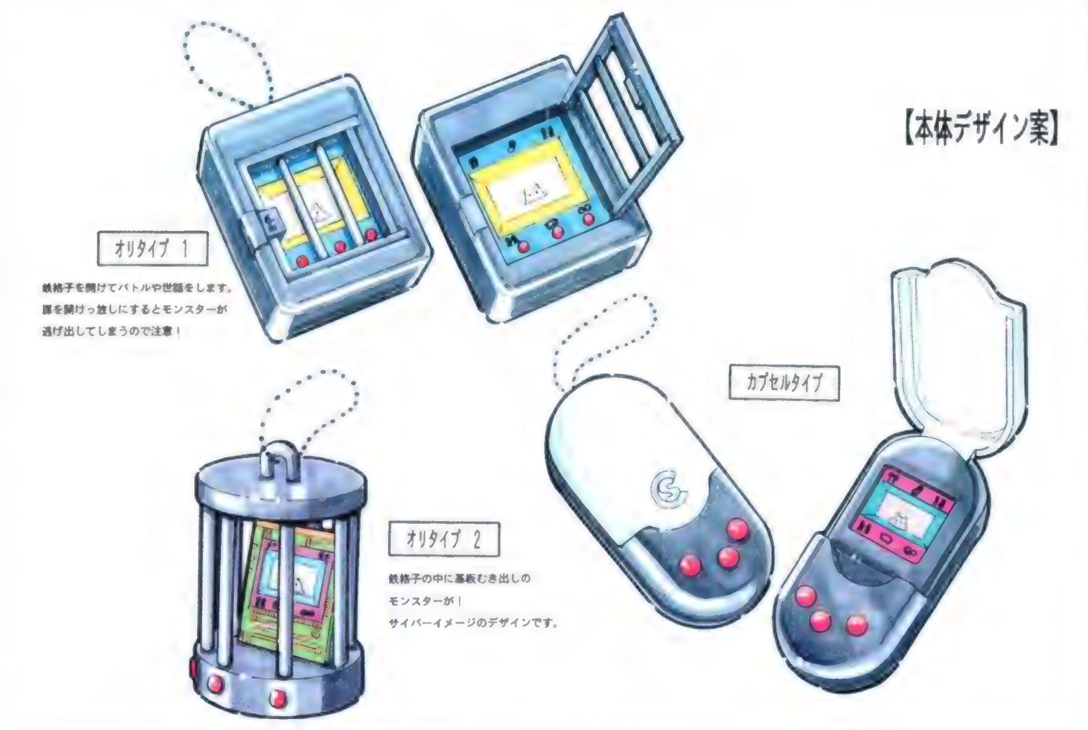
〈渡辺けんじ モンスターデザイン カラー〉

デジモンの原型を発見!!

着色こそされなかったものの、シードラモンやトリケラモン、ボタモン、ヌメモンなどの片鱗が見える。現在のもんざえモンと同じ隠しキャラとして、動物の耳と尻尾が生えた女の子も用意されていた。目や口の形に特徴があり、かわいらしさ重視のデザイン案であった。



〈渡辺けんじ モンスターデザイン モノクロ〉



〈企画書 本体デザイン案〉

より“檻”のイメージがある初期本体デザイン

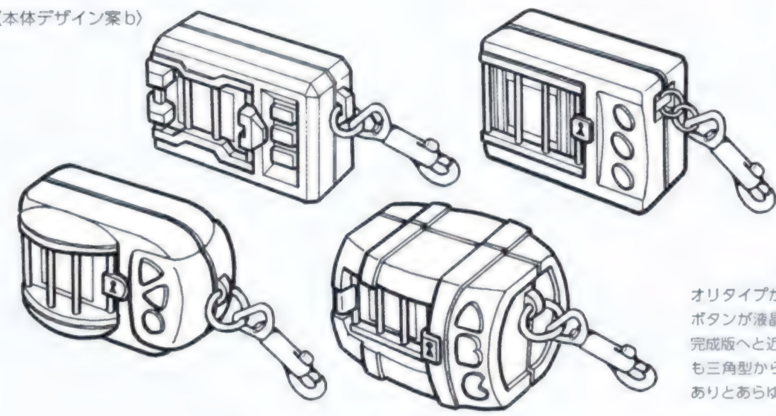
「カプセルザウルス」時の構想では、檻の形やカプセル型などユニークなアイデアが多数出されていた。より「檻」としての意味合いが強く、液晶画面には実際に格子がついており、開閉することが想定されていた。本体デザイン案の中から、「オリタイプ1」が選ばれ、そこからさらにブラッシュアップされた案が考えだされることになる。

〈本体デザイン案 a〉



ボタンが液晶画面の下についている、縦長のオリタイプ。先に出されたアイデアから、より本体に丸みが付き、ボタンも檻の外に出されて押しやすくなっている。

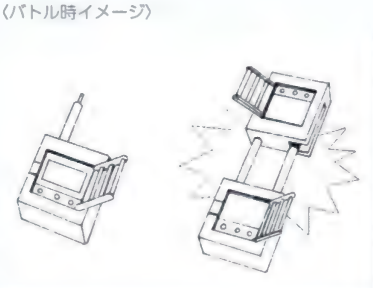
〈本体デザイン案 b〉

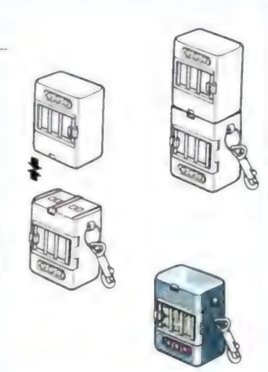


オリタイプが縦から横型へとシフト。ボタンが液晶画面の右側へ変更され、完成版へと近づいていく。ボタンの形も三角型からアルファベット式まで、ありとあらゆるパターンが検討された。

バトル通信イメージも作成

〈バトル時イメージ〉



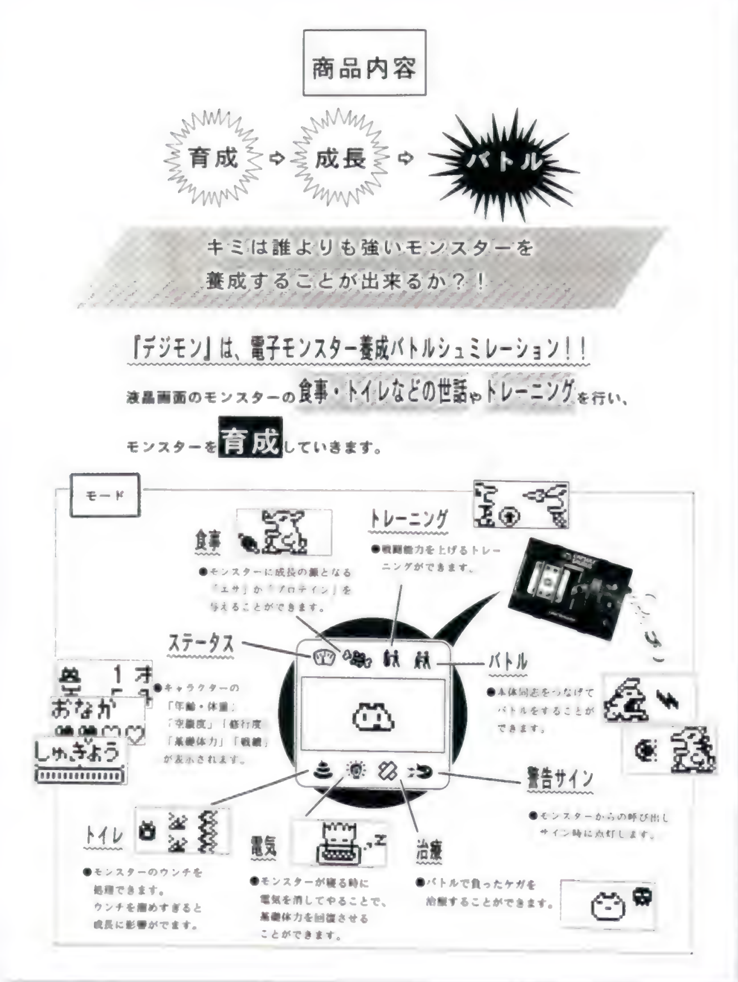


通信のイメージも本体の案が新しくなるたびに、更新されていく。初期の段階では、本体からコネクト部分が伸びてく仕様が想定されていた。次の案では、接触部分に蓋がされており、蓋を開いて本体同士が直に接触する仕様へと変更される。

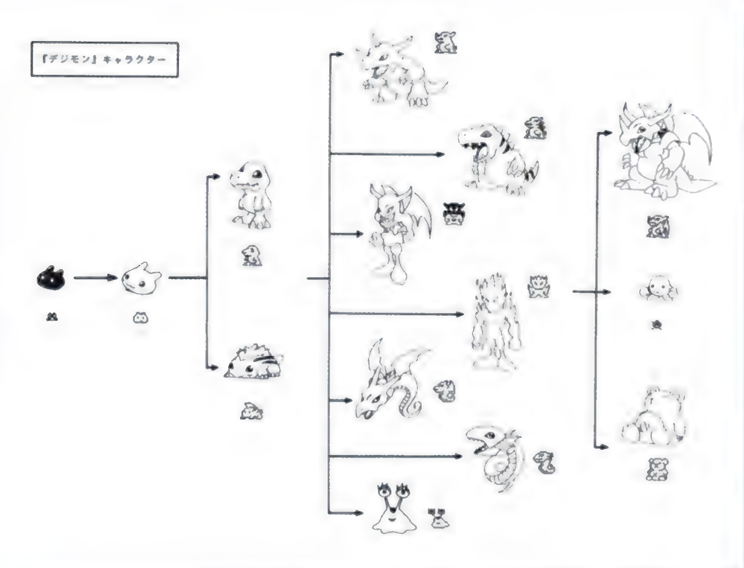
“デジモン”へとブラッシュアップ！

基本的な構想はかわらず、「カプセルザウルス」から「デジタルモンスター」へとコンセプトの路線が大幅に変更。同時期に他社から類似の商品が発売されてしまったため、より独自の世界観を打ち出すために「デジタル」という単語が用いられた。





〈企画書 概要〉



〈企画書 キャラクター〉

ドット絵とモンスターイメージ

「デジタルモンスター Ver.1」の成長段階と、モンスターイメージ。この段階ではモンスターデザインは制作されておらず、ラフ画のまま。発売の後に、このラフ画やドット絵を元にして、渡辺けんじ氏によりモンスターがデザインされた。

〈企画書 本体デザイン〉



完成版へと近づく本体デザイン案

オリタイプがそのまま採用されつつ、格子が液晶画面の上をまたいでいる。カラーリングやボタンの形は一新。ボタンの中にはアルファベットが記載されているほか、カラーリングもブラウンに近いものの、木目調が強いイメージである。

デジタルモンスターの生態

人工知能を持ったコンピュータウィルス “デジタルモンスター”

インターネットが発達していく過程で、爆発的に数を増やしていったとあるプログラム。それはネット上に存在する膨大なデータを取り込み、生存本能によって進化を続け、やがて知能を持つようになる。そして、同様のプログラム同士で競合しあい、生き残るためにさまざまな形態へとその姿を分岐させる。その姿が少数の人間に発見され「デジタルモンスター」、略して「デジモン」と呼称されるようなった。

進化

デジモンたちは「デジタマ」から生まれる。誕生後、一定の基準まで成長し、構造情報を大きく変化させる現象を「進化」という。その段階は「レベル」と呼ばれ、幼年期Ⅰ、幼年期Ⅱ、成長期、成熟期、完全体と名付けられる。後に、個の限界を突破した究極体が発見された。



[幼年期Ⅰ]

デジタマから生まれたばかりの状態。まだ体を構成するデータが安定しておらず、力も弱い。その期間は短く、数時間で幼年期Ⅱへと進化を果たす。

[幼年期Ⅱ]

誕生から少しの時間が経過し、進化した状態。体を構成するデータは安定しているが、まだ戦うことはできない。あらゆる進化の可能性を秘めている。

[成長期]

知能が発達して、力をつけ始めた状態。デジモンとして「戦う」本能が目覚め始める。まだ成長途中の姿であり、育成の仕方でその姿は大きく変化をする。

[成熟期]

より成熟した肉体を持ち、知能も発達した状態。基本的にデジモンとして完成された状態であり、多くのデジモンはこのレベルで成長がストップする。

デジコア

別名「電脳核」。デジモンにとっての心臓や脳にあたり、デジコアに異常があると命に関わるため、骨格や皮膚などで覆い守っている。だが、それ自体が膨大な情報量を活かした武器となるため、体外に出しているものもいる。原則として1体のデジモンにひとつだが、例外も存在する。



デジモンローダー

デジモンキャプチャーで捕獲したデジモンを、デジタマまで圧縮して転送するためのツール。また、これを通してデジモンとのコミュニケーションをとることができる。デジモンを構成するデータ量はとても大きいため、圧縮できるのは成熟期まで。「ドック」とも呼ぶ。



属性

デジモンは環境への影響や関わり方により、「ウィルス」「ワクチン」「データ」の3種に分類される。その環境で「どのように生き抜くか」で決まる。「フリー」や「ヴァリアブル」という分類も存在し、その多くが古代種とよばれるデジモンとの繋がりがある。

Vi ウィルス
周囲の環境を自分に合わせて変化させる種。結果、システムなどに異常を起こす原因に。

Va ワクチン
周囲の環境や自分の縄張りを守るため、ウィルス種に対抗するように動くデジモンたち。

Da データ
ウィルスやワクチンに属さず、周囲の環境に合わせて「ただ存在する」だけのデジモン。

デジモンキャプチャー

デジタルワールド内を検索して、デジモンを発見・捕獲するためのソフトウェアのこと。パソコン上で動作する。デジモンを発見した人間によって、デジモン研究の一環で開発された。当初は一般的なネットには出回らず、研究機関やハッカーが取り扱うのみであった。

「デジモン」の定義から育成時の用語まで、基礎的な用語を紹介。液晶玩具から始まり、とても広いデジモンの生態が広がっている。





[完全体]

成熟期の中でも、突出した力を持つデジモンが至ることのできる姿。圧倒的な力を持ち、野生で過ごしている場合、群れのボスになるパターンが多い。

[究極体]

完全体が自身の限界を突破し、進化した姿。構成するデータ量も桁違いであり、完全体とは違い単体で行動し、群れを形成するものは非常に珍しい。

[究極体を超えたデジモン]

レベルとしては究極体が最上位だが、まれに「究極体を超えた力を持つ」個体が存在する。その際は「超究極体」といった呼ばれ方をすることがある。

KEYWORD

性別
デジモンに性別は存在せず、寿命をむかえるときに自分のデジコアをデジタマまで圧縮変換して、次世代へデータを遺していく。デジモンによっては、自らタグ情報として性別を定義させるものも確認されている。

筋力
デジモンのデジコア内に存在するパラメータのひとつである。素早さ・力強さ・技の熟練度などを包括するメモリであり、いわば「強さの器」。器である筋力が高いほど、各ステータスに割り振るデータが増えていく。

トレーニング
デジモンを効率良く育てるため、人間により考えられた訓練。デジモンの筋力を向上させることができる。方法は多種多様にわたる。トレーニングを怠ってしまうと、時間の経過によって筋力が落ちてしまう。

肉
人間がデジモンに与える食事のひとつ。戦闘や知識などの学習効率を上げるための栄養食であり、デジモン専用の「食事データ」である。人間の視覚的に分かりやすいという理由で、肉のテクスチャが使用されている。

プロテイン
人間がデジモンに与える食事のひとつであり、一時的に強さを向上させる働きがあるドーピングのようなもの。強制的に強さを引き上げるため、プログラムエラーを起こす可能性があり、病気やケガを引き起こしやすくなる。

ウンチ
デジモンが体外に排出した古いデータ。古いデータは体外・体内にあってもバグを起こす可能性があるため、排出、清掃をする必要がある。ひと目でわかるように、あえて「ウンチ」のテクスチャで見えるようにしてある。

体重
デジモンの重さはプログラムの持つデータ総量であり、単位は「G（ギガ）」と表記される。基本的に体が大きいもの、力が強いものはデータ容量が大きいが、個体や種族によってはこの限りではない。

個体差
同じ種族のデジモンでも、取り込んだデータの違いにより個体差が生じ、形状や属性の変化まで起こす場合がある。突然変異的に出現する、姿はそっくりでもデジコアの内部情報が全く異なるものは、別の種族と分類される。

ジョグレス進化
同じレベルの２体のデジモンが合体し、上のレベルの別デジモンへと進化することを「ジョグレス進化」と呼ぶ。「ジョグレス進化」か通常の「合体」かは、レベルの変化の有無で判別することができる。

デジモンの住む世界「デジタルワールド」

ネットの海

あらゆる情報が漂う根源的なデータの集合体、そこはデジモンたちが生息する「海」のような場所であった。後に「ネットの海」と名付けられ、総括して「デジタルワールド」と呼ばれるようになる。この場所を知った人間は、直接干渉を行うための研究を始めた。



ダイオン郷

見渡すかぎり、ドロドロとした沼地が広がる郷。レアモンなどが好んでこの場所に住み着くほか、カエルのような鳴き声もよく聞こえてくる。

おもちゃの街



雪が降り積もり、霧がたちこめる深い森の中にある街。きれいなお城が建っており、もんざえモンなどおもちゃの形をしたデジモンたちが生息する。

ファクトリアルタウン

一帯に工場が立ち並ぶ工業地帯。サイボーグやマシーン型のデジモンが、この場所に集まってくる。ジャンク屋と呼ばれる、廃部品を売る店も存在する。

地下下水道

ファクトリアルタウンから出る汚れた水を、排水するための施設。とてもジメジメして汚い水が流れているため、たいていのデジモンたちは近寄らない。

ゴミの山

島中のゴミが集まり積み上ってできた場所。酷い臭いが漂っている。衛生上とても良くないが、スカモンはここが大好きである。

ムゲンマウンテン

島の中で最も標高が高い山。頂上からは島の全体が一望できるが、雲に覆われていることが多い。この山の入口を探し出すのは、かなり困難なようだ。

ミハラシ山



ギアサバンナと迷わずの森の間にそびえる、小さな山。標高は低いが道は険しく、頂上にはメラモンが生息しているため、通り抜けるのは非常に厳しい。

ドリルトンネル／溶岩洞

ドリモゲモンが掘り進めているトンネル。開通しミハラシ山を越えなくて良くなったが、途中で溶岩を掘り当ててしまったため、道を間違えるととても危険だ。

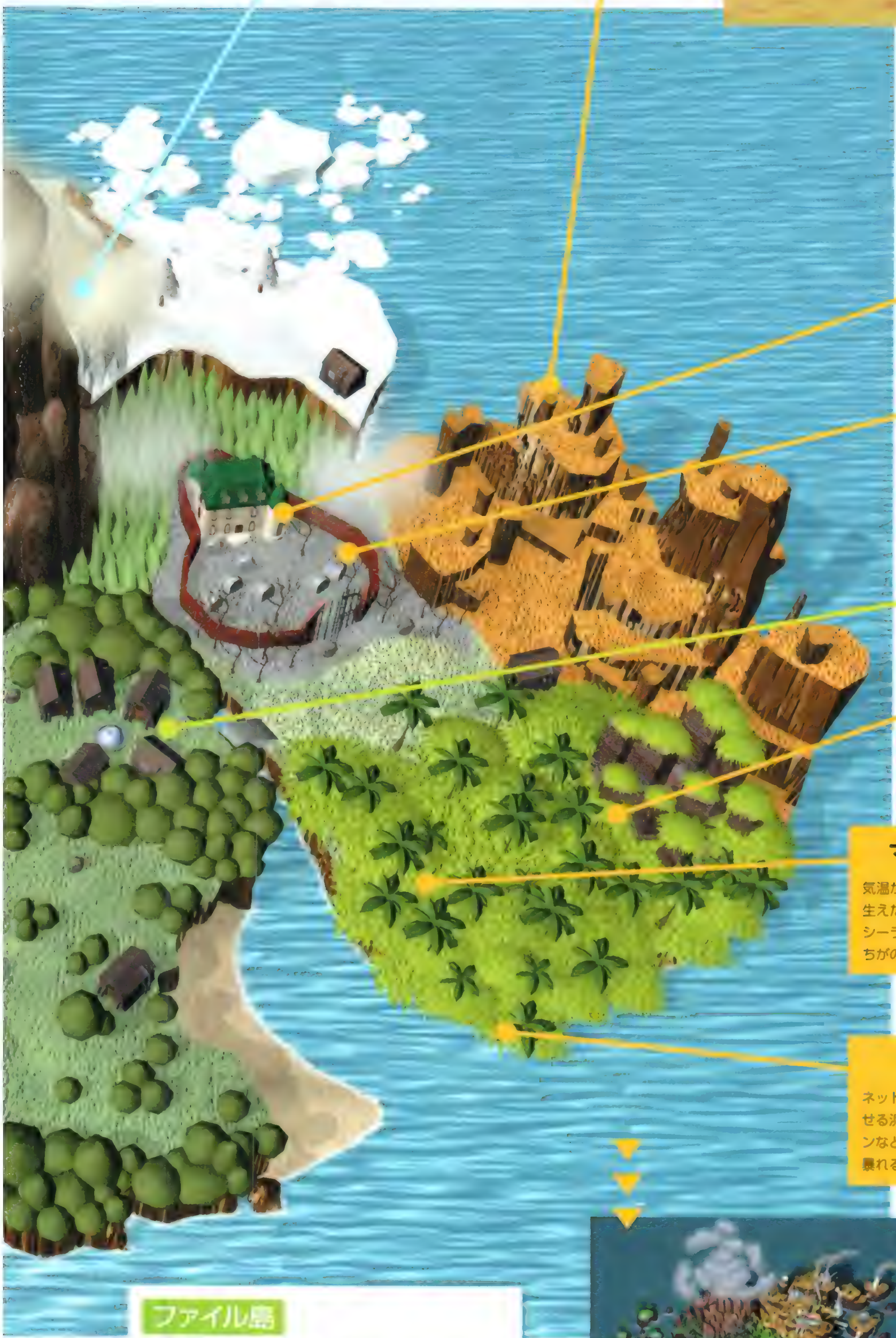
ビートランド

数多くの木々で鬱蒼としている、秘境のようなとても深い森。カブテリモンやクワガーモンといった昆虫型デジモンたちの、絶好の住処となっている。

龍の目の湖

澄み切ったきれいな水でできた湖。中央部分の小さな島が、目のように見えることから名付けられた。多くの魚が採れるらしい。シードラモンなどが生息する。

デジモンキャプチャーによって発見された、人類にとってもうひとつの世界「デジタルワールド」。その広大な世界の、一端を覗いてみよう。



アイスサンクチュアリ

常に雪に覆われいる、とても寒い地域に建つ氷の教会。選ばれたものしか入ることができず、デジモンたちの聖地となっているようだ。

グレートキャニオン

草木も生えない、乾燥して荒れ果てた大地。オーガモンやデルタモンなどの荒くれものたちが集まり、日夜決闘が行われている。



〈ファイル島の6つのエリア〉



ムゲンマウンテンを中心に、6つのエリアに分かれているファイル島。各エリアごとに気候や生息するデジモンが異なる。エリアによっては主となるデジモンがおり、住むうえでの掟なども定まっているようだ。

闇貴族の館

日中でも太陽が出ず、なぜか一日中夜のエリア。そこに建つ不気味な洋館が「闇貴族の館」。ゴースト型やアンデット型のデジモンが集まってくる。

オーバーデル墓地

闇貴族の館の敷地内にある広大な墓地。なにが埋葬されているのか、解明されていない。館に住むデジモンたちが、ここで動き回る様子が目撃されている。

はじまりの街

幼年期デジモンたちが生活するのどかな街。デジモンたちの生まれ故郷。ある程度成長すると、はじまりの街を旅立ち、その体にあったエリアへと移動する。

ダイノ古代境

古代の遺跡が立ち並ぶエリア。何のための、また誰の遺跡なのかは未だ謎に包まれている。ケンタルモンなどが強さを求めて、サバイバルをしているようである。

マングローブ域

気温が高い熱帯地域で、水辺に木々が生えためずらしい場所。シェルモンやシーラモンなど、大人しいデジモンたちがのんびり過ごしている。



シーラ岬

ネットの海から、穏やかに波が打ち寄せる浜辺。普段は静かだが、ホエーモンなどの、海にすごすデジモンたちが暴れると、大荒れとなる。



ファイル島

デジモンを効率よく管理するための、人の手によってネットの海に作られた「陸地」。だがその後に、自発的に行動を起こしたデジモンたちによって独自の発展を遂げていく。その発展により、多くのブラックボックスが眠る未開の地へと変貌することとなった。



広がりを見せるデジタルワールド

後に、ファイル島の近くで「フォルダ大陸」が発見される。元々そこにあったのか、ファイル島の影響で発生したものかは不明である。フォルダ大陸は、ファイル島よりも生存本能が強いデジモンが多く、「究極体」も発見された。他にも、数々の陸地が見つかることとなる。

デジモンイラストができるまで

1 デザインラフ

モチーフや設定から、イラストレーターがデジモンの元となるラフスケッチを作成する。このラフを元にデザインの方向性や、細かなディティールの調整が行われる。20周年デジモンの場合、「武器型デジモン」の設定から、武器となった形態まで考案された。







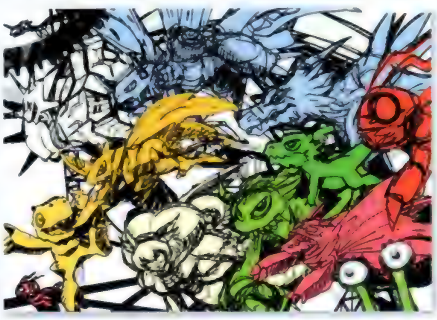
2 初期デザイン

方向性が固まったら、「素立ち」と呼ばれる状態でデジモンが描かれる。この段階で、デジモンのデザインはほぼ確定する。場合により、「三面図」と呼ばれる正面、裏、横側から見た状態や、そのままでは見ることのできないマントの内側や足の裏まで作成される。

描き下ろしイラストメイキング

ラフ案1

渡辺けんじ氏が最初に用意したラフ。各デジモンの配置がわかりやすいように、それぞれ色分けがなされている。左下にさりげなくケラモンがいた。





デジモンごとにデザイン完成＆着色

上記の工程と似たようなかたちで、線画、下地、着色、効果入れの順で作成される。臨場感を出すため全身が描かれる場合もある。

ドット絵とは違うデジモンの魅力が、伝わるイラスト。20周年デジモンを元に、そのイラストが完成するまでの過程の一例を紹介する。

3 ポーズラフ

細かいディティールまで確定したところで「イラスト」としての作成が始まり、デジモンの魅力をより際立たせるための「ポーズ」が考案される。初期デザインと比べて、動きのある姿が多い。ズバイガーモンとデュラモンは、別のポーズラフが採用された。





4 線画

ポーズが決まると、ラフの状態からペン入れがなされ、主線が作成される。この時点で既に、着色や影の位置は想定されている。



5 着色

初期デザインの色味をもとに、線画に色が塗られていく。ズバモンの場合、より躍動感と「記念」感を演出する目的で、黄色から金色へと微調整が加えられた。立体感をだすために、全身に「影」も入れられる。



6 完成

着色された状態から、より強い陰影が加えられる。さらに、目の光や角の輝きなどの光沢、体の汚れ、攻撃のエフェクトなどが書き足される。複数のスタッフによって最終チェックがなされ、OKとなれば、公式イラストとして完成となる。



7 ドット絵の作成

初期の「デジタルモンスター」の場合は、渡辺けんじ氏により、ドット絵からイラストが作成されていた。だが、20周年デジモンの場合は、より液晶画面での表現にこだわるため、先にデジモンのイラストが制作され、それを元にドット絵が制作された。









組み合わせて、背景を付け完成

すべてのデジモンが描かれ、組み合わせて、背景を書き込んで完成となる。1枚のイラストの完成までに、数多くの工程がかかっているのだ。

デジタルモンスターVer.1～5のキセキ

DIGITALMONSTER

記念すべき第１作目。当時はまだイラストができておらず、CGで作成されたティラノモンがパッケージを飾っている。6月に「グレー」と「ブラウン」が発売され、その人気を受けて11月に新色である「イエロー」など４色の発売が始まった。

June



[グレー]



[ブラウン]



[イエロー]



[グリーン]



[ブルー]



[レッド]

1997年

6月

12月



[ブラック]



[ホワイト]



[クリア]



[スモーク]

DIGITALMONSTER Ver.2

ガルルモンのイラストが印象的な第２弾。収録されているデジモンが一新されたほか、トレーニングがタイミング押しへと変更された。12月に「ブラック」と「ホワイト」が発売され、翌年の２月にクリアパーツを使用した新色２つが発売された。

December

数多くの液晶玩具が発売されてきたデジモンシリーズ。その最初期である、「デジタルモンスター」シリーズのラインナップを一挙に掲載する。

デジタルモンスター DIGITALMONSTER Ver.3

オーガモンがパッケージを飾る第３弾は、４色すべて同時に発売された。トレーニングがボタン連打式に変更されている。ドリモゲモンやバケモン、アンドロモンなど、ユニークなデザインのデジモンが多数収録された



[クリアパープル]



[クリアオレンジ]



[パープル]

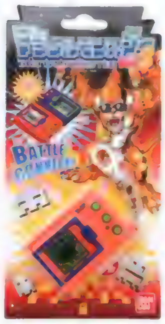


[オレンジ]

March

「JUMP SPECIAL」版が登場

エテモンがパッケージを飾るスペシャル版。収録内容やカラーは同じだが、液晶画面の右上に「ジャンプ」の文字が刻まれている



[オレンジ]



[パープル]



[クリアオレンジ]



[クリアパープル]

1998年　3月　5月　7月

May



[クリアレッド]



[クリアブルー]

July



[クリアグリーン]

デジタルモンスター DIGITALMONSTER Ver.4

クワガーモンが目印のシリーズ第４弾。ピヨモンやパルモン、レオモンなど、後のアニメでも活躍する人気デジモンたちが多数収録されている。トレーニング方法は、上昇していく数値をMAXのところで止めるという、めずらしいものだった。

「D-1スペシャル」版が発売

写真にはないが、大会「D-1グランプリ」の開催記念に、個数限定で発売された特別版がある。パッケージを飾るのはメガドラモン育成できるデジモンやトレーニングなどは「Ver.4」と変わりはないものの、背景に大きくD-1グランプリのロゴが入っている。

デジタルモンスター DIGITALMONSTER Ver.5

「Ver.4」の発売から２か月後という、短いスパンで発売された第５弾。トレーニングは再び、タイミング押しに。１色しか発売されなかったものの、その3か月後の10月には新たな要素が加わった「デジモンペンデュラム」が発売された。

液晶玩具「デジタルモンスター」の進化

デジモンペンデュラム

1998年

本体を振る回数などによってトレーニングやバトルに変化を起こす、振り子機能「ペンデュラム」が追加されて、完全体の進化形態である「究極体」もこのとき誕生した。液晶玩具の大会である「D-1グランプリ」も全国各地のおもちゃ屋さんで実施され、一大ムーブメントとなる。

ドット絵>>>



シリーズ>>>

デジモンペンデュラム1.0
デジモンペンデュラム1.5
デジモンペンデュラム2.0
デジモンペンデュラム2.5
デジモンペンデュラム3.0
デジモンペンデュラム3.5
デジモンペンデュラム4.0
デジモンペンデュラム4.5
デジモンペンデュラム5.0
デジモンペンデュラム5.5
デジモンペンデュラムZERO



“ジョグレス”の追加

JOGRES

成長期以上のデジモンが合体をして進化する「ジョグレス」。ペンデュラムからこの機能が追加されて以降、アニメやゲームなどでも登場し、デジモンの進化方法のひとつとして定番となる。

デジモンペンデュラムプログレス

2002年

「デジモンペンデュラム」の進化版。液晶画面が広くなった他、ドットでのデジモンの表現が豊かになり、「勝ち抜きバトルトレーニング」で遊びの要素が増えた。また、朝・昼・夜、どの時間でバトルやトレーニングをするかにより、進化先が変化するのも特徴のひとつ

ドット絵>>>



シリーズ>>>

デジモンペンデュラムプログレス1.0
デジモンペンデュラムプログレス2.0
デジモンペンデュラムプログレス3.0



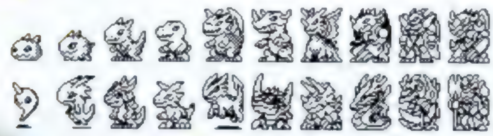
「Ver.5」の発売以後、新デジモン・新機能を追加した液晶玩具が登場した。追加要素とともに、デジモンの世界観はさらなる広がりをみせる。

2003年

デジモンペンデュラムエックス

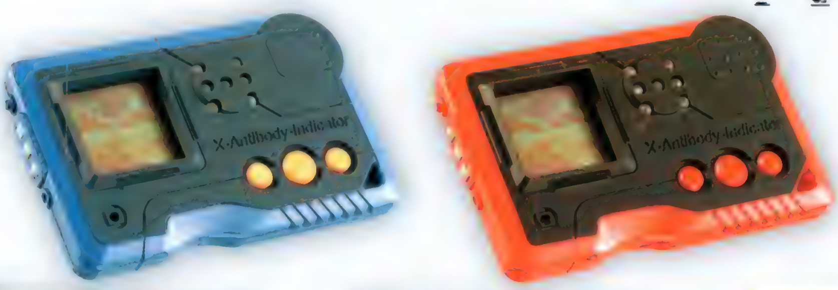
本体が薄型となり、デジタルサイコロ『XAI』を搭載。トレーニングやバトルではペンデュラムで本体を振り、サイコロの出目によって攻撃力が変化する。また、サイコロをふってマップを移動する実戦トレーニング式のクエスト『デジタルスゴロク』で、よりゲーム性が増した。

ドット絵>>>



シリーズ>>>

デジモンペンデュラムX Version1.0
デジモンペンデュラムX Version1.5
デジモンペンデュラムX Version2.0
デジモンペンデュラムX Version2.5
デジモンペンデュラムX Version3.0







X抗体デジモンの誕生

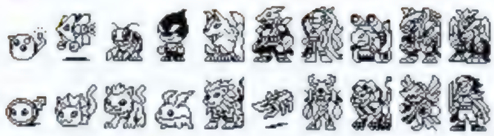
『ペンデュラムX』に同梱された小冊子とカードゲームで、デジタルワールドの危機と『Xプログラム』、ロイヤルナイツにまつわる物語が展開された。新たな環境に適応するために、デジモンたちは『X抗体』を手に入れて、その姿と能力を変化させた。

2005年

デジモンアクセル

液晶玩具の第5弾。自身の肌や『デジモンデータプレート』などから、DNAを集めて進化させる。特殊進化「ブラストエヴォリューション」で、戦闘中に進化してパワーアップする。本体はパネルを外し中の台紙を取り替えることで、自分好みに着せかえることができた。

ドット絵>>>



シリーズ>>>

デジモンアクセル ジャスティスゲノム
デジモンアクセル エビルゲノム
デジモンアクセル ネイチャーゲノム
デジモンアクセル アルティメットゲノム



DNA
(Digimon Natural Ability)



デジタルワールドの物質から採取できる元素データのこと。竜、獣、鳥、虫、暗黒、聖、水、機械の8属性がある。デジモンに与えることで成長を促し、短時間で進化を可能とする。プロテインと比べ、デジタルワールド由来データのためデジコアへの負担が少ない。

デジモンミニ

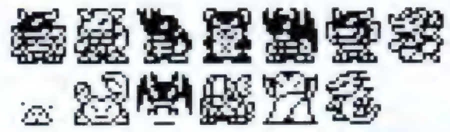
DIGITALMONSTER MINI

デジモンミニ

液晶玩具の中で最も小さく、軽量化された。育成や進化の要素は初代デジタルモンスターを踏襲しているが、成長期への進化分岐が3体あり、究極体へも進化する。「デジクロス」でより強いデジモンへと成長させる、アニメ「デジモンクロスウォーズ」版が2010年に発売された。

2005年

ドット絵>>>



シリーズ>>>

デジモンミニ
デジモンミニ Ver.2.0
デジモンミニ Ver.3.0



かわいいイラストが登場

「デジモンミニ」の発売に際し、宣伝や攻略本のためのイラストが製作された。デジモンたちのちょっとした行動が描かれており、どれも生態や性格、関係性がよく分かる興味深いものに仕上がっている。





デジモンツイン L&R

DIGIMONTWIN

デジモンツイン

LとR、2つでセットとなる液晶玩具。それぞれで育成できるデジモンが異なり、通信すると特別なイベントが発生する。「ズィードガルルモン」や「ビクトリーグレイモン」など人気デジモンの亜種や、体重が増えすぎたときに変化する「ぱ～ぷモン」が誕生した。

2007年

シリーズ>>>

デジモンツインL
デジモンツインR
デジモンツイン L&Rセット



2017年

デジタルモンスターVer.20th

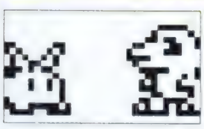
初代「デジタルモンスター」誕生から20年を記念して発売。2体同時育成や究極体までの進化など、さまざまな要素が追加された。2017年6月にオリジナルブラウンとオリジナルグレーが配送され、後に新色3種が発売される。それぞれ収録される特殊デジタマが異なっている。

シリーズ>>>

デジタルモンスターVer.20th オリジナルブラウン
デジタルモンスターVer.20th オリジナルグレー
デジタルモンスターVer.20th アルファモンカラー
デジタルモンスターVer.20th ズバモンカラー
デジタルモンスターVer.20th オメガモンカラー



液晶玩具初の2体同時育成



1体目を成長期まで進化させると、2体目が育成可能になる。タッグでトレーニングやバトルができるので、遊びの幅が広がった。食事やトイレも同時に行える他、睡眠時には一緒に布団に入る演出も加わった。

特殊デジタマを収録



ズバモンなどの周年記念デジモンや、ドット絵が変化したアグモンなどの特殊なデジモンが育てられる。「通信した人数」や「アルバム登録数」などの条件を満たすと登場する。

WEBとの連動



「アルバム」機能から確認できる16桁の数字を、デジモンウェブからアクセスできる「D-1グランプリ」に登録すると、登録したデジモンでバトルができる。

究極体まで進化する



オリジナルでは完全体までしか進化しなかったが、「Ver.20th」では究極体まで進化する。特定の条件を満たすと、究極体同士が合体し、さらなる進化を遂げることもある。



初回特典と説明書イラスト

新色3種に早期購入特典で、付属したイラスト色紙。本体カラーにそった、渡辺けんじ氏描き下ろしのデジモンイラストが使用された。取扱説明書にも、ズバモンなどの周年記念デジモンたちの描き下ろしイラストが掲載されていた。

渡辺けんじスペシャルインタビュー

試行錯誤の入社時代

――デジモンのお話の前に、渡辺けんじさん自身についてお伺いさせてください。けんじさんがデザイナーを志されたのは、いつごろからでしょうか？

渡辺：僕はもともと漫画家になりたかったんです。高校生の頃は小学館や集英社の少年誌に漫画を投稿していました。投稿した雑誌に名前が掲載されるまではいったんですが、漫画家になりたいと思っても、もちろんすぐになれるわけでもないのと絵の勉強を本格的にしてみたいと思ったので、親に頼んでデザインの専門学校に行かせてもらうことになりました。そこでイラストの勉強や、デザイン会社の研修を受けているうちに、業界の厳しさに直面しまして…。どうせ厳しいなら、１枚のイラストを描いて完成させる仕事がいいと思うようになりました。絵を描く仕事ってなかなかなかったんですけど、たまたま何社か、「キャラクター描ける人募集」みたいな求人を見つけて。その中で株式会社ウィズだけが、男性社員も募集していたので、面接を受け入社させていただきました。当時ウィズはまだできたばかりで、４人ぐらいの会社でした。キャラクターを描ける人がいなかったので、入ってほしいとのことだったんです。

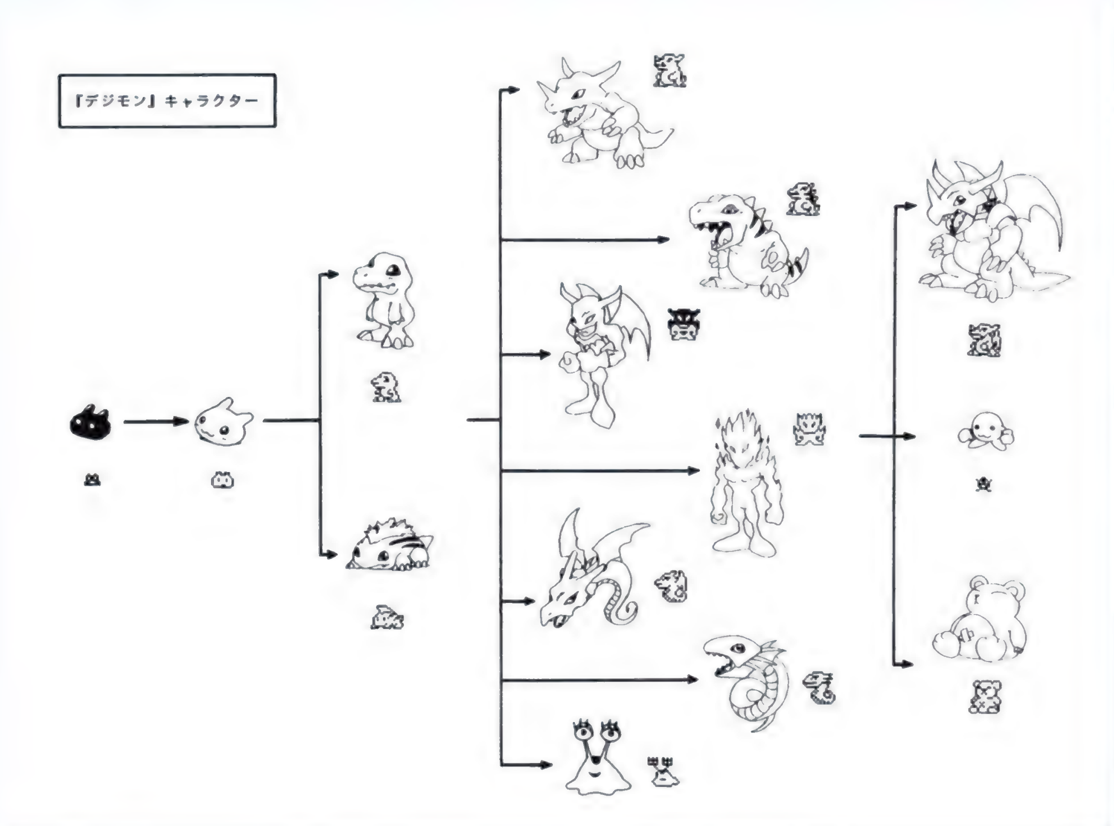
――入社当初から、キャラクターのデザインをされていたのですか？

渡辺：入社から何年かは缶の貯金箱や迷路のおもちゃだったりの、ゲームの開発から試作、パッケージのイラストや、取扱説明書の絵を描いたりとか、なんでもやっていましたね。実際に工場へ行って作り方を見てきたり、自分で着色もしたり…。イラストレーターだったかというとそうではなくて、イラストも描くけどなんでもやる、という感じでした。ウィズの人間がみんなそうだったということもありましたが。当時は企画から開発までできるかできないかで、企画会社の価値が決まってたところがありますから。『たまごっち』や『デジモン』が始まるのは、それから10年くらい経ってからですかね。

恐竜を連れて歩く面白さ

――『デジタルモンスター』企画立ち上げの経緯を教えてください

渡辺：当時のバンダイさん、今で言うボーイズトイ事業部さんとともに『たまごっち』を開発していたんです。『たまごっち』は女の子向けとしての印象が強かったので、やはり男の子向けの商品を作らないといけないね、と企画が立ち上がり



〈渡辺けんじ氏が描いたデジモンイメージ〉

企画立ち上げ当初からデジモンのイラストを描き続けている渡辺けんじ氏。デジモンの成り立ちや、この20年を振り返ってのお気持ちなどを伺いました。

ました。『たまごっち』の男の子版ということで「おとこっち」、次第に内容に沿って「カプセルザウルス」と名前が変遷していきました。カプセルだと他社商品と要素が非常に被ってしまうので、「データ上に生きるモンスター」の意味を込めて『デジタルモンスター』にまとまりました。略して「デジモン」がこれまた、他社商品と名前が被るなとも話していたんですが、商標が取れたのでまあ良いかと(笑)。
『たまごっち』の流れではあったので、モンスターもかわいらしいものが多く、火とか水、電気とか、色で属性がわかるようにモンスターを作っていました。ですが、やはり他社商品を彷彿とさせるということで、ぜんぜん違う絵にしてほしいとオファーがありました。そして『スポーン』[※1]というアメコミや、サイモン・ビズリー[※2]、マイク・ミニョーラ[※3]といった作家など、当時好きだったタッチを子ども向けに描いたのが『デジモン』イラストの始まりです。

――イラストの方向性について、指定などなかったのでしょうか？

渡辺：元々アメコミは好きだったのですが、あまり需要がなかったといいますか、普通「アメコミみたいに描いて」とは言われないですよね(笑)。何も言われず描いたら、多分違うだろ、と怒られちゃいます。でも、そのときはもう本当に「どうしよう？」状態だったんですよ。発売まであまり時間がなく、他の人からのアイデアも尽きてしまい、また他にイラストレーターがいるわけでもなかったので、「好きに描かせてください」と言って提出させてもらったんです。それで最初のデザインのイメージは、企画書に入っているこれ(左イラスト)です。
開発しているときは、キャラクターのデザインはそんなに重要ではないので、これをドット絵に落としこみ、そこから改めてデザインとして起こしました。ただ、「Ver.2」からは、全部ではないですがドット絵が先行でしたね。

――「バトル」の要素はデザインを考える上で、影響はありましたか？

渡辺：やはり「モンスター」であることを意識しました。子どもたちが自分で怪獣・恐竜を飼育して、連れて歩き、バトルができるというのが面白いよねって。実際に連れて歩いているのはドット絵なんですけど、頭の中で戦う姿を想像するのは「恐竜」。カワイイやつが戦っていると悲壮感がでてしまうので、ちょっと怖い感じがいいのかなと。犬でもそうなんですが、口をグッと開けたときに牙が見えると、やっぱり「獣」なんだなって感じる瞬間があるんですよね。そういう動物としての「怖さ」があったほうがいいなと思いました。例えば、トコモンが口を開くと歯が2重にも並んでいるのとか。あれは元々『ダーククリスタル』[※4]という映画に出てきた生き物（ヒロイン・キーラのペットであるフィズギー）を参考にしたのですが、"獣でかわいらしいやつが口を開け



〈トコモン(P033)〉

たらものすごく怖い"ってアリだなと。やってよかったなと思いましね。

――ドット絵からイラストを起こされていたそうですが、どのように考えて描かれていたのでしょうか？

渡辺：「Ver.1」のときは、自由に描かせてもらいました。ですが「Ver.2」や「Ver.3」以降は、アイデアを出す段階は基本的に僕とウィズのスタッフ、ボルケーノ太田さんの3人で考えていました。それ以外にも、好きなスタッフが集まってアイデアを出し合い、最終的に僕がとりまとめて描くようにしていました。キャラクター数は増えていくと思っていたので、あまり「こう描きたい」とは言わないようにしていましたね。
ボルケーノ太田さんが絵を描ける方で意外なアイデアをいろいろ出してくれたので、それを僕なりにまとめたというところは多いと思います。あと、設定好きなスタッフがいたので、モチーフを徹底的に調べてきて、「ここだけは外しちゃいけない」というポイントを、微妙なところなんですが（笑）、教えてもらって描いたりもしましたね。

――例えばどのデジモンでしょうか？

渡辺：ネフェルティモンを描くときに、「神話モチーフの仮面を付ける」という話を聞いて、「これカッコいい？」と質



〈ネフェルティモン〉「デジモンアドベンチャー02」に初登場。テイルモンが「光のデジメンタル」によってアーマー進化した姿。

※1…トッド・マクファーレン原作のアメコミ。日本でもフィギュアを中心に、大ブームを引き起こした。※2…イギリス出身のアメコミアーティスト。骨太な作風が人気。※3…代表作に『ヘルボーイ』などがある、独特のデフォルメとコントラストが特徴のアメコミアーティスト。※4…1982年に公開された、ジム・ヘンソン、フランク・オズによるファンタジー映画

問したら、「いや、いいんです！この仮面の感じが！」と譲らなくて(笑)。「この仮面はどんな感じにすればいいの？」と聞いたら、「『聖闘士星矢』[※5]ので」って(笑)。
他にも『女神転生』シリーズ[※6]の絵がすごくスタイリッシュでカッコいいねと、話していました。神なのかモンスターなのかわからないけど、モチーフから、どうしてこうなったのか？というユニークさが絵の中にあって。当時流行っていたものやゲームなどを見ながら、刺激を受けていた部分もあります。
デジモンは、数多ある「神話」や「動物」などからデータをとって、その情報からモンスターになる、と考えるのがいいのかなと思ったんです。普通の神話通りに描いちゃうと、他のコンテンツと一緒になってしまう。そう考えて作っていたので、デジモンのデザインはバリエーションに富んでいったのだと思います。

イラストではなく「キャラクター」を描く

――初めて描かれたデジモンを教えてください
渡辺：ティラノモンとアグモンです。最初の発想である「恐竜」を連れて歩きたい、という考えの「ベース」になるようにこの2体を描きました。だからパッケージで採用されているんですよね。よく「どうしてティラノモンなのか」と聞かれるんですが、一番普通だから(笑)。メインでカッコいいデジモンを、パッケージには載せたくないですよね。
普通ラインのティラノモンがいて、良い育て方をするとグレイモン、逆だとヌメモンになっちゃうとか。キャラクターの崩し方は『たまごっち』でできていたので、デジモンだともっと極端にいじっていって、描いていきました。

――究極体を描く上で意識することはありますか？
渡辺：究極体でというのは、あまり意識していないかな。ですが、どうしても描き込みが多くなり、ゴチャッとしてしまいがちなんです。最近はよりその方向が強くなっているので、シンプルにいこうと、関係各所に言っています(笑)。キャラクターはシルエットでひと目で分かるもの、パッと見で何かがわかるものが良いと思うんですよ。子どもたちが見て真似して描けるもの。「イラスト」としてではなく、「キャラクター」として素晴らしいと呼べるものにしたいと思っています。例えばシンプルにベルトとかチャックが付いていれば、影のタッチを入れちゃえば、「デジモンだね」と思えるようにしたいんです。最近でも完全体とか成熟期のときは、もっとシンプルにシンプルにと言っています。
あとデジモンは基本「生き物」なので、体の一部がメカだったら、関節は見えないように服で隠しちゃうとか。関節までメカになっていると「ロボット」になってしまうので、そこは肉っぽくしています。


〈ハックモン(P089)〉

その考えでいうと、描き込んでいるハックモンのシリーズは逆になってしまいますけどね(笑)。できるだけ、描き込みたいと思っていたので。 僕の中ではモチーフは「シーボーズ」[※7]なんです。要するに「骨の竜」なんですよ。骸骨竜の戦士を描きたくて、シーボーズをイメージしながら、だんだん戦士化していくのが面白いなと思いました。シーボーズが大好きなんです(笑)。

――20周年記念デジモンを描かれていかがでしたか？
渡辺：実は、ズバモンはオメガモンを意識しているんです。オメガモンがデジモンを有名にしてくれたというか、コンテンツを爆発させてくれたところがあると思うので、節目である20周年にぴったりかなと。それにオメガリュウじゃないですが、オメガモンが竜騎士になっている姿が見たいと考えて、一連の進化系統を描いたんです。そこにテーマだった「武器デジモン」を合わせました。なので、成長期なのにすごく強そうに見えるようになったと思います。


〈ズバモン(P085)〉

※5…1985年から「週刊少年ジャンプ」で連載されていた、車田正美によるギリシア神話をモチーフにした漫画。※6…1987年にナムコから発売された、『デジタル・デビル物語 女神転生』からスタートしたゲームシリーズ。『デジタル・デビル物語 女神転生II』からは、イラストレーター金子一馬がキャラクターデザインを務める。※7…『ウルトラマン』第35話「怪獣墓場」に登場する、亡霊怪獣。



〈オメガモン(P129)〉

―― オメガモンのデザインは、やはり印象深いのでしょうか？

渡辺：アニメが始まってからの作業だったので、オメガモンも色々な人の意見を聞きながら描いたモンスターなんです。もともと、ウォーグレイモンとメタルガルルモンがくっつくぐらいのデザインで考えていたんですが、細田守監督※8の要望で、「太一とヤマトの想いが一つになったデジモンだから、２体の要素が欲しい」「もっとシンプルな感じに」「腕にくっつけちゃっていい」「ひょろひょろに！」と。僕もカッコいいかわからなくなっちゃって提出したんですが、「これこれ！」と採用されました。描いた当初は僕自身もピンと来ていなかったんですが、映画で動いているときはすげぇな、かっこいいなと思いましたね。

今後の「デジタルモンスター」

―― 『デジタルモンスター Ver.20th』が出ると聞いていかがでしたか？

渡辺：本当にありがたいことですよね。僕自身も、最近はインタビューを受けるようになりましたが、もともと知る人ぞ知るような裏方の人間ですので、続けてきた甲斐があったなって。イラストについても当時は切羽詰まっている中で描いていたので、今だったらこう描けるなとか、こんな表現があるなとか、発見もありますよね。アグモンだって今と昔じゃ描き方も違って、今はかわいく描いたほうがいいなとか思いますし。20年経って描くからこその面白みもでてきます。新しいキャラクターを作るのもいいけど、今までのデジモンをもう一度描いてあげて、自分なりに20年経ったキャラクターを見たいです。

―― 今後、デジモンをデザインするうえで、目標やイメージはありますか？

渡辺：今後20年「デジモン」を続けていくうえで、「キャラクター自体の汎用性」を増やしていけたらいいなと考えています。僕自身は先ほども言ったように、昔のキャラクターを描き直すことで、昔のものを新しく復活させる、過去のものを大事にしつつ、新しく作るものも自分なりに描いてみたい。ですが、それ以外に、違う人が描いたデジモンも出てきたほうが良いとも思っているんです。デジモンの多様化というんでしょうか、そうすれば新しいフェーズに入って面白いかなと。多くの若い人たちに参加してもらって、デジモンを盛り上げてほしいなと、最近よく思います。

PROFILE

渡辺けんじ

1966年生まれ、神奈川県出身。WOW FACTORY代表、キャラクターデザイナー。デジモンの他に「たまごっち」や「レジェンズ～甦る竜王伝説～」、「よいこっち」などを手がける。

※8…1999年上映『映画 デジモンアドベンチャー』、2000年上映『デジモンアドベンチャー ぼくらのウォーゲーム』の監督。

デジモンなんでも比較



サイズ比較

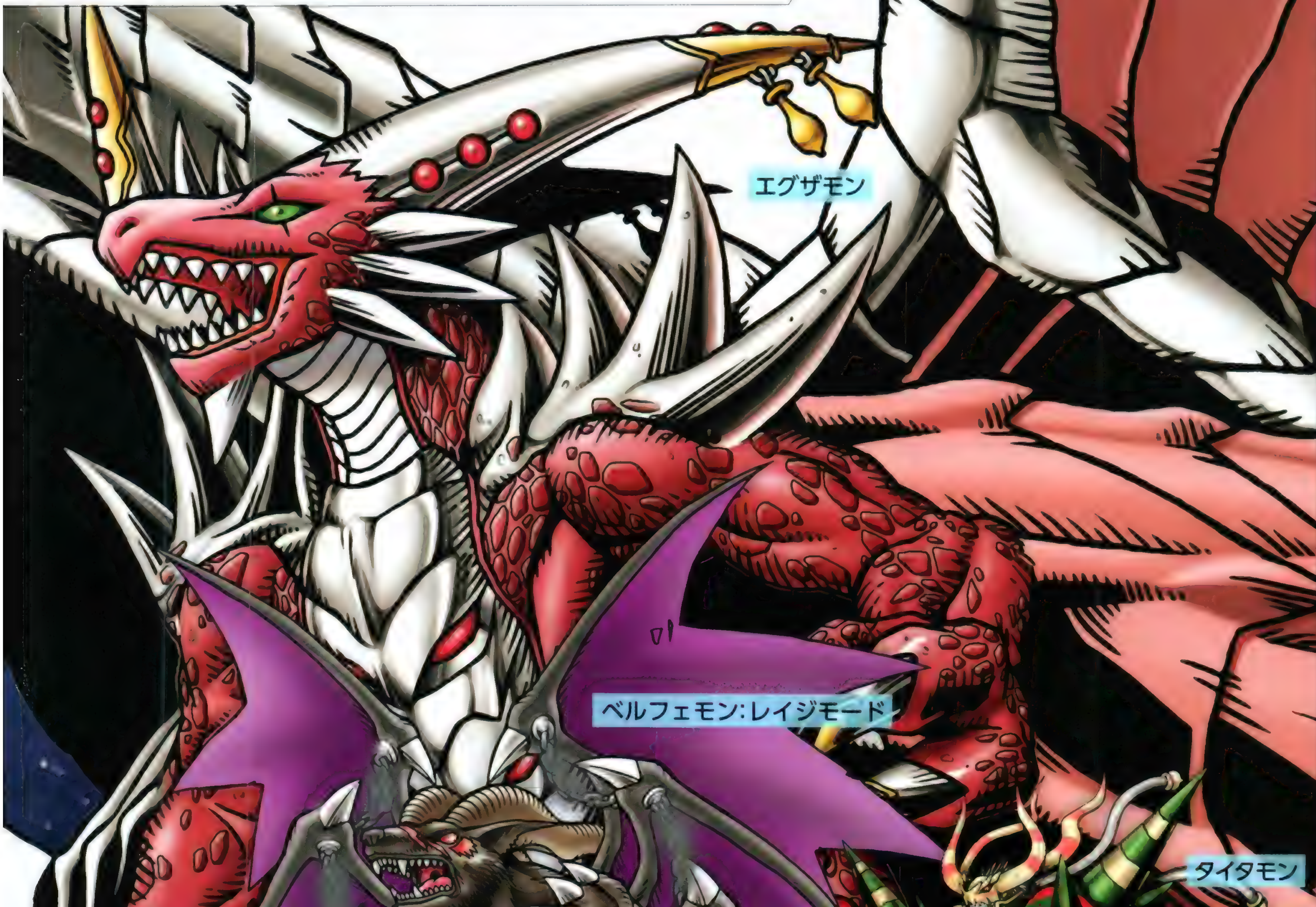
デジコアに内蔵されているデータ量や内容、体を表現しているテクスチャのサイズにより、デジモンの大きさは決定する。人気デジモンや周年記念デジモンを中心に、その一般的な大きさを比較してみる。

幼年期から成長期

デジタマから誕生したばかりの幼年期Ⅰや幼年期Ⅱ。比較的そのデータ量は均一的で、そのサイズ感に大きな変化はないようである。成長期のデジモンたちにも似たようなことは言えるが、小さな体には幼年期と比較にならないほどの「可能性」が秘められている。

デジタルワールドに数多く存在するデジモンたち。データとして存在する故に未だ不明点も多いが、その生態の一端を解析していく。

※デジタルワールドでの一例です。デジモンは「データ」のため、育成方法や環境により「サイズ」や「つよさ」は変動します。



結論

エグザモンはデジタル技術の進歩によってその描写が可能になったと言われるほど、膨大なデータで体が構成されている。グレイスノヴァモンは、銀河型デジモンと呼ばれるだけあり、そのサイズも未知の領域に達している。

究極体戦闘シミュレート!

弱肉強食の世界を生き抜き、強大な力を身に着けた「究極体」。
そんな究極体同士が戦闘を行った場合どうなるのか、検証する。

1st



ブリッツグレイモン

VS

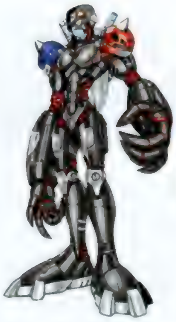
ハイアンドロモン



正確無比な攻撃で勝利!

同じサイボーグ型デジモン同士、火力・機動力ともに互角かと思われた。だが、ハイアンドロモンの攻撃はウィルス種であるブリッツグレイモンの弱点を的確に突き、追い込んで行った

2nd



ハイアンドロモン

VS

ブレイクドラモン



無常な破壊力で勝利!

ブレイクドラモンもウィルス種。ハイアンドロモンが有利かと思われた。だが、体が壊れてもその破壊の手を緩めることは一切せず、自壊直前でハイアンドロモンを撃破する

3rd



ブレイクドラモン

VS

ウォーグレイモン



ドラモンキラーで勝利!

圧倒的な破壊力が、小柄なウォーグレイモンを追い詰めていく。だが、一瞬でブレイクドラモンの体が真っ二つになる。機竜とは言え「ドラモンキラー」の前では為す術がなかったようだ

4th



ウォーグレイモン

VS

スレイプモン



絶対零度で勝利!

当初はスレイプモンの高速移動にも反応していたウォーグレイモン。だが、スレイプモンの起こしたブリザードにより動きが鈍り、ガイアフォースも虚しく、トドメを刺されてしまう

5th



スレイプモン

VS

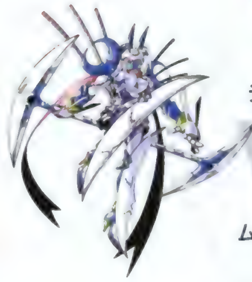
ディアナモン



眠らせて勝利!

スレイプモンが起こす極低温のブリザード。だがディアナモンはもろともせず、むしろその攻撃は苛烈さを増す。疲れを見せたが最後、月の光がスレイプモンを意図せぬ眠りへと導いた。

6th



ディアナモン

VS

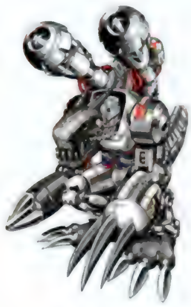
ムゲンドラモン



無限のパワーで勝利!

ムゲンドラモンの尽きることのないパワーが、ディアナモンを着実に追い込んでいく。耐え忍び『グッドナイト・ムーン』を放つも、全身機械の体は眠ることなく、暴虐の限りを尽くした。

7th



ムゲンドラモン

VS

ブリッツグレイモン



電撃を流し込み勝利!

サイボーグ対マシーンの戦いは、パワーとパワーのぶつかり合いだった。だが、ブリッツグレイモンの両腕から放たれた電撃は、ムゲンドラモン内の機械をショートさせ破壊へ追い込んだ。

INTRODUCTION

[illegible]

要注意な危険必殺技!!

各デジモン特有の必殺技。デジモンの数だけ技があり、その能力はさまざま。中でも絶対受けてはいけない危険な技を紹介する。





全てを消失させる>>>>>>>>>>>>>>>>

ダークスピリッツ

広げた両腕の中から黒い球体を発生させるエテモンの必殺技。この技に触れたデータは、跡形もなく消滅してしまう。完全体が放つ技の中で、特に危険な攻撃のひとつである。



命が止まる…>>>>>>>>>>>>>>>>>>>

ナイトメアシンドローム

タマゴの外骨格、その目が覗いている穴から放つ暗黒の球体。触れたデジモンの生命活動を停止してしまう。デジタマモンと出会ったら、できるだけ刺激しないようにしたいところだ。



生と死の分かれ道>>>>>>>>>>>>>>>>

デッド・オア・アライブ

聖と魔の光の玉で立体魔法陣を作り出し、その中に敵を封じ込める。この中に閉じ込められてしまうと、完全に消滅するか、大ダメージを受けるかのどちらかしかなく、どちらにしても危険である。



未知の来訪者>>>>>>>>>>>>>>>>>>

デジタライズ・オブ・ソウル

アルファモン自体が、時を戻す「アルファインフォース」を持つため非常に強力な存在。さらに、この技で異次元から伝説上のデジモンを召喚するため、実質2体を相手に戦わなければいけなくなる。



巻き起こる災害>>>>>>>>>>>>>>>>

ドラゴニックインパクト

大気圏外から急降下して、衝撃波を起こす攻撃方法。その体も大きいため、攻撃範囲はとてつもなく広範囲だ。エグザモンが飛び上がった瞬間からでも、とても逃げられるような技ではないだろう。



死してなお残る呪い>>

ファントムペイン

妖艶な姿で相手を惑わし、死を与える…。そんなリリスモンが放つ暗黒の吐息は、呪い。体を蝕み、構成するデータが末端から消失していく。世代が交代しデジタマとなっても、その痛みは残り続ける。



地獄への誘い>>>>>>

デスルアー

七大魔王の中でも随一の策略家であるバルバモン。「デスルアー」で、デジモンたちをダークエリアへと導き邪悪化させる。こうして邪悪デジモンたちを増やしていき、自分の手駒を増やしていくのだ。



世界の法則を超える>>>>>>>>>>>>>>>>

アウスジェネリクス

自身のデータを一時的に書き換え、物理限界を超えて活動するため、単体の戦闘能力も卓越している。さらにシスタモンたちや習得した「アト」「ルネ」「ポル」との連携し戦うスタイルは、負け知らず。

軽量・重量ランキング！

デジモンの重量である「G（ギガ）」。育成の状況により変動はあるが、一般的に重いものや軽いものを紹介する。

Light Weight 軽量級

3位 ピチモン



ネットの海で暮らすスライム型のデジモン。微生物のような存在であり、サイズもデジモンの中では最小サイズ。

2位 ポヨモン



半透明の体で、クラゲのようにネットの海を漂っている。体も小さいため、海に流されながら過ごしている。

1位 ユラモン



タンポポの種のようにふわふわと空中を漂う。吹いたら簡単に飛んでいってしまうほど、体は軽く小さくできている。

Heavy Weight 重量級



3位 ラストティラノモン

長き年月に渡りあらゆるデジモンのデータを捕食してきたその体は、膨大なデータが蓄積されている。



2位 エグザモン

近年になるまでデジタル機器で描写できなかったほど、膨大なデータ質量を持つ。噂では、ファイル島と同じほどらしい…

1位 グレイスノヴァモン



体内にビッグバン級のエネルギーを構築しているため、データ量は測りきれず、その重量すらもはやギャラクシークラス。

汚さランキング！

デジモンの育成にはウンチが付きもの…。だが、それを好むデジモンも存在する。そんな、ある意味「危険」なランキングを紹介。

5位 ナニモン



何故か酒に酔いながら、ウンチを投げてくるその姿は、まさに文明の敵と言ってもいいだろう。



3位 ヌメモン

まるでナメクジのようにジメジメした所で生活しているため、体が汚い。なお、「自分の」ウンチを投げてくる。

1位 レアモン

腐食している体から悪臭を放っている。体が崩壊しているが死ぬに死ねない、かわいそうなデジモン。しかし近づけないものは近づけない…

4位 ベジーモン



小型デジモンをおびき寄せるために、口からいい匂いを発するのに、ウンチを投げてくるため質が悪い。



2位 スカモン

体の形がもはや危険…。擬態するために、他のウンチにまぎれるため、近づいてきたら、さらに危険！



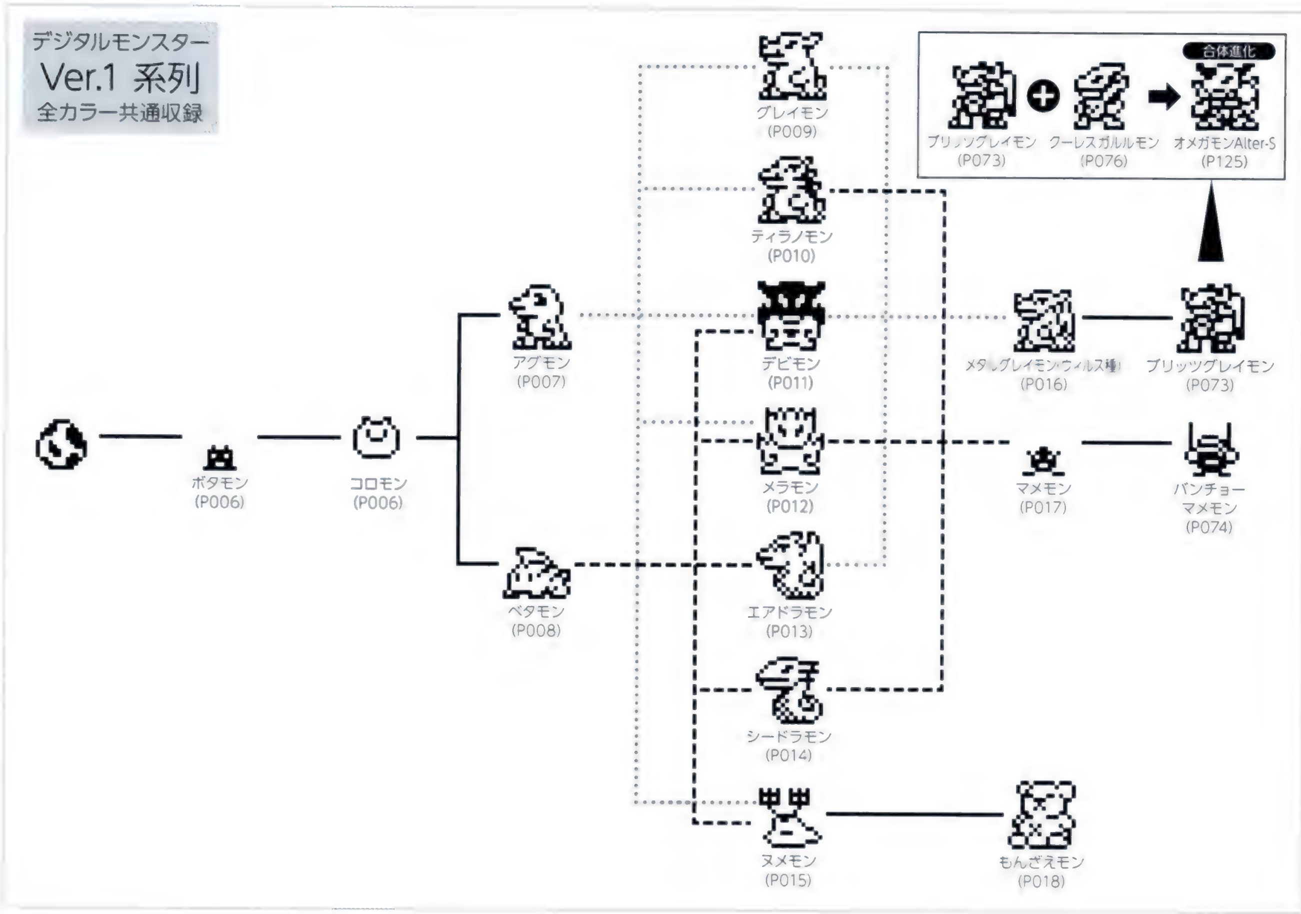
Chapter3>>>

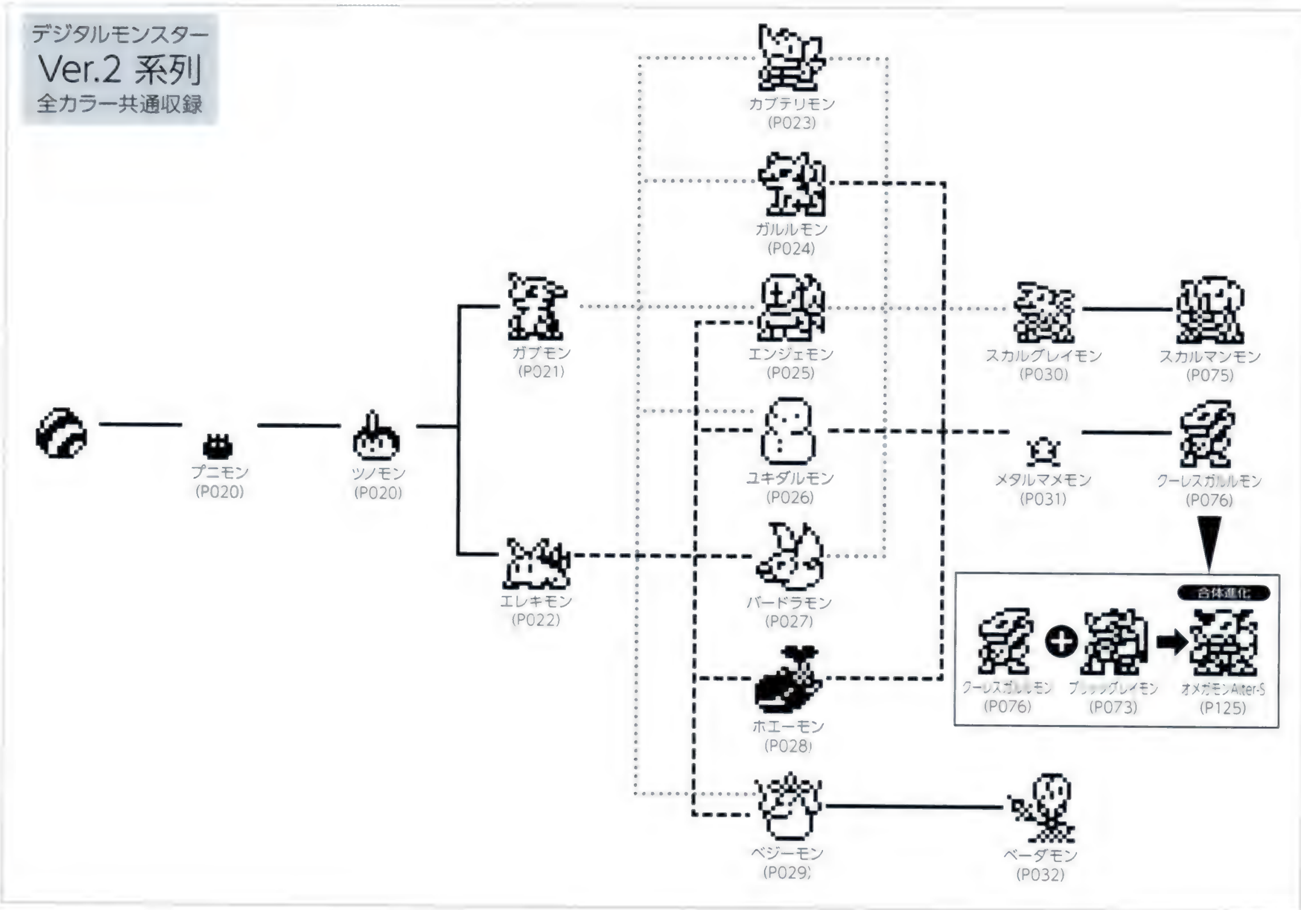
DIGIMON DATA
デジモンデータ

イラストとともに考案されている、デジモンたちの必殺技や生態。
デジモンを育てる上で欠かせない、それらのデータや進化系譜を一挙に掲載する。
キミだけのパートナーデジモンを見つけて欲しい。



「Ver.20th」デジモン進化系譜

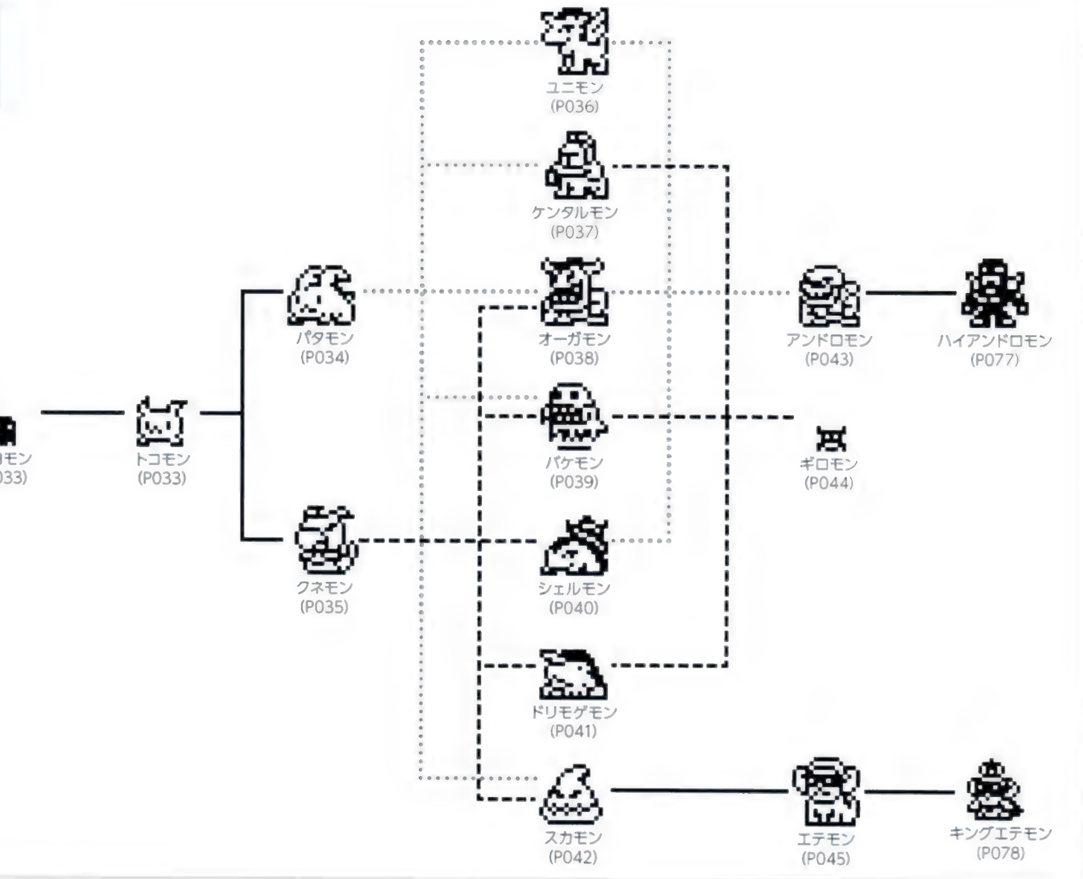




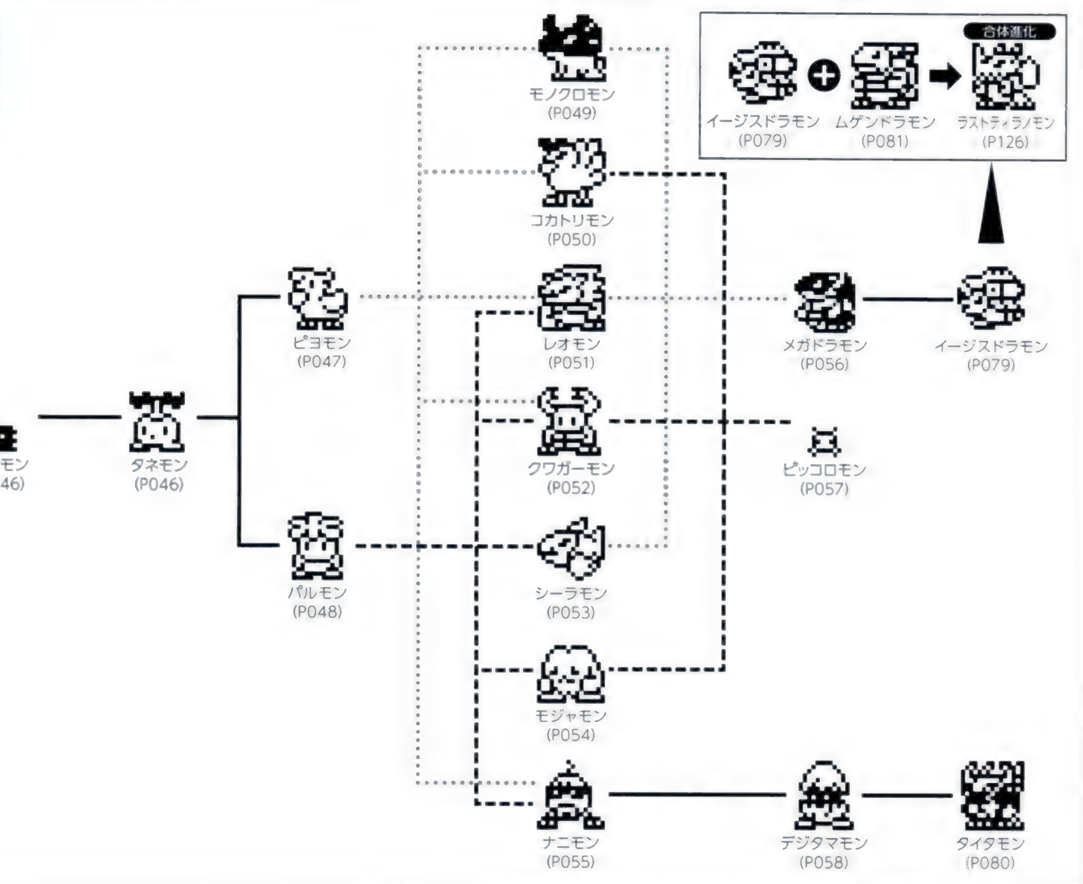
「デジタルモンスター Ver.20th」の進化ツリーを一挙掲載。気になるデジモンがいたら、名前の下のページをチェックしよう。

DIGITALMONSTER Ver.20th
EVOLUTION GENEALOGY

デジタルモンスター
Ver.3 系列
全カラー共通収録

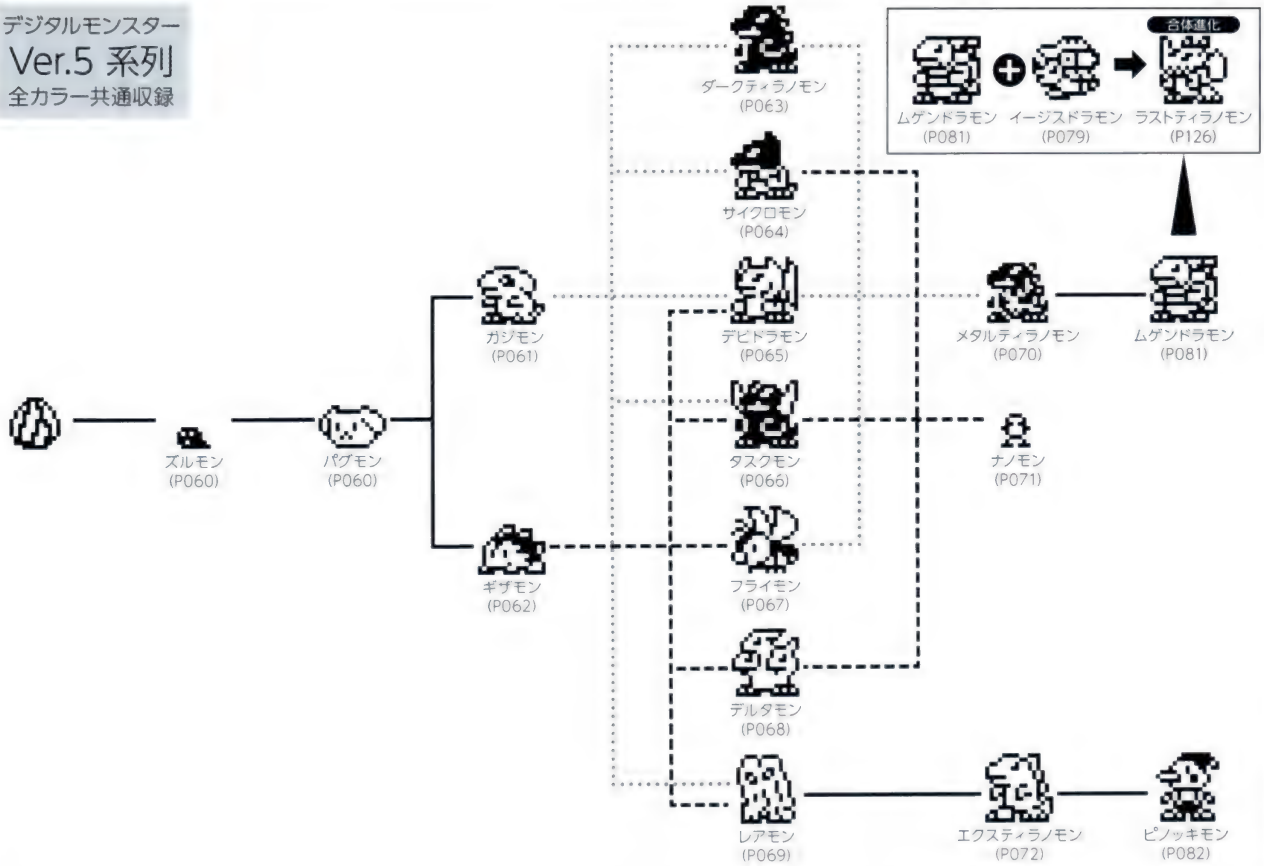


デジタルモンスター
Ver.4 系列
全カラー共通収録

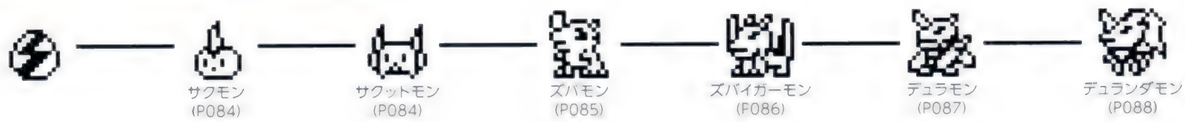


「Ver.20th」デジモン進化系譜

デジタルモンスター Ver.5 系列
全カラー共通収録



デジタルモンスター Ver.20th 特殊デジタマ1系列
全カラー共通収録

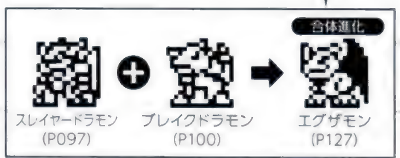


デジタルモンスター Ver.20th 特殊デジタマ2系列
全カラー共通収録



デジタルモンスター
Ver.20th 特殊デジタマ3系列
全カラー共通収録





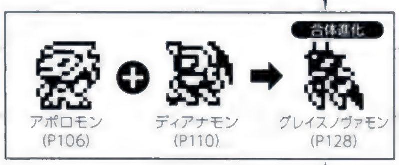
デジタルモンスター
Ver.20th 特殊デジタマ4系列
全カラー共通収録



※「アルファモンカラー」「ズバモンカラー」「オメガモンカラー」でのみ分岐。
合体しオメガモンへ進化します。

デジタルモンスター
Ver.20th 特殊デジタマ5系列
オメガモンカラー限定収録





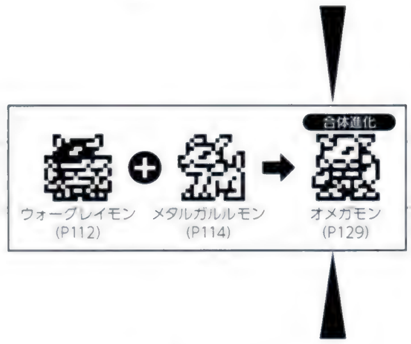
デジタルモンスター
Ver.20th 特殊デジタマ6系列
アルファモンカラー限定収録



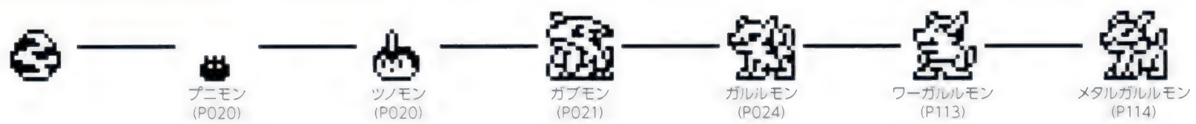
「Ver.20th」デジモン進化系譜

デジタルモンスター Ver.20th 特殊デジタマ7系列
オリジナルブラウン限定収録

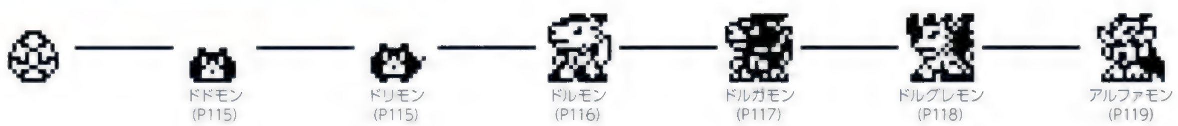




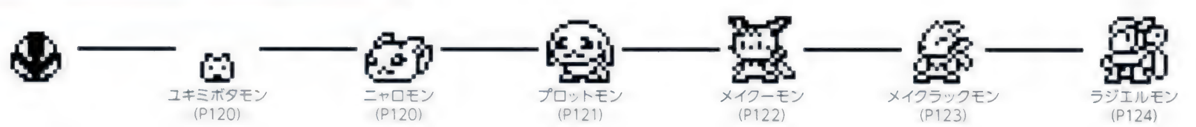
デジタルモンスター Ver.20th 特殊デジタマ8系列
オリジナルグレー限定収録



デジタルモンスター Ver.20th 特殊デジタマ9系列
全カラー共通収録



デジタルモンスター Ver.20th 特殊デジタマ10系列
ズバモンカラー限定収録

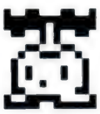
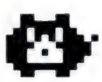
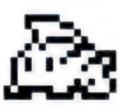


デジタルモンスタープロフィール

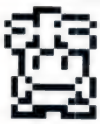
「Ver.20th」収録デジモンの公式設定を掲載。その生態や能力を確認してみよう。

	NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
幼年期I	ボタモン	生まれたばかりのデジタルモンスター。スライム状の体の表面には、黒い産毛がびっしり生えている。生まれたてなので戦うことはできないが、口から泡のようなものを出して敵を威嚇する。	酸の泡	スライム型	P006
幼年期I	プニモン	生まれたての新種デジモン。ゲル状の赤い体はプニプニしていて、頭部には3つの触手のようなものが生えている。戦うことができず、酸性の強い泡をだして敵を威嚇する。	酸の泡	スライム型	P020
幼年期I	ポヨモン	半透明の体で、「ネットの海」をクラゲの様に漂っている、デジモンの赤ちゃん。現在までに発見されたデジモンの中でも最も原始的な構造をしており、デジモンのルーツを研究している学者やマニアからは、デジモン発生の謎を解く鍵"ミッシングリンク"として注目を浴びている。外敵から身を守るために口からは強力な酸の泡を吐き出す。	酸の泡	スライム型	P033
幼年期I	ユラモン	体中を細長く柔らかい毛の様な物で覆われた種子型デジモン。デジタマから孵化すると、成長をするのに適した環境を求めて、タンポポの種の様にフワフワと空中を漂う。外敵の無い、環境の良い場所を見つけると地上に降り進化の準備を始める。攻撃力は殆ど無く、粘着性の泡を吐き出し相手の動きを鈍らせ、その隙に逃げ出す。	粘着性の泡	種子型	P046
幼年期I	ズルモン	超悪質のコンピュータウィルスとコンピュータを悪用する人間の負の念が融合して生まれたデジモンで、他のデジモンとは発生原因が異なる特殊なスライム型デジモン。軟体の体を器用に動かし、地を這うように移動する。体を構成する物質は毒性が強く、口からは強烈な毒を帯びた泡を吐き出すため、大型のデジモンでも近寄らない。	毒の泡	スライム型	P060
幼年期I	サクモン	頭部に1本の刃がでている小型デジモン。全身が金色で頭部の刃がとても光輝いている。性格はやんちゃで起きている間はずっと動き回るが、頭部の重さでバランスが悪く、刃を振り回しながら転がるので周囲のデジモンが逃げ惑う光景を見かけることがある。	サックリ	武器型	P084
幼年期I	プチモン	大きな角と小さな翼を持つスライム型デジモン。体が非常に軽く、常に空中に浮いた状態で生活しており、翼と口から吐く吐息で空中の姿勢を維持している。普段は陽気な性格だが、お腹に3枚の鱗を持っており、ここに触れられると極端に機嫌が悪くなってしまう。身に危険が迫ると「熱い吐息」を吐いて相手を驚かせると同時に、その吐息を推進力にしてすばやく逃げてしまうため捕まえるのは容易ではない。	熱い吐息	スライム型	P093
幼年期I	ピチモン	以前からデジタルワールド内の生命誕生の場として研究されてきた『ネットの海』で発見された微生物のようなデジモンで、数多くいるデジモンの中では最小のサイズ。感情のみで生きているようで、行動は非常にめまぐるしく変わる。好奇心が非常に旺盛で、外界とのコミュニケーションを強く希望しているが、まだ、その手段を得ていない。しかし、大きく真っ赤な目は相手の感情をゆさぶるほど魅力的で誰からも愛されているデジモンベビーである。シャボン玉の様なアワを口からはきだし、敵の目をくらまし逃げてしまう。	シャボンの泡	スライム型	P102
幼年期I	ドドモン	全身硬い毛「ミスリルヘアー」に包まれたスライム型デジモン。生まれてすぐに攻撃的な性格が現われ、まだキバが生えていないのに大きく口を開けて噛み付く素振りで敵を威嚇してしまう。この為、他のデジモンにやられてしまうことが多く存在が希少なデジモンである。敵が近づくと「小さな鉄粒」を口から吐いて攻撃する。	小さな鉄粒	スライム型	P115
幼年期I	ユキミボタモン	全身を白くてフワフワしている繊毛に覆われているベビーデジモン。ボタモンの一種と考えられており、白い体からユキミボタモンと名付けられているが、その詳細は不明である。熱さに弱く、寒い場所を好む習性があり、体を触るとヒンヤリしている。攻撃技は、冷たい冷気の息を吐き出す「ダイアモンドダスト」。ユキミボタモンが息を吐き出すと、空気中の水分が凍りついて、きらきら光りながら落ちていく。	ダイアモンドダスト	スライム型	P120
幼年期II	コロモン	表面を覆っていた産毛が抜け、体も一回り大きくなった小型デジモン。活発に動き回れるようになったが、まだ戦うことはできない。口から泡を出して敵を威嚇する。	泡	レッサー型	P006

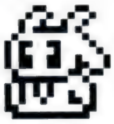
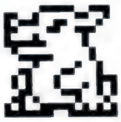
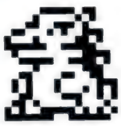
デジタルモンスタープロフィール

	NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
幼年期II	 ツノモン	プニモンの頭部の触手の１つが硬化した小型デジモン。プニモンから、より動物的進化をとげ、フサフサな体毛に覆われている。まだまだ遊びたい盛りで、いたずら好きな性格だが、闘争本能は目覚めていない。	酸の泡	レッサー型	P020
	 トコモン	体（頭？）の下に手足のようなものが生えている小型のデジモン。手足の生えた幼年期デジモンは非常に珍しく見た目にも大変可愛らしい。しかし、可愛いからといって迂闊に手を差し出すと、突然口を大きく開け、びっしりと生えた牙に噛み付かれるので気を付けなければならない。かといって、性格はとても無邪気なので悪意は無い。	噛み付き	レッサー型	P033
	 タネモン	頭部から植物の芽の様なものが発芽している球根型デジモン。最適な環境を求めて浮遊していたユラモンが地上に降り進化した。非常に臆病な性格で、外敵の存在を察知すると４本の足で穴を掘り、体の部分を地中に埋めてしまう。一旦地中に潜ってしまうと頭部から生えた物が植物の擬態をとり、外敵から身を守ることができる。ただし、草食性のデジモンには効果が無い。	粘着性の泡	球根型	P046
	 パグモン	頭部から生えた耳のようなもので低空を飛ぶことができる小型デジモン。この耳を器用に動かし手のように扱うことができ、「あっかんべー」や「おしりペンペン」などの相手を小バカにするような態度をとる。性格は結構イジワル。コロモンやツノモンなどを追い掛け回してはイジメている。口から『毒の泡』を吐いてイジワルをすることもある。	毒の泡	レッサー型	P060
	 サクットモン	サクモンが進化し刃が２本になった幼年期デジモン。刃が左右になり小さな足もついたことでバランスが安定するようになった。転がることは無くなり動きは活発になったが、天井や壁に刺さると身動きが取れなくなる。	サクサク	武器型	P084
	 ベビドモン	竜の面影を色濃くその体に宿した幼竜型デジモン。最近発見されたデジモンであるがデータ解析の結果、古代デジモン特有のプログラムコードを持っていることが判明し、失われた古代種デジモンに該当することが分かってきた。小さいながらに獰猛であり、ベビドモンの前で不用意な動きをしてしまうと体内で生成した高温のガス『ホットガス』を吹きかけられてしまう。『ホットガス』は、熱さ以外にも辛味成分を含有しているので、目に入った場合は速やかに水で洗い流すことをオススメする。	ホットガス	幼竜型	P093
	 プカモン	水棲恐竜の幼生を思わせる外観を持つが、その動きはまるでタツノオトシゴのように軽妙で、ひょうきんなデジモン。しかし、性格的にはピチモンだったころの人なつっこさは影を潜めてしまい、他者が接近すると素早く逃げてしまう。外皮はまだ深海の水圧と低温に耐えられず、深海への潜水可能時間も長くない。	空気の泡	レッサー型	P102
	 ドリモン	真っ直ぐであればとても速く走れるレッサー型デジモン。飼い慣らされることを嫌がるので野生のままのことが多く、近づくと無鉄砲に突進して体当たりしてくるので危険である。鋭く生えた耳は硬く、ツノの役割もしているので体当たりのダメージは多少あるが、スピードが出ると曲がれない。必殺技は敵に突進しながら口から鉄粒を吐き出す『メタルドロップ』。	メタルドロップ	レッサー型	P115
	 ニャロモン	猫のような特性を持つ小型デジモン。いつも気まぐれで、その振る舞いが「猫」のようなのところからニャロモンと付けられたらしい。とても好奇心旺盛で移り気な所もあるが、寂しがりやの一面もある。必殺技は尻尾を膨らませて、毛を針金のようにして敵を叩く『フォックステイル』。しかし、この攻撃でひるんだ敵は、いまだかつて見られたことが無い。	フォックステイル	レッサー型	P120
成長期	 アグモン	成長して二足歩行ができるようになった、小型の恐竜の様な姿をした爬虫類型デジモン。まだ成長途中なので力は弱いが、性格はかなり獰猛で恐いもの知らず。両手足には硬く鋭い爪が生えており、戦闘においても威力を発揮する。力ある偉大なデジモンへの進化を予測させる存在でもある。必殺技は口から火炎の息を吐き敵を攻撃する『ベビーフレイム』。	ベビーフレイム	爬虫類型 ワクチン	P007
	 ベタモン	四足歩行をする両生類型デジモン。性格は温厚で、おとなしいデジモンだが、ひとたびベタモンを怒らせると体から１００万ボルト以上の電流を発し敵を攻撃する『電撃ビリリン』を放つ。	電撃ビリリン	両生類型 ウィルス	P008

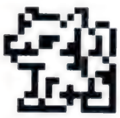
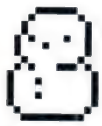
成長期

NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 ガブモン	毛皮を被っているが、れっきとした爬虫類型デジモン。とても臆病で恥ずかしがりやな性格でいつもガルルモンが残していったデータをかき集めて毛皮状にしてかぶっている。他のデジモンから恐れられているガルルモンの毛皮をかぶっているため、身を守るための保護の役目もしている。毛皮をかぶると性格が１８０度変わってしまう。必殺技は『プチファイアー』。	プチファイアー	爬虫類型 データ	P021
 エレキモン	ツノモンの哺乳類的要素を残して進化した哺乳類型デジモン。とても好奇心が旺盛でいたずら好きな性格はツノモンから引き継いでいる。また、エレキモンは９本の尻尾を持っており、戦闘時には、孔雀の羽のように尻尾をひろげ敵を威嚇する。必殺技は『スパークリングサンダー』。	スパークリングサンダー	哺乳類型 データ	P022
 パタモン	大きな耳が特徴的な哺乳類型デジモン。この大きな羽を使って空を飛ぶことができるが、時速１ｋｍのスピードしか出ないため、歩いたほうが断然に速いと言われている。しかし、必死になって飛んでいる姿が可愛いので人気は高い（本人は納得していないらしい）。とても素直な性格で教えたことは良く守る。またパタモンはホーリーリングを身に付けなくても、秘められた聖なる力を発揮することができる、古代種デジモンの遺伝子を受け継いでいるらしい。必殺技は空気を吸い込んで一気に空気弾を吐き出す『エアショット』と大きな両耳で敵を叩く『ハネビンタ』。	エアショット ハネビンタ	哺乳類型 データ	P034
 クネモン	全身にイナズマの模様が入った幼虫型デジモン。デジモンの中でも非常に特異な存在の虫型デジモンの子供で、その進化形態は依然不明だが、クネモンの発見でカブテリモン以外の昆虫型デジモンの存在がいずれ明らかになりそうだ。顔と思われる部分にあるイナズマの模様は目にあたる器官なのかは解明されていないが、感情によって形を変えるところから、恐らく目ではないかと言われている。性格は結構イジワル。必殺技は硬い嘴から吐き出される電気を帯びた糸『エレクトリックスレッド』。この糸に絡まると強烈な電撃で気絶してしまう。	エレクトリックスレッド	幼虫型 ウィルス	P035
 ピヨモン	翼の部分が腕の様に発達している雛鳥型デジモン。翼を器用に動かし物をつかんだりする事ができるが、そのために空を飛ぶ事は苦手。普段は地上で生活しているが、危険が迫ると空を飛んで逃げる。しかし飛行能力はパタモンなみで、パタモンをライバル視している。将来は大空を意のままに飛び回るバードラモンになるのが夢で、空を飛べないコカトリモンにはなりたくないらしい。好奇心旺盛な性格で、タネモンの頭の部分をついばむのが好き。必殺技は幻影の炎『マジカルファイアー』。	マジカルファイアー	雛鳥型 ワクチン	P047
 パルモン	頭にトロピカルな花を咲かせた植物型デジモン。タネモンから爬虫類的に進化したが、外見や特性上から植物型と分類される珍しいタイプ。昼間は花と葉の様な腕を広げ光合成をしている。普段は地中に根の様な足を埋め、養分を吸っているが、歩行することも可能。頭部の花は、楽しい時や嬉しい時は甘い香りを漂わせ、怒った時や危険を感じた時は大型デジモンも逃げ出すほどの臭い匂いを放出する。必殺技は強烈な毒性を帯びたツタを敵に絡ませる『ポイズンアイビー』。この攻撃を受けると体が麻痺してしまう。	ポイズンアイビー	植物型 データ	P048
 ガジモン	鋭くて大きな爪を生やしている哺乳類型デジモン。哺乳類型では珍しく２足歩行をするタイプで、恐らく前足を腕のように使用するうちに前足の爪が進化し、２足歩行をするようになったのだろう。小型のデジモンではあるが非常に気性が荒く、決して人間にはなつこうとしない。前足の爪は攻撃する際にも非常に有利だが、意外にも穴掘りに向いており、いつも落とし穴を掘っては、他のデジモンが穴に落ちるのを楽しんでいるイジワルな性格。必殺技はガス状の毒息を吐き出す『パラライズブレス』。	パラライズブレス	哺乳類型 ウィルス	P061
 ギザモン	手足に水を掻くためのヒレがついた水棲哺乳類型デジモン。地上での生活よりも水中での生活に適しており、ヒレと強靭な後ろ足で水中をすばやく泳ぎまわるが、地上での移動は苦手でカエルのように飛び跳ねながら動き回る。地上では非常に臆病な性格だが、水中では本来の獰猛な性格を発揮する。必殺技は鋭利な刃物のような背鰭で相手に襲い掛かる『スパイラルエッジ』。	スパイラルエッジ	水棲哺乳類型 ウィルス	P062
 ズバモン	自身を武器に変えることができる「Legend-Arms」の１体。Legend-Arms には「天使が持てば世界を救い、悪魔が持てば世界を滅ぼす」との言い伝えがあるという。ズバモンは"トゥエニスト"のデータを持ち、「俺がトゥエニストだ！」とよく言っているが意味は分かっていない。性格は曲がったことを嫌い常にキレを追求する。戦いもギャグもキレの良い日はご機嫌だ。頭から突進する技「トゥエンティダイブ」を持つがズバモンの力は武器の姿になった時に発揮される。	トゥエンティダイブ	武器型 ワクチン	P085
 ハックモン	クールホワイトに輝く小竜型デジモン。自由気ままで束縛を嫌い、冒険を好む生き方はガンクゥモンのDNAによるものであろう。ガンクゥモンの課す過酷な試練にも悠然と立ち向かっていく。血筋からの戦闘センスのよさと、お目付け役のシスタモン姉妹の鍛錬により、敵が完全体であろうとも互角以上の戦いをする。俊敏さを活かした接近戦を得意とし、強靭の爪で相手を切り裂く『フィフスラッシュ』、尻尾をドリルのように回転し突っ込む『ティーンラム』、また牽制にも使える『ベビーフレイム』を口から吐く。歴戦を潜りつつガンクゥモンのようなロイヤルナイツになる夢を目指す。	フィフスラッシュ ティーンラム ベビーフレイム	小竜型 データ	P089
 ドラコモン	すべてのドラモンタイプのデジモンの「祖」であるといわれている古の純血竜型デジモン。小柄な体躯からは想像できないほどの身体能力を持ち、力・俊敏性ともに成長期デジモンの中でもトップクラスである。性格は非常に獰猛であるが、ドラコモンが認めた相手のみ従順な一面を見せることがある。翼を持っているが、発育が不十分であるため飛ぶことはできない。また、大きな特徴として「光るモノ」を収集したがる性質を持っており、特に宝石や金属類には異常な執着があり、気に入ったものは食べて摂取してしまう。必殺技は、高温の吐息を相手に吹きかける『ベビーブレス』と全身を回転させシッポで打撃を与える『テイルスマッシュ』。ドラコモンの全身を覆う鱗のうち一枚は『逆鱗』といわれるウロコがある。ここに触れてしまうとドラコモンは怒りのあまり意識を失い、頭部の角を激しく発光させた後に口から放つビーム弾『ジ・シュルネン』を無差別に放ってしまう。	ベビーブレス テイルスマッシュ ジ・シュルネン	竜型 データ	P094

デジタルモンスタープロフィール

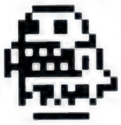
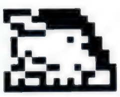
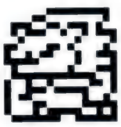
	NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
成長期	 コロナモン	太陽の観測データと融合して生まれた獣型デジモン。正義感が強く純真で無邪気な性格をしている。必殺技は、炎の力で熱くなった拳で連続パンチを放つ「コロナックル」と、全身の体力を消耗しつつも、炎の力を額に集中させて敵に放つ火炎弾「コロナフレイム」。また、体全体に炎をまとい、防御または体当たりする「プチプロミネンス」。	コロナックル コロナフレイム プチプロミネンス	獣型 ワクチン	P103
成長期	 ルナモン	月の観測データと融合して生まれた、うさぎのような姿をした哺乳類型デジモン。大きな耳でどんな遠くの音も聞き分ける事ができ、臆病だが、なつきやすく寂しがり屋。必殺技は、一見可愛らしいが、闇の力が込められた爪で引っかく「ルナクロー」と、力を額の触角に集中し、綺麗な水球を敵に放つ「ティアーシュート」。また、耳をくるくると回し、発生させたシャボンの渦で敵を巻き込む「ロップイヤーリップル」を持つ	ルナクロー ティアーシュート ロップイヤーリップル	哺乳類型 データ	P107
成長期	 ドルモン	額に旧式なインターフェースをもつ為、デジモンが発見される以前の実験用の"プロトタイプデジモン"ではないかと推測されている獣型デジモン。元々が戦闘種族であるデジモンの性格が特に強く表れており、闘争本能が高く、何にでもよく噛み付きよく吼えるが、一度噛み付いたものには馴れるらしい。実験の時、デジコア（電脳核）の最も深い部分に隠されたと言われるデータは、伝説の生き物"ドラゴン"の強い生命力のデータであり、強大なデジモンに成長する可能性をもつと言われている。必殺技は鉄球を口から放つ「メタルキャノン」。得意技：立ち止まって力を溜めてから放つ方が威力はあるが、突進しながらも鉄球を放つことが出来る「ダッシュメタル」。	ダッシュメタル メタルキャノン	獣型 データ	P116
成長期	 プロットモン	垂れ耳が特徴的な神聖系デジモンの子供。まだ幼いため、その神聖的な力を発揮することができず、自らの使命にも気づいていない。そのため性質的には不安定で、善にも悪にもなりえてしまう。しかし、神聖系デジモンとして生まれたプロットモンはいつの日か「ウィルスバスターズ」としての使命に目覚める時が来るだろう。また、プロットモンはデジモン研究者達により生み出された試験的なデジモンであり、人間の身近にいるペットを模倣して作られたため、現実の動物に近い姿をしている。必殺技の「パピーハウリング」は超高音の鳴き声で、敵を金縛りにしてしまう	パピーハウリング	哺乳類型 ワクチン	P121
成熟期	 グレイモン	頭部の皮膚が硬化して甲虫のような殻に覆われた恐竜型デジモン。鋭い爪、巨大な角を持った全身凶器のような体で、非常に攻撃的なデジモンである。しかし、知性が高く手なづけることが出来れば恐らくこれほど強いモンスターはいない。必殺技の「メガフレイム」は口から超高熱火炎を吐き出し全てを焼き払う。	メガフレイム	恐竜型 ワクチン	P009
成熟期	 ティラノモン	有史以前の世界に存在した古代の恐竜のようなデジモン。発達した２本の腕と巨大な尾で全ての物をなぎ倒す。知性もあり、おとなしい性格のため、とても手なづけやすい。そのため、初級テイマーからは重宝がられ、だいじに育てられることが多い。もっとも基本的なデジモンの代表的存在と言えるだろう。必殺技は身体の色と同じ、深紅の炎を吐き出す「ファイアーブレス」。	ファイアーブレス	恐竜型 データ	P010
成熟期	 デビモン	漆黒の衣に身を包んだ堕天使型デジモン。元々は光り輝くエンジェモン系デジモンだったが、デジタルワールドの空間の歪に存在するダークエリアに堕ちたことにより堕天使となった。その証である悪のマークが胸に大きく浮かんでいる。狡猾で凶悪な性格だが、非常に優れた知性の持ち主でもある。深紅に輝く両眼に見つめられたものはマインドコントロールされ、デビモンに支配されてしまうと言われている。必殺技の「デスクロウ」は伸縮自在の両腕を伸ばし、相手の体を貫き通す	デスクロウ	堕天使型 ウィルス	P011
成熟期	 メラモン	全身に紅蓮の炎を纏った火炎型デジモン。インターネットなどで不正な侵入を防ぐための防御壁「ファイアーウォール」から発生したデジモンで、その身を包む炎のように激しい気性を持っており、触れるもの全てを焼き尽くそうとする。このデジモンを手なづけることは非常に難しいため、手なづけたとしてもいつ牙を剥くかわからない。必殺技は両腕を燃え上がらせ、相手を殴りぬける「バーニングフィスト」。	バーニングフィスト	火炎型 データ	P012
成熟期	 エアドラモン	巨大な翼を生やした幻獣型デジモン。非常に貴重なモンスターで神に近い存在といわれている。空中からの攻撃を得意とし、その咆哮は嵐を呼び、翼を羽ばたかせることで巨大な竜巻を起こす。性格はかなり凶暴だが、高い知性を持っている。しかし、並みのテイマーでは使役することは、まず不可能であろう。必殺技は巨大な翼を羽ばたかせ、鋭利な真空刃を発生させる「スピニングニードル」。	スピニングニードル	幻獣型 ワクチン	P013
成熟期	 シードラモン	大蛇のような長い体を持った水棲型デジモン。この長い体を使い、襲い来る敵に体を巻きつけ、敵が息絶えるまで締め上げる。元来、知性というものを持ち合わせておらず、本能のおもむくままネットの海を泳ぎ回っている。必殺技は口から絶対零度の息をはきだし、水を瞬時に凍らせて敵に放つ「アイスアロー」。	アイスアロー	水棲型 データ	P014

成熟期

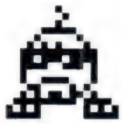
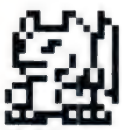
NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 ヌメモン	ナメクジのような体を持った軟体型デジモン。暗くてジメジメした環境を好み、攻撃力も知性も無い。育て方を間違えるとヌメモンになってしまうが、実は隠された秘密があるらしい・・・。外敵から身を守るため、自分のウンチを投げつける最低の攻撃をする。	ウンチ投げ	軟体型 ウィルス	P015
 カブテリモン	新たに発見されたデジモンのなかでも、かなり特異な昆虫型デジモン。どのような経緯で昆虫タイプに進化したのかは不明だが、蟻のようなパワーと甲虫が持つ完璧な防御能力を併せ持っている。性格は昆虫そのもので、生き抜くための本能しか持っていないため知性などは皆無。敵対関係であるウィルス属性のデジモンには容赦なく襲いかかる。頭部は金属化しており、鉄壁の防御を誇る。必殺技は「メガブラスター」。	メガブラスター	昆虫型 ワクチン	P023
 ガルルモン	青白銀色の毛皮に体を覆われた、狼のような姿をした獣型デジモン。その体毛は伝説のレアメタルと言われている「ミスリル」のように硬く、肩口から伸びているブレードは鋭い切れ味を持っており、触れるものを寸断してしまう。極寒の地で鍛えられた筋肉と激しい闘争本能を持ち、肉食獣のような敏捷性と標的を確実に仕留める正確さを持っており、他のデジモンからは恐れられている存在。しかし、知性が非常に高く、主人やリーダーと認めた者に対しては忠実に従う。必殺技は口から吐き出す高熱の青い炎「フォックスファイアー」。	フォックス ファイアー	獣型 ワクチン	P024
 エンジェモン	光り輝く6枚の翼と、神々しいまでの純白の衣を身に纏った天使デジモン。完全なる善の存在であり、幸福をもたらすデジモンと呼ばれているが、悪に対しては非常に冷徹で完全に相手が消滅するまで、攻撃を止めることはない。デジタルワールドが幾度となく危機に見舞われたとき、同種属のデジモンを率いて降臨したと伝えられており、ダークサイドに引き込まれたデビモンも、もともとは同種族であった。必殺技は黄金に輝く拳で相手を攻撃する「ヘブンズナックル」。	ヘブンズ ナックル	天使型 ワクチン	P025
 ユキダルモン	雪と氷の結晶にからだを覆われた氷雪デジモン。見た目の冷たさとは裏腹にとても温厚であたたかい性格の持ち主。ゆったりとした動きと、かわいらしい仕草で見ているものの心を和ませるデジモンで、ユキダルモン自体は戦うことを好んでいない。戦闘を好むデジモンの中でも、特にメラモンが大の苦手である。必殺技は大きな体から繰り出す「絶対零度パンチ」。	絶対零度パンチ	氷雪型 ワクチン	P026
 バードラモン	燃え盛る炎を纏った姿をした、巨鳥型デジモン。メラモンと同じく、インターネットの防御壁「ファイアーウォール」から発生したデジモンである。その巨大な翼を羽ばたかせ、大空を飛びまわる。決して好戦的な性格ではないが、襲い掛かる敵に対しては狂暴なまでに反撃を繰り出す。必殺技は翼を羽ばたかせ流星のように羽を飛ばす「メテオウィング」。	メテオウィング	巨鳥型 ワクチン	P027
 ホエーモン	「ネットの海（デジモンが誕生した、ネットワークの大海）」に棲む水棲型デジモン。ネットの海の深海部に生息しているため、めったに出会うことができない（目にあたる部分の器官は退化している）。獰猛な性格で、巨大な津波を起こして攻撃することもある。必殺技は頭部の後ろにある噴気孔から超高圧で吹き出される「ジェットアロー」。	ジェットアロー	水棲型 ワクチン	P028
 ベジーモン	長く伸びたツタと大きく開かれた口を持つ食虫植物型デジモン。口から吐き出される甘い香りにつられてやってくる小型デジモンを、触手のような長いツタの部分で引きずり込んでしまう凶暴凶悪なデジモンだが、まともな攻撃力を持ち合わせていないため、大型のデジモンには太刀打ちできない。ベジーモンが成長すると花を咲かせ実をつける。	ウンチ投げ	食虫植物型 ウィルス	P029
 ユニモン	伝説の聖獣、ユニコーンの角とペガサスの羽を持ち合わせた合成デジモン。背中に生えた大きな翼で、コンピュータネットワークの世界を瞬時に駆け回り、額から伸びた鋭い角で敵を突き刺す。野生（？）のユニモンは暴れ馬のごとく気性が荒いが、手なずけてしまえば手足のように扱うことができる。必殺技は大きな口から吐き出される気功弾「ホーリーショット」。	ホーリー ショット	幻獣型 ワクチン	P036
 ケンタルモン	上半身が人型、下半身が獣型の半獣半人のデジモン。体の内部から浮き出している硬質の物質で身を守り、右腕は武器と一体化している。さらに背中から突き出たダクトからは超高圧で気体を噴出し、一瞬だが音速に近いスピードで移動することができる。防御力、攻撃力、スピード全てにおいて優れている。プライドが非常に高く、命令されることや束縛されることを極端に嫌う。必殺技は右腕と一体化した『ハンティングキャノン』。この攻撃から逃れることは不可能に近い。しかし、この攻撃は多くのエネルギーを消費してしまうため極力戦闘は避けている。	ハンティング キャノン	獣人型 データ	P037

デジタルモンスタープロフィール

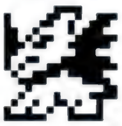
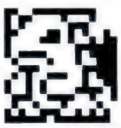
成熟期

NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 オーガモン	東洋の伝説に登場する「オニ」のような姿をしたデジモン。恐ろしく発達した筋肉から繰り出される攻撃はすさまじい破壊力を持つ。知性は高いが気性が荒く、「怒り」を原動力としている彼らは破壊の限りを尽くす。非常に好戦的で、自分より遙かに戦闘力の高い相手にも果敢に戦いを挑むところから"デジモンハンター"と呼ばれている。右腕に持つ骨棍棒はスカルグレイモンを倒した時の戦利品なのだ。必殺技は巨大な両腕から繰り出される『覇王拳』。	覇王拳	鬼人型 ウィルス	P038
 バケモン	頭からすっぽりと布を被っている幽霊デジモン。闇より生まれた邪悪な存在で、バケモンにとり憑かれたコンピュータは一瞬にしてシステムを破壊されるという。布の中身は一切謎に包まれており、本体の下にある影の部分はブラックホールになっているという説もある。戦闘力は高くないので直接攻撃は好まない。必殺技の『ヘルズハンド』は掴んだ敵を地獄に引きずり込んでしまう。また強力な呪いをかける『デスチャーム』は強靭な精神の持ち主で無いかぎり数秒で絶命するだろう。	ヘルズハンド デスチャーム	ゴースト型 ウィルス	P039
 シェルモン	「ネットの海」の浅い海底に棲むヤドカリの様なデジモン。貝殻の中に住み着いたカメの様な風体をしているが、実際は軟体動物のように柔らかい体をしている。成長すると体がどんどん大きくなるため、その度に住処を替え小さな岩山程の大きさになってしまう。また、体がすっぽり入るものなら、何にでも住み着いてしまう習性を持っている。知性は低く、好戦的な性格なのでシェルモンに出会ったら気をつけねばならない。必殺技は、液体を高圧で発射する『ハイドロプレッシャー』。	ハイドロプレッシャー	軟体型 データ	P040
 ドリモゲモン	鼻先についた巨大なドリルで地中を高速に移動するデジモン。常に地中深くに潜っているため出会えることは非常に希なデジモンだ。おとなしく、恥ずかしがりやな性格だが、結構いたずら好きで、ガルルモンが地中に隠している好物の骨を別の所に隠してしまうこともある。必殺技は巨大なドリルで敵を攻撃する『ドリルスピン』と、ガルルモンから盗んだ骨を投げる『クラッシャーボーン』。	ドリルスピン クラッシャーボーン	獣型 データ	P041
 スカモン	金色に輝くウ○チの形をしたイヤーなデジモン。コンピュータの画面上にあるゴミ箱に捨てられたデータのカスが集まって突然変異をおこして誕生した。暗所を好み、データのカスの集まりということで他のデジモンからは嫌がられている所がヌメモンに似ている。知性や攻撃力は皆無。相棒の"チューモン"はネズミのような小型デジモンで戦うことは出来ないが、悪知恵だけは誰にも負けず、いつもスカモンをそそのかしては、悪事を働いている。	ウンチ	突然変異型 ウィルス	P042
 モノクロモン	鼻先にサイの様なツノを生やした鎧竜型デジモン。その巨大なツノは成長すると体長の半分をしめるほどの大きさになる。ツノの部分と体の半分を覆う硬質な物質はダイアモンドと同質の硬度を持ち、このツノを持ってして貫けない物は無いと言われている。モノクロモンは攻守共に優れているデジモンといえる。草食性で性格は比較的おとなしいが、ひとたび怒らせるとその重戦車の様な体から恐ろしい反撃を繰り出してくる。必殺技は強力な火炎弾『ヴォルケーノストライク』。	ヴォルケーノストライク	鎧竜型 データ	P049
 コカトリモン	2本の脚が巨大に発達した巨鳥型デジモン。地上での生活を長く続けていたため、空を飛ぶ事ができず、地上に適した体に進化した。そのために体も巨大になり、脚力も凄まじく発達した。羽の部分は完全に退化しており、戦闘の際に尻尾と共に大きく広げて敵を威嚇する。性質は荒く獰猛だが、その巨体を維持するために、エネルギーの消費が激しいバトルは苦手。必殺技は『ペトラファイアー』。この攻撃を受けると炭化するのではなく、体が石化してしまう恐ろしい技。	ペトラファイアー	巨鳥型 データ	P050
 レオモン	百獣の王、気高き勇者とも呼ばれる獣人型デジモン。狂暴なデジモン達が多い中、強い意志と正義の心を持っており、数多くの凶悪なデジモンを倒してきた。また、破壊の限りを尽くす"デジモンハンター"のオーガモンとはライバルである。日々の鍛錬で鍛え上げられた強靭な肉体はあらゆる攻撃に耐え、必殺技の究極奥義『獣王拳』で敵の息の根を止めてしまう。「獅子王丸」という意志を持った妖刀を腰に携えている。	獣王拳	獣人型 ワクチン	P051
 クワガーモン	頭部に巨大な鋏を持った昆虫型デジモン。強靭なパワーと硬い甲殻に守られており、特に鋏の部分のパワーは超強力で一度敵を挟み込むと、相手が息絶えるまで締め上げる。ワクチン属性のカブテリモンとは完全に敵対関係にあり、お互いの間には「闘争」しか存在しない。必殺技は硬質の物質を簡単に切り裂くことができる『シザーアームズ』。	シザーアームズ	昆虫型 ウィルス	P052
 シーラモン	硬質な外皮と、巨大な鉤爪を持つ古代魚デジモン。悪質なハッカーにより破壊されたコンピュータネットワークを修復している際に、ネットの海で発見されたデジモンで、体の構造が非常に原始的で、手足のように発達したヒレを持っている。この事から、ネットの海で発生した原始デジモンは幾多の進化を経て陸生形態になり、さまざまな種族へとその数を増やしていったと考えられる。必殺技は巨大な鉤爪で敵に襲い掛かる『ヴァリアブルダーツ』。	ヴァリアブルダーツ	古代魚型 データ	P053

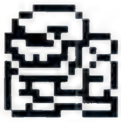
成熟期

NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 モジャモン	全身を白い体毛に覆われたもむくじゃらの珍獣型デジモン。雪山の奥地に生息しており、なかなか出会うことができない。モジャモンの発見例は数多く報告されていたが、その存在を決定付ける証拠が無く、長いあいだ空想上のデジモンとされていた。のんびりやの性格で決して好戦的では無い。しかし、自分の住処や縄張りは聖地と考えており、この聖地を荒らすものは決して許さない。必殺技は大気中の水分を瞬時に凍らせて造る巨大な氷柱『アイスクルロッド』と氷づけになっていた古代デジモンの骨を投げつける『骨骨ブーメラン』。	アイスクルロッド 骨骨ブーメラン	珍獣型 ワクチン	P054
 ナニモン	別次元のデジタルワールドから侵入してきた正体不明のデジモン。別次元では通称"ＯＹＡＪＩ"と呼ばれ、デジタルペットとして飼われていた。酒好きで横暴な性格だが、こちらのデジタルワールドへ侵入（どのような経緯で侵入したかは不明）してからは、アクティブな生物へと進化しナニモンになった。デジタルワールドの弱肉強食の世界に触発され、戦いの中に身を投じたが、その実力はまったくの未知数。しかし、数々の戦いをくぐり抜けたナニモンは、究極の形態へと進化すると言われている。	ウンチ投げ	インベイド型 ウィルス	P055
 ダークティラノモン	悪質なコンピュータウィルスに体を侵食された恐竜型デジモン。もともとはティラノモン種のデジモンだったが、悪質のコンピュータウィルスに感染し、肉体を構成するデータがバグをおこし狂暴なデジモンへと変貌してしまった。体は黒く変色し、腕もティラノモンよりも強靭に発達し攻撃力も増している。目に映るものは全て敵とみなし攻撃を仕掛け、完全に狂暴化してしまった。必殺技の『ファイアーブラスト』は超強力な火炎放射で、辺り一面を炎の海に変えてしまう。	ファイアーブラスト	恐竜型 ウィルス	P063
 サイクロモン	異常に発達した右腕を持つ単眼の竜人型デジモン。元々は屈強な竜戦士だったが、右目を戦士「レオモン」に潰され復讐の鬼となった。レオモンを倒すために右腕を強化し巨大化させ、倒す機会を狙っている。戦士としての誇りを無くし復讐のための殺戮しか残っていない狂戦士となってしまった。必殺技はあらゆる物を溶解してしまう超高熱の『ハイパーヒート』。	ハイパーヒート	竜人型 ウィルス	P064
 デビドラモン	「複眼の悪魔」と呼ばれ恐れられている邪竜デジモン。闇の使者デビモンにダークエリアより召喚された魔獣で、これほど邪悪なデジモンは他にはいない。ドラモン系のデジモンだが手足が異常に発達しており、長く伸びた両腕で相手を切り裂き、強靭な両足と翼で闇を飛び回る。性格は邪悪そのもので慈悲の心は持ち合わせていない。深紅に燃え上がる四眼でにらまれると相手は身動きを取れなくなり、無抵抗のまま体を切り刻まれる。また、尻尾の先は開くと鉤爪状になっており相手を串刺しにすることができる。コンピュータネットワークを私利私欲のために悪用するハッカー達の邪悪な感情がこのデジモンを生んだのだろう。必殺技は巨大な爪で相手を切り刻み、血祭りにあげる『クリムゾンネイル』。	クリムゾンネイル	邪竜型 ウィルス	P065
 タスクモン	双肩から巨大なツノを生やした超重量級の恐竜型デジモン。猪突猛進型の性格で、目の前に如何なる障害物があろうと全てを破壊し突き進むところから「パンツァーデジモン」の異名を持つ。突進系の体当たり技を得意とし、この攻撃の前に撃沈していったデジモンは数知れない。両腕の星のマークは今までに倒したデジモンの数(星１個で１００匹)を表している。また、双肩のツノは折れることがあってもサメの歯のように、折れたツノが抜け後ろから新しいツノが前に出てくるため、タスクモンのツノを破壊することは無駄なのだ。必殺技は超弩級のパンチ『パンツァーナックル』。	パンツァーナックル	恐竜型 ウィルス	P066
 フライモン	凶々しい巨大な羽を持つ昆虫型デジモン。その巨大な羽で超高速で飛び回ることができ、飛行中にブーンという巨大なハウリングノイズを発生させ、聞くものの聴覚をマヒさせてしまう。体は硬い外殻に守られており、大きな鉤爪で敵を挟み込み尻尾の超強力な毒針で死に至らしめる。昆虫型デジモンの進化過程は未だ不明だが、顔の形から推測するとクネモン種から進化したと考えられる。必殺技は尻尾の毒針を飛ばす『デッドリースティング』で、この毒針を刺されたデジモンは全身がマヒし、体が紫色に変色していき絶命するという。ちなみに、この毒針は何度でも生え変わるという厄介なもの。	デッドリースティング	昆虫型 ウィルス	P067
 デルタモン	３体のデジモンが融合した合成型デジモン。それぞれが別々のデジモンとして存在していたが、強力な電磁波の嵐を受けたコンピュータの暴走により、バグが生じ融合してしまった。３つの頭、２本の尻尾をもつこのデジモンは、体の特徴を生かした３段攻撃を得意とし、１度に３体のデジモンとの戦いも可能だといわれている。しかし、それぞれが凶悪なデジモンだったため、破壊という統一の意識はあるが協調性がなく普段は仲が悪い。必殺技は３つの口から出るエネルギーを合わせて発射する『トリプレックスフォース』と左腕のデジモンが繰り出す『スカルファング』。	トリプレックスフォース スカルファング	合成型 ウィルス	P068
 レアモン	全身の筋肉が腐り落ちたアンデッドデジモン。体を機械化することで生き長らえようとしたが体が安定せず、体を構成するデータが崩壊し始めている。しかし、機械による生命を与えられているので、死ぬことはなく醜い姿のまま生き長らえている。体が崩壊しているため攻撃力や知力はなく、本能のまま行動している。全身からは悪臭を放ち、幼年期のデジモンなどは逃げ出すほどだが、成熟期まで成長したデジモンの敵ではない。	ヘドロ	アンデッド型 ウィルス	P069
 ズバイガーモン	「トゥエニストの俺は立ち止まらない！どんどん走り続けるぜ！」と心に刻んだズバモンが、駆け抜けるスタイルに進化した姿。平地も悪路も前へ、這ってでも前へ、立ち止まらずに突き進むことがズバイガーモンのポリシーだ。必殺技は、「トゥエニストォォォ!!」と叫びながら懐に突っこむ『Road T(w)o Decade』、体全体をくるっと回して尻尾の刃で敵を斬る『ヴァンシオン』を持つ。さらに自慢の剣に姿を変えれば、100％の力でどんな敵でも叩き斬る。	Road T(w)o Decade ヴァンシオン	武器型 ワクチン	P086

デジタルモンスタープロフィール

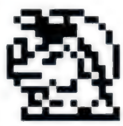
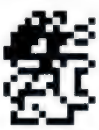
	NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
成熟期	 バオハックモン	ハックモンが厳しい鍛錬を重ね、類いまれなる戦闘センスに磨きがかかり心技体ともに成長を遂げた姿。高みを目指して鍛錬を続け、強敵とのバトルを通じて培った戦闘経験も蓄積し、戦うほどに進化する戦闘巧者である。成長とともにロイヤルナイツへの志も高まり、自分が成すべき事は誰に言われて決めるのではなく、自分で見て考え決意することを信条としている。 必殺技は全てが強化され、爪で切り裂く『フィフクロス』、尻尾の刃を軸に回転させ突貫する『ティーンブレイド』、迎撃にも使用できる『バーンフレイム』と威力は格段に増した。さらに両足の斬れ味鋭い刃を生かした『ドラグレスパイカー』で敵を両断する。	フィフクロス ティーンブレイド バーンフレイム ドラグレスパイカー	恐竜型 データ	P090
	 コアドラモン(青)	「ドラモン」の名を冠するデジモンにはデジコアに必ず竜因子のデータを有しており、その竜因子データの割合が高ければ高いほど体の形状が竜型になっていくが、コアドラモンの竜因子データ割合は100%となっており、まさしく純血の竜型デジモンである。体表が青いコアドラモンは、標高の非常に高い山岳地域だけで採掘される「ブルーディアマンテ」と呼ばれる希少な宝石を多量に摂取したドラコモンが進化した姿といわれており、険しい山々で生き延びるための発達した翼で高速な飛行を行うことが出来る。必殺技は、青色に輝く灼熱のブレスを放つ『ブルーフレアブレス』と強靭な尻尾を使って相手に痛恨の打撃を与える『ストライクボマー』。『ブルーフレアブレス』はデジモンの体表を覆うテクスチャーデータを分解する効果があり、このブレスを受けたデジモンはむき出しとなったデジコアへの攻撃を許すことになるだろう。ドラコモン同様に「逆鱗」といわれるウロコを持っており、ここに触れてしまうと怒りのあまり意識を失い、頭部の角を激しく発光させた後に口から放つ拡散レーザービーム『ジ・シュルネン・Ⅱ』を無差別に放ってしまう。	ブルーフレアブレス ストライクボマー ジ・シュルネン・Ⅱ	竜型 ワクチン	P095
	 コアドラモン(緑)	「ドラモン」の名を冠するデジモンにはデジコアに必ず竜因子のデータを有しており、その竜因子データの割合が高ければ高いほど体の形状が竜型になっていくが、コアドラモンの竜因子データ割合は100%となっており、まさしく純血の竜型デジモンである。体表が緑のコアドラモンは、樹齢100年を超えた木々が茂る森林地帯で採掘される「グリーンマカライト」と呼ばれる希少な宝石を多量に摂取したドラコモンが進化した姿といわれている。このタイプのコアドラモンは飛翔することは得意としていないが脚力が非常に発達しており、その体躯からは想像できないほどの速度で走ることが可能である。必殺技は、緑色に輝く灼熱のブレスを放つ『グリーンフレアブレス』と強靭な尻尾を使って相手に痛恨の打撃を与える『ストライクボマー』。『グリーンフレアブレス』は浸透性が非常に高く、体表のテクスチャーデータをくぐりぬけ、直接デジコアへダメージを与えてしまう効果がある。ドラコモン同様に「逆鱗」といわれるウロコを持っており、ここに触れてしまうと怒りのあまり意識を失い、頭部の角を激しく発光させた後に口から放つ拡散レーザービーム『ジ・シュルネン・Ⅱ』を無差別に放ってしまう。	グリーンフレアブレス ストライクボマー ジ・シュルネン・Ⅱ	竜型 ウィルス	P098
	 ファイラモン	"空を翔る獅子"と異名をもつ獣型デジモン。デジタルワールドのとある遺跡を守護しており、面倒見の良いリーダー的な存在でもある。必殺技は、全身に炎をまとい、上空より急降下突撃をする『フレイムダイブ』と、炎をまとった強靭な前足で敵を引き裂く『ファイラクロー』。また、額に全身の力を集中させた火炎爆弾『ファイラボム』を放つ。	フレイムダイブ ファイラクロー ファイラボム	獣型 ワクチン	P104
	 レキスモン	驚異的なジャンプ力を身に付け、素早い動きで敵を翻弄する獣人型デジモン。月の満ち欠けのように、つかみどころのない性格をしてるが、その佇まいはどこか神秘的である。必殺技は、両手の"ムーングローブ"から発生させた催眠効果のある水の泡を投げつけ、敵を眠らせる『ムーンナイトボム』と、背中の突起から美しい氷の矢を引き抜いて放つ『ティアーアロー』。また、空高く跳躍し、急降下キックを繰り出す『ムーンナイトキック』も強力である。	ムーンナイトボム ティアーアロー ムーンナイトキック	獣人型 データ	P108
	 ドルガモン	獣と竜"ドラゴン"の資質を持ち、多くのデジモンがその影を見ただけで逃げ出すほどの重量級にして獰猛な獣竜型デジモン。戦いとなると野性の獣の如くその獰猛性を発揮するが、竜の知性を併せ持ち、普段は非常におとなしい。額に旧式なインターフェースをもつ為"プロトタイプデジモン"の進化系ではないかと推測されている。必殺技は大型の鉄球を口から放ち、敵を打ち砕く『パワーメタル』。得意技は立ち止まって力を溜めてから放つ方が威力はあるが、突進しながらも鉄球を放つことが出来る『キャノンボール』。	キャノンボール パワーメタル	獣竜型 データ	P117
	 メイクーモン	大きな耳と尻尾が特徴的な成熟期デジモン。ふわふわの毛並みと愛らしい姿からは想像ができないが、実は手の中に非常に鋭い爪を隠し持っている。首から伸びる2本の触手は、恥ずかしがり屋のメイクーモンの顔を隠す以外にも、寒いときにはマフラーとして使える優れものだ。 必殺技は、鋭い爪で相手をひっかく「シャットクロー」と、口からデータを破壊する毛玉を吐き出す「トリコベゾアール」。	シャットクロー トリコベゾアール エクススクラッチ	不明	P122
完全体	 メタルグレイモン(ウィルス種)	体の半分以上が機械化されてしまったサイボーグ型の最強デジモン。数々の戦いをくぐり抜け、その体を機械化することによって生き長らえている。メタルグレイモンに進化するためには、襲い来る強敵を倒し勝ち抜かなければならない。また、メタルグレイモンの攻撃力は核弾頭1発分に匹敵するといわれている。胸の部分にあるハッチからミサイルを発射する。	ギガデストロイヤー	サイボーグ型 ウィルス	P016
	 マメモン	過酷な環境の元で進化した突然変異型デジモン。見た目の可愛さとは裏腹に恐るべき破壊力を秘めている。たった1種のデジモンを除いて、恐らく最強の部類に入るだろう。小さな体についている巨大な手は、それ自体が強力な爆弾になっていて取り外しが可能。愛称は"スマイリーボマー"。	スマイリーボム	突然変異型 データ	P017

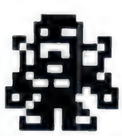
完全体

NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 もんざえモン	すべてが謎に包まれているデジモン。見た感じは、そのまま熊のぬいぐるみで、背中の部分にチャックが付いているところから、中に何者かが入っているという噂。この可愛らしい（目が恐い）体から溢れる愛で敵を包み込んで幸せな気持ちにしてくれる。必殺技はハートを飛ばす"ラブリーアタック"。	ラブリーアタック	パペット型 ワクチン	P018
 スカルグレイモン	全身が骨だけになってしまったスケルトンデジモン。戦う事だけに執着してきたデジモンが、肉体が滅んだにも関わらず闘争本能だけで生き続けた結果、スカルグレイモンになってしまった。闘争本能しか持ち合わせていないスカルグレイモンには知性のかけらも無く、他のデジモンにとってはその存在は脅威となっている。必殺技は脊髄から発射される有機体系ミサイル『グラウンド・ゼロ』。近年の研究では、新たに追尾機能も加わり、威力・範囲も格段にグレードアップした『オブリビオンバード』として進化を遂げたとされている。	グラウンド・ゼロ オブリビオンバード	アンデッド型 ウィルス	P030
 メタルマメモン	"スマイリーボマー"の異名を持つマメモンが更に強力に進化したサイボーグ型デジモン。相変わらず見た目の可愛さにだまされると痛い目を見る。体の９割は機械化されており、左腕に装備されたサイコブラスターから発射される必殺技『エネルギーボム』は絶大な破壊力を持ち、確実に敵をしとめることができる。	エネルギーボム	サイボーグ型 データ	P031
 ベーダモン	遠い宇宙の果てからやって来たような姿の宇宙人型デジモン。しかし、植物の実から生まれたという噂がある。巨大に発達した頭部と、タコのような下半身からは想像できないが、恐るべき攻撃力を身に付けている。手に持っている光線銃から発射されるアブダクション光線も脅威だが、必殺技『悪魔のなげキッス』は敵をフヌケにしてしまう恐ろしい技だ。	悪魔のなげキッス	宇宙人型 ウィルス	P032
 アンドロモン	人型タイプのサイボーグデジモン。完全体になりきれていないデジモンなど一撃で倒す戦闘力を持っている。アンドロモンはサイボーグデジモンの試作型として開発され、機械ベースのアンドロモンと肉体ベースのサイボーグ「ボルトモン」は同時期に製造された。その技術はメタルグレイモンやメガドラモンに流用されている。試作型のデジモンのため意志や感情は持っておらず、プログラムされた行動に忠実である。必殺技はアーム部分から発射されるエネルギー状の刃物『スパイラルソード』。	ガトリングミサイル スパイラルソード	サイボーグ型 ワクチン	P043
 ギロモン	ふわふわと空中に浮きながら、コンピュータネットワーク内をパトロールしているデジモン。別名"ネットキーパー"とも呼ばれ、違法にネットワークに侵入しようとするデジモンを撃退する。敵と判断すると、持てる全ての攻撃で敵を撃退し、窮地に追い込まれると自ら自爆して侵入者を消滅させてしまうと言われている恐ろしいデジモンなのだ。必殺技は超強力な手投げ爆弾「デッドリーボム」。	デッドリーボム	機雷型 ワクチン	P044
 エテモン	突如としてデジタルワールドに出現した正体不明のデジモン。"キング・オブ・デジモン"を自称し、その戦闘力は想像を絶する。あの、謎のデジモン「もんざえモン」を陰で操っていると噂される。あらゆる攻撃に耐える強化サルスーツに身を包んで、果てることのない戦いのため今日も全世界を飛び回っている。必殺技は敵のハートを切なくさせ、戦意を消失させる『ラブ・セレナーデ』と、触れるものを全て消滅させる黒い球体『ダークスピリッツ』。	ラブ・セレナーデ ダークスピリッツ	パペット型 ウィルス	P045
 メガドラモン	完全体の中の竜型サイボーグデジモンの中で最強最悪のパワーを誇るといわれている暗黒竜デジモン。何者かによって人為的に改造されたデジモンで、全てを破壊するためのプログラムが施されている。まさにその存在はコンピュータウィルスそのものであるといえる。強力なセキュリティーで守られているコンピュータネットワークへ簡単に侵入でき、ホストコンピュータの破壊、改造をいとも簡単に行ってしまう。必殺技は両腕から有機体系ミサイルを無数に発射する『ジェノサイドアタック』と、あらゆる物質を切り裂く事ができる『アルティメットスライサー』。	ジェノサイドアタック アルティメットスライサー	サイボーグ型 ウィルス	P056
 ピッコロモン	魔法を操る妖精デジモン。別次元の高度なプログラム言語を唱え、魔法の様な奇蹟を起こす事ができる。この不思議なデジモンはあらゆる場所、時間、空間に出現することができ、体は小さいが、その特殊な能力で敵の能力を封じ込め、強力な一撃で相手を粉砕する。いたずらが大好きな性格で、いつも手に持っている愛用の槍「フェアリーテイル」でコンピュータを暴走させて楽しんでいる（本人に悪気は無い）。必殺技はコンピュータウィルスを凝縮させた超強力な爆弾『ビットボム』。見かけによらず、恐ろしい攻撃をする。	ビットボム	妖精型 データ	P057
 デジタマモン	すべてのデジモンの始まりであり、終わりである"デジタマ"の姿をした究極のデジモン。進化の頂点にいるこのデジタマモンは通常のデジモンからは進化することは無く、別次元のデータと融合しないと決して進化することは無いと言われている。タマゴのような形をした外骨格に覆われており、この外骨格の前には全ての攻撃が無意味と化す。必殺技は敵の精神を破壊してしまう『エニグマ』と暗黒の球体『ナイトメアシンドローム』これらの攻撃を受けると、すべてのデジモンは生命活動を停止してしまう。	エニグマ ナイトメアシンドローム	パーフェクト型 データ	P058
 メタルティラノモン	強力なパワーを身につけるため体を改造したサイボーグデジモン。対空用に改造された「メガドラモン」につづきメタルティラノモンは対地用迎撃デジモンとして改造された。強化されたボディーはあらゆる攻撃を跳ね返し、強靭な顎でどんなに硬い装甲でも砕いてしまう凄まじい攻撃力をもつ。必殺技は右腕から発射されるミサイル『ギガデストロイヤーⅡ』と左腕から発射されるエネルギー弾「ヌークリアレーザー」。	ギガデストロイヤーⅡ ヌークリアレーザー	サイボーグ型 ウィルス	P070

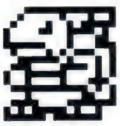
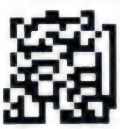
デジタルモンスタープロフィール

完全体

NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 ナノモン	超小型の治療用マシーンデジモン。もともとはクラッシュしたコンピュータを修復するためのワクチン的なデジモンだったが、強力なウィルス型デジモンに攻撃を受けたときに思考回路が破壊され暴走してしまった。正常に作動しているコンピュータでも勝手にデータを再構築し(もちろんメチャメチャに)、狂わしてしまう。あらゆるデータの破壊を得意とし、どんなに強いデジモンでもナノモンの前では体を構成するデータをいとも簡単に破壊されてしまうだろう。必殺技は指先から発射される『プラグボム』。	プラグボム	マシーン型 ウィルス	P071
 エクスティラノモン	ティラノモンの形をしたぬいぐるみに忍び込んでいるパペットデジモン。何故ティラノモンのぬいぐるみなのかは不明だが、恐らく中に忍び込んでいる謎のデジモンが、近くにあったぬいぐるみの中に入ったのだろう。しかし、このぬいぐるみは、あの「もんざえモン」に匹敵するほどのパワーと鉄壁の防御力をもっており、普通のデジモンなどとても太刀打ちできない。ただし、もんざえモン同様あやつるモノがいなければただの置物でしかない。必殺技は可愛らしい体から発せられる『プリティーアタック』と、中に忍び込んでいるデジモンが繰り出す邪悪な球体『ブラックマター』。	プリティー アタック ブラックマター	パペット型 ワクチン	P072
 デュラモン	走り続けた先に見えた、向こう側の世界へ一歩ずつ歩み始めた完全体デジモン。どんな未来が待ち構えているかは分からないが、如何なる困難が立ちはだかっても、鍛錬を重ねて強さを増した自らの剣で切り開いていく。特徴的な背中の大剣は自身を武器に変えた時、無類の攻撃力を披露する。必殺技は、両手の剣で敵を斬る『グラスラッシュ』と、胸から放つビーム攻撃「ブリンデッド」は敵に直撃すれば大ダメージを与えるとともに 20 のマークを刻みつける。	グラスラッシュ ブリンデッド	武器型 ワクチン	P087
 セイバーハックモン	長きに渡る旅路からデジモンとの出会いや別れを繰り返し、いくつもの修羅場を潜り抜けて進化した姿。絶え間なく起こるデジタルワールド内の紛争に武力介入し戦闘停止を求めつつ、被害にあった現地デジモンの救済にあたってきた。その結果は全て成功とはならず、悲惨な光景を前に流した涙はセイバーハックモンを強くし、次に助けを求むデジモンへ懸命に手を伸ばす。両足が刃ながらに 2 足歩行を可能とし、両腕と尻尾に紅の刃が生まれ、全身刃の攻撃的なスタイルとなった。胸のクリスタルは努力を欠かさず力を磨き上げた証の結晶である。 必殺技は跳び蹴りの姿勢から足の刃で敵を突き刺し貫く『レッジストレイド』、マシンガンのように口から炎弾を連射し敵を焼き尽くす『メテオフレイム』、尻尾と両腕に装備された三つの赤い刃で斬りかかる『トライデントセイバー』は、クロンデジゾイドを纏った敵であろうと容赦なく割断する。	レッジ ストレイド メテオフレイム トライデント セイバー	竜人型 データ	P091
 ウイングドラモン	大きく発達した翼を持ち、自由自在に空を飛ぶことの出来る天竜型デジモン。翼の鱗は重力を遮断することが出来るため、羽ばたくことなく飛翔することが可能である。地面に降りることはまれであり、生きている時間のほとんどを空中で過ごす。飛行速度はマッハ 20 を超えるといわれており、ウイングドラモンと空中戦を行って生き残れるデジモンは少ないだろう。必殺技は音速を超えた速度で口から放つ灼熱のブレス『ブレイズソニックブレス』と最大速力まで加速して敵に急降下し、背中の槍を打ち付ける『エクスプロードソニックランス』。さらにウイングドラモンは高速移動するだけで速度が音速を超えてしまうため、『ウイングブラスト』と呼ばれる衝撃波が発生してしまう。そのため、ウイングドラモンの必殺技をかわしたとしても無傷ではいられない。	ブレイズ ソニックブレス エクスプロード ソニックランス ウイング ブラスト	天竜型 ワクチン	P096
 グラウンドラモン	背中に大きな腕を持つ地竜型デジモン。背中の腕は翼が変化したものといわれており、効率よく地面を掘ることが可能である。普段は地中深くに掘ったトンネルに潜んでおり、滅多なことでは地表に出てくることはない。また、グラウンドラモンは希少なファンロン鉱の鉱脈に好んで生息する傾向があり、体を覆う鱗にファンロン鉱の成分を含んでいる可能性が高いことが分かってきている。性格は非常に凶暴であり、遭遇したもののほとんどが命を落としているため、詳細な生態が分からないデジモンの 1 体である。必殺技は背中の腕で相手を挟んでつぶす『スクラップレスクロー』と尻尾の鉄球で殴り倒す『メガトンハマークラッシュ』。地表に出てきた際には全身を地面に打ちつけて発生させた地割れに相手を落とす『ギガクラック』を発動させることもある。	スクラップ レスクロー メガトンハマー クラッシュ ギガクラック	地竜型 ウィルス	P099
 フレアモン	威風堂々としたたてがみとその存在感により一見怖そうだが、仲間の為にはどんな困難にも立ち向かう心の強さを持った獣人型デジモン。必殺技は、拳に獅子の闘気と火炎を集中させて、獅子を象ったエネルギー波を放つ『紅蓮獣王波(ぐれんじゅうおうは)』と、炎をまとわせた拳と蹴りを、高速連続で敵に叩き込む格闘乱舞『紅・獅子之舞(くれない・ししのまい)』。また、全てを燃やす火炎によって浄化力を込めた衝撃波を、咆哮と共に口部から放ち、敵をデータ分解させる『清々之咆哮(せいせいのほうこう)』。	紅蓮獣王波(ぐれんじゅうおうは) 紅・獅子之舞(くれない・ししのまい) 清々之咆哮(せいせいのほうこう)	獣人型 ワクチン	P105
 クレシェモン	体が柔軟で、しなやかな動きで敵を討つ魔人型デジモン。流麗な戦闘を得意とし、月の光を受けるとその力は倍増すると言われている。必殺技は、舞うようなステップで敵を幻惑し、間合いを詰め、両手に持った武器“ノワ・ルーナ(羅:新月)”を使った斬撃『ルナティックダンス』。また、“ノワ・ルーナ”は 1 つに組み合わせることでボウガンのような形態に変化する。この状態から氷の矢を放つ『アイスアーチェリー』と、闇エネルギーの矢を放つ『ダークアーチェリー』の 2 つの技を繰り出すことができる。	ルナティック ダンス アイスアー チェリー ダークアー チェリー	魔人型 データ	P109
 メタルグレイモン (ワクチン種)	体の半分以上を機械化しているサイボーグ型デジモン。ウィルス種のメタルグレイモンは改造によって生命活動を大幅に長くすることができたが、肉体部分が耐え切れず青色に変色していた。しかし、完全なメタルグレイモンはグレイモンからの進化に成功しており、より強力なパワーを引き出しているサイボーグデジモンである。メタルグレイモンに進化するためには、襲い来る強敵を倒し、勝ち抜いていかなければならない。また、メタルグレイモンの攻撃力は核弾頭一発分に匹敵するといわれ、その一撃を受けるとレベルの低いデジモンなど跡形も残さず消滅する。必殺技は強化されたクロンデジゾイド製の『トライデントアーム』と、胸の部分にあるハッチから有機体系ミサイル『ギガデストロイヤー』を発射する。	トライデント アーム ギガデスト ロイヤー	サイボーグ型 ワクチン	P111
 ワーガルルモン	ガルルモンが進化して二足歩行が出来るようになった獣人型デジモン。二足歩行になることでスピードは失ってしまったが、より強い攻撃力と防御力、さらに戦術性を身につけたコマンドータイプのデジモンでもある。ガルルモン譲りの脚力から繰り出されるキック技は強烈で、ジャンプ力もデジモンの中では 1・2 を争うほど。また、信義にあつく、主人の命令ならば任務を忠実に遂行する頼もしい性格。必殺技は両腕の鋭い鍵爪で相手を切り裂く『カイザーネイル』。	カイザーネイル	獣人型 ワクチン	P113

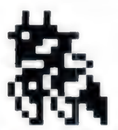
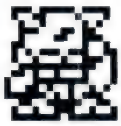
	NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
	 ドルグレモン	デジコア（電脳核）の最深部に眠っていた伝説の生き物"ドラゴン"の強い生命力のデータが、額のインターフェースによって解き放たれた姿であり、"最後の敵"の異名をもつ超大型獣竜型デジモン。その圧倒的な巨体をもって勇猛果敢なデジモンをことごとく粉砕し、「ナイトメアソルジャー」系の攻撃すら翼の一振りで跳ね返す。知性が高く、滅多にその存在を現すことはなく、発見することすら困難である。必殺技はその巨体の１０倍以上の大型にして超高質量の鉄球を放ち、敵を一網打尽にする「メタルメテオ」と、敵を串刺しにし上空へ捨て去る「ブラッディータワー」。	メタルメテオ ブラッディータワー	獣竜型 データ	P118
完全体	 メイクラックモン	メイクーモンが進化した姿。恥ずかしがりな気性に加え、争いを好まないことから単独で行動することが多い。普段は陽の当たる場所で身体を丸め、のんびりと昼寝する姿が目撃されている。近づく者の気配を察知すると俊敏な動きで物陰に隠れて様子を伺う。食料を持ってくる者には甘えることもあるが、それが敵であれば隠れたままやり過ごす。しかし、自分の縄張りから敵が出て行かない場合、居場所を守るために、普段の穏やかさからは想像もできないような力を発揮して敵と戦う。 必殺技は二本の触手で敵を拘束し、尻尾の針で麻痺させる「モデストリィスタン」と、飛ばした毛針で分身を作り出す「フェルトメイド」。	モデストリィスタン フェルトメイド	獣人型 ワクチン	P123
	 ルーチェモン：フォールダウンモード	聖と魔を併せ持つ究極の魔王型デジモンで"七大魔王デジモン"最強の存在。超古代に反逆戦争を起こし、多くの魔王型デジモンと共にダークエリアに封印されていた。その力は他の究極体をも超え、"神"と呼ばれる存在に匹敵すると言われている。全てのものを慈しむ神のような一面も持ちながら、この世界全体を破壊せんとする悪魔の様な相反する存在である。そのためこの世界を一度破壊し、新たなる新世界を創造することを目論んでいた。必殺技は打撃の乱舞で敵を空高く舞い上げたあとに、敵の四肢を固定して地面に叩きつける破壊技「パラダイスロスト」と、聖と魔の光球で立体魔方陣を作り出し敵を封じ込める「デッド・オア・アライブ」。この魔方陣に閉じ込められると完全に消滅するか、大ダメージを追うか１／２で決まってしまう。	パラダイスロスト デッド・オア・アライブ	魔王型 ウィルス	P140
	 ブリッツグレイモン	グレイモン系デジモンの究極形態であり、電流火器が備わったウォーグレイモンの亜種。 どっしりとした格闘戦に電撃を加え、強固なものであっても両腕の「プラズマステーク」から電撃を流し込み内側から破壊する。背中の「サンダーバーニア」を前方に転回して雷を撃ち、背面へ放出すれば自身の推進力増量にも活用できる。さらにプラズマ粒子を周囲に展開しバリアを形成する「エレックガード」を持つ。	プラズマステーク サンダーバーニア エレックガード	サイボーグ型 ウィルス	P073
	 バンチョーマメモン	小柄ながらにケンカが強く、男気溢れ情に厚い性格で、「バンチョー」の称号を持つデジモンの１体。デジタルワールドの規律に馴染めず反抗し、独立して生活している。同じく世界から孤立し途方に暮れるデジモンに手を差し伸べ、生活を共にするうちに「豆門連合」と称される集団にまで拡大した。しかし世界の規律に背き続けることは容易ではなく、更生と称して管理に順ずるデジモンに幾度となく戦いを仕掛けられるが、豆門連合の総力をあげて退けてきた。どんな窮地であっても一人として仲間を失うことなく敵を退けてきたことが「バンチョー」の称号を与えられた由縁とされる。 バンチョーレオモンと同じ物理攻撃の衝撃を防ぐ「GAKU−RAN」を羽織っているが、その防御効果は仲間のために使われることがほとんどだ。必殺技は使い込んだ愛用の棍棒「黄金罰斗」（おうごんばっと）で敵をタコ殴りにする「護王流伝羅守」と、舎弟であるブラックヒッキーズを黄金罰斗で打ち出す「千本爆砕」。そして、体中から伸びる獄中の鎖を利用して突進する「特攻漢弾」という技がある。	護王流伝羅守（ごーるでんらっしゅ） 千本爆砕（せんぼんどっかーん） 特攻漢弾（ぶっこみおとこだま）	突然変異型 データ	P074
	 スカルマンモン	太古より蘇ったマンモンがウィルス種のデジモンと戦い続け、全身がウィルスによって蝕まれた結果、全身が骨だけになってしまたアンデットデジモン。死してなお、ワクチンとしての生存本能が強く、戦い続けているため、ウィルスを殲滅すること意外の感情や知性を失っている。胸に輝くデジコアが無傷なうちは、全身が骨だけになっても生命活動を維持することができるが、剥き出しのデジコアを攻撃された時はスカルマンモンの最期だろう。必殺技はせびれの骨を高回転させて飛ばす「スパイラルボーン」。	スパイラルボーン	アンデッド型 ワクチン	P075
究極体	 クーレスガルルモン	ガルルモンの最終形態で、同じ最終形態のズィードガルルモンとは異なる人型になったメタルガルルモンの亜種。攻撃を跳ね返す黄金のクロンデジゾイト製の装甲を身に纏い、「黄獣偃月刀」を武器に持ち剣戟を得意とする。 全身を回転させて刃にしながら敵を襲う「獣狼大回転」、また黄獣偃月刀を氷で無数に形作り敵に飛ばす「激・氷月牙」を技として繰り出す。	黄獣偃月刀（きじゅうえんげつとう） 獣狼大回転（じゅうろうだいかいてん） 激・氷月牙（げきひょうげつが）	獣騎士型 データ	P076
	 ハイアンドロモン	不完全であったアンドロモンを改良し完成させた究極体のサイボーグ型デジモン。ボディを構成するクロンデジゾイド・パーツの割合が多くなっており、その事からもアンドロモンとは比較にならないほどの攻撃力・防御力を得ていることが判別できる。またアンドロモンでは未完であった思考を司るバイオ・シナプス回路もクロンデジゾイド・パーツを追加する事により、自ら思考し、目的を遂行する事が可能になった。ワクチン種でサイボーグ型でもあるために、ウィルスタイプに対しての攻撃は、恐ろしいまでに正確かつ強烈である。必殺技は、右肩の青い中性子制御タービンから放出される中性子エネルギーと左肩の赤い原子制御タービンから放出される原子エネルギーを両手の先で融合させて、相手を消滅させる光線を打ち出す「アトミック・レイ」。	アトミック・レイ	サイボーグ型 ワクチン	P077
	 キングエテモン	自称、「キング・オブ・デジモン」のエテモンの中でも、更に頂点に位置する存在といわれている究極の形態。更に調子にのって「キング・オブ・キングス」を名乗っている。胸に"大王"の文字が入ったサルスーツを颯爽と着こなし、スターきどりで闊歩しているが、他のデジモン達の冷笑を買っている。必殺技は、芝居をうって相手の戦闘意欲をそいでしまう「サルしばい」。	サルしばい	パペット型 ウィルス	P078
	 イージスドラモン	プレシオモンにシードラモン系のデータが融合して生まれたサイボーグ型デジモン。黄金のクロンデジゾイド合金でできた光り輝く装甲は、あらゆる邪悪を祓うといわれている。クラックチームに所属し、主に敵の情報分析や索敵を担当する。分析した情報は周囲に展開するクラックチームへと素早く送られ、戦況を優位に進めることから、クラックチームの頭脳とも呼ばれている。また単独行動でも一個大隊級の殲滅戦を可能とするほどの火力を秘めている。 必殺技は両腕から巨大な水弾を撃ち出す「パワーウォーター」、ロックオンした敵を甲板から発射されるミサイルで撃ち落とす「ブレイズパワー」、口から吐き出す水流で相手を圧し潰す「テラハイドロプレス」。また、天を覆う程の大量のミサイルを一斉射撃し、最大出力で敵に突貫する「シャインブレイカー」がある。	パワーウォーター ブレイズパワー テラハイドロプレス シャインブレイカー	サイボーグ型 ワクチン	P079

デジタルモンスタープロフィール

NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 タイタモン	デジタルワールドの支配権をめぐる戦いでオリンポス十二神族に敗れたデジモン達の怨念から生まれた逆襲の巨神 タイタモン。一人師団という異名を持ち、強大な身体に尽きることない怨念エネルギーを宿してオリンポス十二神族の首を求めて戦場を駆けぬける。大きな腕には大量の頭蓋骨が敷き詰められており、頭蓋骨すべてがそれまでに倒した敵から奪った力のデータである。 巨大な刀「斬神刀（ざんじんとう）」はスカルグレイモンの骨から削りだした骨刀で、刀に籠もる怨念が低い唸り声を上げる。必殺技「魂魄烈撃（こんぱくしんげき）」の一振りは刃が敵の防具や体をすり抜け、そのままデジコアへ達し斬り刻む。この技をまともに食らえばそのダメージは回復することはない。敵を突き刺しえぐる「幻刃無痕（げんじんむこん）」は斬神刀を抜いた後もずっとえぐり続けられる幻覚に陥り、精神が死ぬまで苦しみが終わることはない。 「呼応冥軍（こおうめいぐん）」は両腕の頭蓋骨を基に幽兵を召喚、不死の軍団として敵勢を蹂躙する。これがタイタモンが一人師団と呼ばれる由縁であり、一体でも軍隊と同様に扱われるのは瞬時に大軍勢を召喚することが出来るためだ。	魂魄烈撃（こんぱくしんげき） 幻刃無痕（げんじんむこん） 呼応冥軍（こおうめいぐん）	神人型 ウィルス	P080
 ムゲンドラモン	全身が１００％フルメタルのデジタルワールド最強のデジモン。数々のサイボーグ系デジモンのパーツを組み合わせて造られており、今まで製造されてきたサイボーグ系デジモンはムゲンドラモンを完成させるための試作型だったと思われる。他のデジモンを圧倒するほどのパワーと、桁違いの処理能力を誇る頭脳を持つが、自らの意思は持ち合わせていない純粋な機械デジモンである。そのかわり本体中枢にある電脳核（デジコア）に、何者かによって悪の意思が宿ったプログラムを植えつけられており、悪意に満ちた電脳核からは無限のパワーが供給されている。必殺技は２門のキャノンから発射される超弩級のエネルギー波「∞（ムゲン）キャノン」。	∞（ムゲン） キャノン	マシーン型 ウィルス	P081
 ピノッキモン	呪われしジュレイモンの身体から作り出された、究極のパペットデジモン。恐らく凶悪なハッカーの１人がジュレイモンのデータから、このピノッキモンを作り出したと思われる。操り人形のような姿をしているが、自らの意志を持ち行動することができる。性格は悪く、うそつきであり、コンピュータが間違った情報を提示したときはピノッキモンの仕業である。必殺技はリボルバー型のハンマーに火薬を詰めて叩き付ける最強の技「ブリットハンマー」。この攻撃を受けると、ハンマーの打撃だけでなく火薬による爆発によって、跡形も無くなるだろう。	ブリット ハンマー	パペット型 ウィルス	P082
 デュランダモン	自身の剣を極限まで磨き上げ、さらに神話やゲームからなる「伝説の剣」のデータを得て進化した究極の聖剣を持つデジモン。デュランダモンの剣を手にすれば勝利をもたらすと言われ、剣に変わる「Legend-Arms」の中では最強クラスの強さを誇る。その斬撃の凄まじさはどのような防壁も真っ二つにするが、盾に変わる「Legend-Arms」の頂に立つデジモンのみが耐えられたという記録が残されている。 必殺技は、闘気を込めて両手の剣で敵を斬る「ツヴァイグレンツェ」と、複数の敵をまとめて一掃する回転斬り「トロンメッサー」がある。どちらも敵を一撃で仕留めるだけの威力を持つが、やはり武器となって放つ斬撃がデュランダモン最大の魅力だ。	ツヴァン グレンツェ トロンメッサー	聖剣型 ワクチン	P088
 ジエスモン	セイバーハックモンの胸のクリスタルが輝き完全を超えた究極の姿となり、ネットワークセキュリティの最高位とされる「ロイヤルナイツ」の称号を得た聖騎士型デジモン。デジタルワールド各地に起こる異変や混沌の兆しを感知する能力を備え、どのロイヤルナイツよりもイチ早く駆けつける。単独で行動するよりも多くのデジモンやシスタモン達と連携し対応にあたるという、ロイヤルナイツでも稀なチームでの活動を行うのは他者を信頼し、自分への過信を行わないためである。師であるガンクゥモンのヒヌカムイを見て習い、ジエスモンも修行の中で「アト」「ルネ」「ポル」の３体を習得している。ジエスモンの指示で動くが自律行動もでき、敵への直接攻撃、ジエスモンの援護、他デジモンの救済など侮れない行動能力を誇る。 必殺技は高速移動しながら腕の刃で敵を瞬時に斬り裂く「轍剣成敗」、敵からのあらゆる攻撃を「アト」「ルネ」「ポル」と共に九つの刃で迎え撃つ全方位カウンター技「シュベルトガイスト」。 自分のデータを一時的に書き換え、物理限界を超えた活動を可能にする「アウスジェネリクス」は身体能力がデジタルワールドの法則に縛られないため、いかなる敵であろうとジエスモンに傷ひとつ付けられずに屈する。名前の由来は「Justice・edge・swordsman」。	轍剣成敗（てっけんせいばい） シュベルト ガイスト アウス ジェネリクス	聖騎士型 データ	P092
 スレイヤードラモン	クロンデジゾイドの鎧鱗（がいりん）で身を包んだ竜人型デジモン。竜系デジモンだけが挑戦できる「四大竜の試練」と呼ばれる修行を修了した者だけがたどり着ける姿といわれている。伸縮自在の大剣「フラガラッハ」を帯びており、スレイヤードラモン独自の究極剣法「竜斬剣」を極めている。「竜斬剣」には壱から参までの３種類の型があり、壱の型「天竜斬破」は回転体術によって加速された剣を脳天から垂直に打ち込み相手を両断する。弐の型「昇竜斬波」は剣で練った竜波動を下方から上方に向けて解き放ち、剣圧だけで相手を切り捨てる。参の型「咬竜斬刃」は、至近の間合いまで踏み込み「フラガラッハ」を相手に巻きつけ、巻きつけた刀身で相手の全身を削り取る。	天竜斬破（てんりゅうざんは） 昇竜斬波（しょうりゅうざんぱ） 咬竜斬刃（こうりゅうざんば）	竜人型 ワクチン	P097
 ブレイクドラモン	地上のすべてを破壊するために存在するといわれている巨大な機竜型デジモン。さまざまな建設重機の設計データを進化する際にハッキングで取り込むことに成功しており、他のマシン型デジモンを凌駕する性能・パワーを有している。しかし、優れた機械性能と引き換えに生体パーツがゼロに近いほど減少し意思や感情は失われている。そのため自身の体にダメージを負うことも恐れず、朽ち果てるまで破壊を繰り返す究極の破壊竜として恐れられている。左右のショベルアームを超高速で繰り返し叩きつける「デストロイドラッシュ」は大地を裂き、体中のドリルを全稼動させて放つ「インフィニティボーリング」は山をも砕き、全体重を掛けて目標を押しつぶす「グラビティプレス」はあらゆるものを圧壊する。ブレイクドラモンの通った後には「何」も残らない。	デストロイド ラッシュ インフィニティ ボーリング グラビティ プレス	機竜型 ウィルス	P100
 アポロモン	オリンポス十二神族の１体で、太陽級の総合エネルギー秘めた神人型デジモン。その力は、あらゆる物質を溶かし浄化する恐るべき力であり、非情なまでの熱い血潮とプライドで辛うじて抑制している。必殺技は、背中の火炎球より灼熱の太陽球を発生させて放つ「ソルブラスター」と、秘めたる力を込めた一撃必殺の拳「フォイボス・ブロウ」。また、両手の光玉から灼熱の矢を連続して放つ「アロー・オブ・アポロ」をもつ。	ソルブラスター フォイボス・ブロウ アロー・オブ・ アポロ	神人型 ワクチン	P106
 ディアナモン	オリンポス十二神族の１体で、水と氷を司り、絶対零度の状況下でも戦闘可能な神人型デジモン。月の表裏（光と闇）のように二面性をもった性格で、美しくも恐るべき力を秘めている。必殺技は、月の神秘の力で幻覚を見せ、己の敵と判断すれば即時斬り裂く「クレセントハーケン」と、背中の突起から、細く鋭く長大な、眩いばかりの氷の矢を引き抜いて放つ「アロー・オブ・アルテミス」。また、両足"グッドナイトシスターズ"から月の光を放ち、浴びた相手を睡眠に誘う「グッドナイト・ムーン」をもつ。	クレセント ハーケン アロー・オブ・ アルテミス グッドナイト・ ムーン	神人型 データ	P110

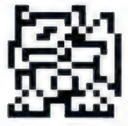
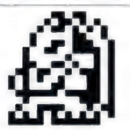
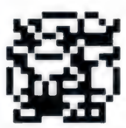
究極体

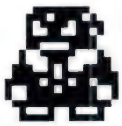
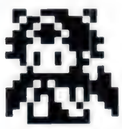
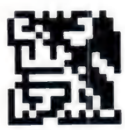
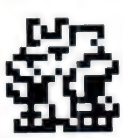
究極体

NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 ウォーグレイモン	超金属「クロンデジゾイド」の鎧を身にまとった最強の竜戦士であり、グレイモン系デジモンの究極形態である。グレイモン系デジモンに見られた巨大な姿とは違い、人型の形態をしているが、スピード、パワーとも飛躍的に向上しており、完全体デジモンの攻撃程度では倒すことは不可能だろう。両腕に装備している「ドラモンキラー」はドラモン系デジモンには絶大な威力を発揮するが、同時に自らを危険にさらしてしまう諸刃の剣でもある。また、背中に装備している外殻を1つに合わせると最強硬度の盾「ブレイブシールド」になる。歴戦の強者の中でも真の勇者が自らの使命に目覚めたときウォーグレイモンに進化すると言われている。必殺技は大気中に存在する、全てのエネルギーを1点に集中させて放つ、超高密度の高熱エネルギー弾「ガイアフォース」。	ガイアフォース	竜人型 ワクチン	P112
 メタルガルルモン	ほぼ全身をメタル化することでパワーアップした、ガルルモンの最終形態。メタル化をしても持ち前の俊敏さは失っておらず、全身に隠されている無数の武器で敵を粉砕する。鼻先にある4つのレーザーサイトからは不可視のレーザーを照射しており、赤外線、X線などあらゆるセンサーを使って前方の対象物を分析することができるため、視界の届かない暗闇のなかでもメタルガルルモンから逃げることは不可能である。また、背部から伸びたアームからビーム状のウィングを放出して超高速でネット空間を飛び回ることができる。必殺技は全ての物を氷結させてしまう絶対零度の冷気を吐出す「コキュートスブレス」。この攻撃を受けたものは瞬時に生命活動を停止してしまう。	コキュートスブレス	サイボーグ型 データ	P114
 アルファモン	13体存在すると言われるネットワークセキュリティの最高位、聖騎士"ロイヤルナイツ"の1体である。聖騎士でありながら、聖騎士への抑止力的な存在だと言われており、通常時は姿を現すことはなく、蒼いマントを翻す"孤高の隠士"とも呼ばれ、"空白の席"と呼ばれる所に位置する"ロイヤルナイツ"である。戦いにおいては過ぎ去った戦いを瞬間的に取り戻す究極の力「アルファインフォース」の能力を持つため、アルファモンの攻撃は一瞬にして終わるが、実際には何回の攻撃を繰り出したかは分からず、理論上、敵が倒れる最後の一撃だけを見ることになる。両手からデジ文字の魔法陣を展開して攻撃と防御を行う。必殺技は魔法陣の中心に突き刺さった光の収束を抜き、敵を貫く「聖剣グレイダルファー（グレイドモンの「双剣グレイダルファー」に由来）」と、背中の翼を広げて飛翔し、上空より巨大な魔法陣を展開して、異次元より伝説上のモンスターを召喚する「デジタライズ・オブ・ソウル」。	聖剣グレイダルファー デジタライズ・オブ・ソウル	聖騎士型 ワクチン	P119
 ラジエルモン	かつてオファニモンと同等の位を与えられたとされる座天使型デジモン。"カーネル（神の領域）"より世界の全てを見通せる神秘の力を持っている。その力でデジタルワールド中の出来事を知り尽くしており、神にも等しい量の知識を蓄えているという。 必殺技は、両腕の魔法陣から五大元素を自在に組み合わせ膨大なエネルギーを放出する「ノウレッジストリーム」。そして、あらゆる奇跡を起こし敵対する者を駆逐する「セファーラジエール」は、ラジエルモン自身にも何が起こるか分からない。	ノウレッジストリーム セファーラジエール	座天使型 ワクチン	P124
 オメガモン Alter-S	ウォーグレイモンの亜種"ブリッツグレイモン"、メタルガルルモンの亜種"クーレスガルルモン"が融合し誕生したオメガモンの新たな一面。"ロイヤルナイツ"に所属するオメガモンとは別の個体であるが、2体の特性を併せ持ちマルチタイプな性能は変わらず、強さも同等である。なぜ2体のデジモンが融合に至ったかは謎であり、このオメガモンもまた誰かの強い意志によるものか、何の望みがあっての融合かは不明である。 必殺技はブリッツグレイモンの形をした砲塔からプラズマを撃ち抜く「グレイキャノン」、さらに「ガルルソード」は剣中央に溜めるエネルギー量で斬撃力が変化する。最大チャージしたガルルソードの斬撃に切れぬものはない。	ガルルソード グレイキャノン	聖騎士型 ウィルス	P125
 ラストティラノモン	デジタルワールド創生から長きに渡る激戦を、進化とともに潜り抜けてきたティラノモンの究極体。メタルティラノモンから過酷な環境下を長年耐え、全身のサイボーグは赤錆となっている。戦術は殲滅戦に特化され、1体で敵の拠点もろとも薙ぎ払う。 ラストティラノモンはデジモンを捕食する性質をもち、何百何千ものデジモンも僅かな時間で跡形もなく平らげてしまう。 必殺技は、背中の砲台を前方に展開して大型な電磁砲を撃ちだす「テラーズクラスター」と、身体の色と同じ深緋の炎を吐き出す「ラストブレス」。「ラストブレス」は触れた先から錆にさせる効果を持つ。格闘においてもサイボーグ型デジモンでトップクラスのパワーと破壊力で相手をねじ伏せる。	テラーズクラスター ラストブレス	サイボーグ型 ウィルス	P126
 エグザモン	デジタルワールドの聖なる守護者「ロイヤルナイツ」の1体である聖騎士型デジモン。途方もないデータ質量をもったデジモンであり、旧来のデジタル機器ではまったく描画することが出来ず、最新鋭のデジタル機器の性能をもってしてようやく描画可能となったため発見できた存在である。ロイヤルナイツに属しているが、同時にすべての竜型デジモンの頂点に立つ存在であり、「竜帝（りゅうてい）」の異名を持つ。意思を持った巨大な翼「カレドヴールフ」と巨大なランス「アンブロジウス」を持っている。「カレドヴールフ」はすべてクロンデジゾイドで構成された特殊な翼であり、「カレドヴールフ」自身の判断により、時には飛翔するための翼になり、また時にはエグザモンを守る盾ともなる。ランス「アンブロジウス」にはさまざまな効果を持つウィルスの仕込まれた特殊弾が装填されており、エグザモンの攻撃を多彩なものにしている。必殺技は、「アンブロジウス」を敵に突き刺し、すべての特殊弾を炸裂させ内部から敵を破壊・消滅させる「アヴァロンズゲート」と、大気圏外まで急上昇し、「アンブロジウス」から高出力のレーザー射撃を行う「ペンドラゴンズグローリー」。また、大気圏外から急降下し、大気との摩擦熱を帯びた状態で体当たりする「ドラゴニックインパクト」は衝撃波を伴うため広範囲の敵を掃討することも可能である。	アヴァロンズゲート ペンドラゴンズグローリー ドラゴニックインパクト	聖騎士型 データ	P127
 グレイスノヴァモン	かつてデジタルワールド・イリアスに未曾有の危機が訪れたとき、オリンポス十二神族のアポロモンとディアナモンが合体し誕生したと言われている、幻の銀河型デジモン。太陽のエネルギーと月のエネルギーという相反する力を衝突させ、体内にビッグバン級のエネルギーを構築している。このことから、グレイスノヴァモン自身が独立した銀河になっていると予測されており、そのデータ総量を正確に測ることは不可能だと言われている。 必殺技は、体内で増幅されたエネルギーを掌に集め、敵に触れて融解させる「エクリプスフィンガー」と、背中に纏う8本の刃「メレアグロス」を射出し敵を滅ぼすまで追撃する「カリュドーンアルクス」。	エクリプスフィンガー カリュドーンアルクス	銀河型 ワクチン	P128
 オメガモン	ウイルスバスターであるウォーグレイモン・メタルガルルモンが、善を望む人々の強い意志によって融合し誕生した"ロイヤルナイツ"の一員である聖騎士型デジモン。2体の特性を併せもつデジモンで、どんな状況下でも、その能力をいかんなく発揮することのできるマルチタイプの戦士である。ウォーグレイモンの形をした左腕には盾と剣が、そしてメタルガルルモンの形をした右腕には大砲やミサイルが装備されている。背中のマントは、敵の攻撃を避ける時や、飛行するときに背中から自動的に装着される。必殺技は、メタルガルルモンの形をした大砲から打ち出される絶対零度の冷気弾で敵を凍結させる「ガルルキャノン」。また、左腕には無敵の剣「グレイソード」が装備されている。	ガルルキャノン グレイソード	聖騎士型 ワクチン	P129

デジタルモンスタープロフィール

究極体

NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
 インペリアルドラモン：パラディンモード	古代竜戦士型デジモンのインペリアルドラモン（ファイターモード）が、聖騎士オメガモンのパワーを得て、パワーアップし伝説の聖騎士（パラディンモード）へと形態を変化させた姿。これが古より伝わるインペリアルドラモンの最終最強形態で、古代デジタルワールドの大破壊の時に降臨し、世界を完全な崩壊から救った。しかし、その頃の詳細なことは一切謎であり、いずれデジモンやデジタルワールドの研究が進めば解明されるであろう。必殺技は究極剣『オメガブレード』で敵を一刀両断し、構成データを初期化して無にしてしまう。	オメガブレード	古代聖騎士型 ワクチン	P130
 デュークモン	オメガモン、マグナモンと共に聖騎士型デジモンは“ロイヤルナイツ”と呼ばれている。“ロイヤルナイツ”とはネットワークセキュリティの最高位に位置するデジモンで、このデジモン達を前にセキュリティを破るのは絶対に不可能である。ウィルス属性でありながらネットの守護神という矛盾を内包した存在であり、万が一でもバランスが崩れると危険な存在にもなりうる。９９．９％の高純度“クロンデジゾイド”を精製して造られた聖鎧を纏い、右手は聖槍「グラム」、左手は聖盾「イージス」になっている。騎士道を重んじ、主君に対しては忠義の士である。必殺技は聖槍「グラム」から繰り出す強烈な一撃『ロイヤルセーバー』と左腕の聖盾「イージス」から全てを浄化するビームを放つ『ファイナル・エリシオン』。	ロイヤルセーバー ファイナル・エリシオン	聖騎士型 ウィルス	P131
 デュナスモン	聖騎士“ロイヤルナイツ”の一員で、飛竜の能力を持つ。ロイヤルナイツの中でも特異の存在で、忠誠心が強く、自らの考える正義に見合った主君に絶対的に仕える。例えそれが「悪」と呼ばれる存在でも自らが考える正義の為に命をもいとわない。そのため騎士道・武士道精神が強く、忠義や信義、礼儀を重んじる性格である。竜の様な強靭なパワーと、高純度のクロンデジゾイド製の竜鎧で無双の強さを誇る。必殺技は両手の平から十闘士と同じ属性のエネルギー弾を発射する『ドラゴンズロア』と、全身のエネルギーを巨大な飛竜のオーラに変える『ブレス・オブ・ワイバーン』。	ドラゴンズロア ブレス・オブ・ワイバーン	聖騎士型 データ	P133
 ロードナイトモン	全てのナイトモンを統べる王であり、“ロイヤルナイツ”の一員でもある聖騎士型デジモン。ロードナイトモンは善悪の基準よりも、自らの考える“正義”に忠実であり、そのための手段は選ばない。それが“力による支配”が一定の平和をもたらすのであれば、その手段もいとわないだろう。任務の遂行には冷酷無比な一面もあり、弱者に対する慈悲は無い。必殺技は鎧から伸びる４本の帯刃で敵を切り刻む『スパイラルマスカレード』と、瞬時に相手の懐に入り込みゼロ距離から右腕のパイルバンカーから衝撃波を撃ち出す『アージェントフィアー』。	スパイラルマスカレード アージェントフィアー	聖騎士型 ウィルス	P134
 アルフォースブイドラモン	古代デジタルワールドから伝わる、ある“予言”の中だけに登場する伝説上の聖騎士デジモン。その“予言”にはネットワークの守護神“ロイヤルナイツ”の出現が書かれており、“ロイヤルナイツ”と呼ばれるデジモン達は、デジタルワールド最大の危機の時に“予言”の元に集うと言われている。アルフォースブイドラモンは“ロイヤルナイツ”の中でも神速のスピードを持ち、その動きを追える存在は皆無である。またクロンデジゾイドの中でも希少な存在で最軽量のレアメタル“ブルーデジゾイド”製の聖鎧に身を包み、空を裂き、大地を割る。両腕に装備した“Ｖブレスレット”から武器やシールドが展開する。必殺技は胸のＶ字型アーマーから掃射される光線『シャイニングＶフォース』。	シャイニングＶフォース	聖騎士型 ワクチン	P135
 クレニアムモン	ロイヤルナイツの中で最も礼節をわきまえたデジモン。完璧主義者であり、イグドラシルの指令に対しての任務達成率はロイヤルナイツデジモンの中でも１・２を争うほどである。敵と戦うときは常に一騎打ちで打ち破ることが彼のポリシーであり、敵が強敵であればあるほど彼の喜びは至上のものとなる。クレニアムモンの鎧はイグドラシルからコード操作されており、ブラックデジゾイド化している。彼自身が鎧のデータにアクセスすることで、武器や楯を鎧から生み出すことが可能になっている。必殺技は、魔槍「クラウ・ソラス」を高速回転させることで、超音速の衝撃波（ソニックウェーブ）を放つ『エンド・ワルツ』。この技を受けた者は、衝撃波により全てのデータが粉砕されるまで、「踊り」続ける。また、魔楯「アヴァロン」は鉄壁の全方位防御『ゴッドブレス』を発動し、３秒間だけどんな攻撃も無効化することができる。	エンド・ワルツ ゴッドブレス	聖騎士型 ワクチン	P136
 スレイプモン	デジタルワールドの守護者「ロイヤルナイツ」の一員である聖騎士型デジモン。人型デジモンが多い「ロイヤルナイツ」において、異形とも言える獣型のシルエットを持っている。大きな防御力を誇る「レッドデジゾイド」の鎧を全身にまとっており、究極体デジモンといえどもスレイプモンにダメージを与えるのは容易ではないだろう。６本の脚は優れた機動力を持ち、大柄な体格から想像もつかないほどの瞬間高速移動を行うことが可能である。スレイプモンはデジタルワールドの北極付近の分厚い氷の下に眠る超古代遺跡の警護を行っており、この遺跡にはデジモンの創生にかかわる重要なプログラムデータが封印されていると言われている。必殺技は、左手の聖弩（せいど）「ムスペルヘイム」から放たれる灼熱の光矢『ビフロスト』と、右手の聖盾（せいじゅん）「ニフルヘイム」を使って気候を操り極低温のブリザードを発生させる『オーディンズブレス』。	ビフロスト オーディンズブレス	聖騎士型 ワクチン	P137
 ドゥフトモン	他のロイヤルナイツでさえ一目置く屈指の戦略家である聖騎士型デジモン。各々信じる道を持つロイヤルナイツを統率する稀まれなる能力を持っている。自ら戦闘にも赴き“レオパルドモード”となり戦場を駆ける。必殺技は、頭上で弧を描き振り下ろすビームの刃、消滅の剣『アウススターベン』と、爆発的なエネルギーを放つ破壊の剣『エルンストウェル』。	アウススターベン エルンストウェル	聖騎士型 データ	P138
 ガンクゥモン	聖騎士型デジモンで「ロイヤルナイツ」を継承されたデジモン。デジタルワールド最南西部に居を構えるとされているものの、同じ場所に留まることは稀で、次代を担わせるハックモンを連れ、デジタルワールドの各地を旅しながら異変や混沌の兆候を潰して回っている。存在を見せることが少ない他のロイヤルナイツとは違って現地に降り立って活動しており、気心知れたデジモンも数多くいる。 自身のロイヤルナイツとしての称号をハックモンに継がせるべく過酷な試練を与え、道中もシスタモン姉妹にハックモンの鍛錬を任せている。頑固な性格故に厳しくハックモンに接するその態度は、他のロイヤルナイツに負けない一人前になってほしいとする優しさの裏返しである。 ガンクゥモンには身体から浮き出す“ヒヌカムイ”が常にいて、言葉は出さないが問答無用で手を出す。 必殺技は、誰彼かまわず口答えをする者を思いっきり殴る『鉄拳制裁』、ガンクゥモンの怒声『地神！神鳴！神驰！親父！』で“ヒヌカムイ”が天誅を下す。さらに地面をクロンデジゾイド製ちゃぶ台ごとひっくり返す『ちゃぶ台返し』があり、ちゃぶ台に乗った地面もクロンデジゾイド製の硬度となる。“ヒヌカムイ”自身も成熟期からの進化過程にあり、そのパワーが覚醒した時、敵と認知されたいかなるデジモンも存在しえないとされている。	鉄拳制裁 地神！神鳴！神驰！親父！（じしん！かみなり！かじ！おやじ！） ちゃぶ台返し	聖騎士型 データ	P139

	NAME	PROFILE	KILLER TECHNIQUE	DATA	PAGE
究極体	 リヴァイアモン	その怪物の持つ余りにも強大な力への恐怖から“悪魔獣”と呼ばれ、“七大魔王デジモン”の一体に数えられているデジタルワールド最強の怪物が存在する。デジタルワールドすら呑みこむという巨大な顎を持つその長大な怪物は、ダークエリア付近のネットの海底に眠っていると伝えられ、一度目覚めさせれば、頂点に位置する如何なるデジモンをも見下し、他の魔王型デジモンはおろか天使型デジモンでさえ恐れ逃げ出すと言われている。しかし、デジモンとしてデコード（解読）できる限界の存在で、姿を現すことは皆無に等しく、デジタルワールドに巣食う根元的な悪の存在だとも言われている。必殺技は、巨大な顎『ロストルム（羅：くちばしの意）』で全てを破壊し、長大な尾『カウダ（羅：尾の意）』で全てを薙ぎ払う。	ロストルム カウダ	魔王型 ウィルス	P141
	 ベルゼブモン	多くの悪魔型デジモンを統べる能力を持ちながら、あえて孤高の存在を守る魔王型デジモン。“七大魔王デジモン”の一人で、その気になれば闇の軍団「ナイトメアソルジャーズ」の頂点に立てると言われているが、そのベルゼブモンでさえも凌駕する程の魔王型デジモンも存在すると言われている。愛用のショットガン「ベレンヘーナ」を持ち、巨大なバイク型マシーン「ベヒーモス」を乗りこなす。性格は冷酷にして無慈悲であり、非常にプライドが高いが、決して群れたり弱者を攻撃することはない。得意技は鋭い鉤爪を振り上げて敵を切り裂く『ダークネスクロウ』。必殺技は二丁のショットガンを連射する『ダブルインパクト』。	ダークネス クロウ ダブル インパクト	魔王型 ウィルス	P142
	 リリスモン	女性の姿をした魔王型デジモンで“七大魔王”デジモンの一体でもある。元々はオファニモンと同種族だったと考えられており、堕天して“暗黒の女神”と呼ばれるようになった。妖しくも美しい容姿で相手を惑わし、その誘いに乗ったものは必ず死が与えられるといわれる。“暗黒の女神”の名に相応しく、悪に対しては寛大であるが善に対しては冷酷非道の施しをする。右腕の魔爪「ナザルネイル」は触れるもの全てを腐食させる。必殺技は暗黒の吐息で相手の体を蝕む『ファントムペイン』。この呪い受けると体の末端からデータが消失し、死してなお、その痛みに苦しむといわれている。	ファントム ペイン	魔王型 ウィルス	P143
	 ベルフェモン： レイジモード	ベルフェモンは千年に１度の周期で永き眠りから覚め、本来の姿を取り戻すという。眠りから覚めたベルフェモンは怒りの権化と化し、視界に入るもの全てが破壊の対象となる。ベルフェモン：レイジモードの咆哮を受けただけで、完全体以下のデジモンはデータ分解し即死するといわれており、究極体デジモンといえども無傷ではいられない。必殺技は、体に巻きついた鎖から発する黒い炎『ランプランツス』と、地獄の炎をまとった爪から繰り出される斬撃『ギフトオブダークネス』。なお、七大魔王を冠するデジモンに葬られたデジモンのデータは輪廻転生することなく、ダークエリアの中心へと送り込まれ、魔王たちの血肉となる。	ランプランツス ギフトオブ ダークネス	魔王型 ウィルス	P144
	 バルバモン	長い髭の老人の姿をした魔王型デジモンで“七大魔王デジモン”の一体である。悪魔の巣窟であるダークエリアの中心部に存在し、堕天使型デジモン達を操って悪の限りを尽くす。ネットワーク内に存在するあらゆる財宝に執着し、物欲のためならば手段を問わず、一欠けらの財宝のためにデジモンを殺す強欲で残忍な性格である。堕天使型デジモンの他に、究極体のデスモンを造作もなく操る七大魔王屈指の狡猾な策略家でもある。必殺技は生きては戻れない地獄へとデジモンを誘い、邪悪化させる魔杖『デスルアー』と、ダークエリアの邪悪のエネルギーを一斉解放し、全てを焼き尽す超高熱爆破『パンデモニウムロスト』。尚、ベリアルヴァンデモンの必殺技『パンデモニウムフレイム』でさえ、このエネルギー量の極一部でしかない。	デスルアー パンデモニウム ロスト	魔王型 ウィルス	P145
	 デーモン	多くの悪魔型デジモンや堕天使型デジモンを率いる魔王型デジモン。デーモンは元々はデビモン等と同じく天使型デジモンであり、その中でも特にレベルの高い存在であった。しかし、デジタルワールドの善の存在（恐らくはデジタルワールドを構築した人間）に対して、反逆あるいは猛威を振るったためダークエリア（消去されたデータの墓場）へとデリートされてしまった。彼等は、いつの日かデジタルワールドを征服し、善の存在への復讐を誓っている。また、その反逆戦争の時に彼等を率いた、究極体の中でも最強だった「超究極体デジモン」を密かに復活させようと企てている。必殺技は、超高熱の地獄の業火『フレイムインフェルノ』。この技を受けると、跡形も無く燃やし尽くされてしまう。	フレイム インフェルノ	魔王型 ウィルス	P146
	 ベリアルヴァンデモン	ヴァンデモンの最終形態と言われる、魔王型デジモン。パワーを追求しすぎ、獣のように知性を失ってしまうヴェノムヴァンデモンとは違い、知性も兼ね揃え全ての面でヴェノムヴァンデモンを超えることに成功した。残虐非道で冷酷な性格を持ち、自らの欲望のためには手段を選ばない。左右の肩にはそれぞれ生体砲の「ソドム」と「ゴモラ」を寄生させている。必殺技は両肩のソドムとゴモラから発射される超高熱線『パンデモニウムフレイム』。	パンデモニウム フレイム	魔王型 ウィルス	P147
	 ムルムクスモン	元々は上級天使型デジモンだったが、堕天して魔王型デジモンになった。ナイトメアソルジャーズの幹部クラスであり「伯爵」の名で呼ばれおり、３０の魔軍団をまとめている。また、幻獣デジモンのグリフォモンを従えており、自らの手足として使役している。必殺技は業火を吐き出し、死してなお永遠に苦しむと言われる『ゲヘナ・フレイム』。	ゲヘナ・ フレイム	魔王型 ウィルス	P148
	 デスモン	元々はデーモンと同じく高位天使型デジモンだったが、ダークエリアに堕とされた魔王型デジモンの１人。魔王型デジモンといっても、他の堕天使型デジモンや悪魔型デジモンと違い、悪行の限りを尽くすのではなく、あくまでも中立の立場を守り静観している。しかし、来るべき決戦のときにその白い姿を漆黒の闇色に変え、破壊神に変貌すると伝えられている恐ろしいデジモンである。必殺技は両手の邪眼から発射される死の矢『デスアロー』と、頭部の単眼が深紅に輝いたときに発射される破壊光線『エクスプロージョンアイ』。　※デスモンは「デジモンウェブドット絵コンテスト」で山形県「猪野貴裕くん」のデジモンが入賞し採用されたものです。	デスアロー エクスプロー ジョンアイ	魔王型 データ	P149
アーマー体	 マグナモン	“奇跡のデジメンタル”のパワーによって進化したアーマー体の聖騎士型デジモン。“奇跡のデジメンタル”は“メタル”の属性を持っており、超金属「クロンデジゾイド」製である。絶大な防御能力を持ち、その攻撃力は究極体と対等か、それ以上で“ロイヤルナイツ”の一員でもある。“奇跡のデジメンタル”のパワーを得たものは、どんな窮地に陥っていても、その奇跡の力によって切りぬけることができるところから、まさにミラクルアイテムと呼ぶに相応しい。必殺技はボール状のプラズマ弾を発射する『プラズマシュート』と、空間を急速圧縮し、一気に膨張爆発させ、黄金のレーザー光で周辺の敵を一掃する『シャイニングゴールドソーラーストーム』。また、デジメンタルのパワーを極限まで出力して、全身からエネルギー波を放射する『エクストリーム・ジハード』があるが、その威力の大きさから、自らのデータ損傷が加速度的に速まることが判明。唯一無二にしてマグナモン究極の禁じ技である。	プラズマ シュート シャイニング ゴールド ソーラーストーム エクストリーム・ ジハード	聖騎士型 フリー	P132

50音引き索引

本書に登場するデジモンたちを、50音順に掲載。好きなデジモンが登場するページをチェックしよう。（コラムに登場するデジモンも記載してあります。）

ア

アグモン **007**,178,182,184
アグモン(2006年アニメ版) 019
アグモン(X抗体) 019
アグモン(黒) 019
アグモン博士 019
アポロモン **106**,181,194
アルファモン **119**,150,182,195
アルフォースブイドラモン **135**,150,196
アンドロモン **043**,179,191
イージスドラモン **079**,179,180,193
インペリアルドラモン：ファイターモード 130
インペリアルドラモン：ドラゴンモード 130
インペリアルドラモン：パラディンモード **130**,150,196
ウイングドラモン **096**,181,192
ウォーグレイモン **112**,173,174,181,182,195
エアドラモン **013**,178,186
エグザモン **127**,150,173,176,181,195
エクスティラノモン **072**,180,192
エテモン **045**,179,191
エレキモン **022**,178,185
エンジェモン **025**,178,187
オーガモン **038**,179,188
オメガモン **129**,150,173,182,195
オメガモン Alter-S **125**,173,178,195

カ

ガジモン **061**,180,185
カブテリモン **023**,178,187
ガブモン **021**,178,182,185
ガルルモン **024**,178,182,187
ガンクゥモン **139**,150,196
ギザモン **062**,180,185
ギロモン **044**,179,191
キングエテモン **078**,179,193
クーレスガルルモン **076**,178,193
クネモン **035**,179,185
グラウンドラモン **099**,181,192
グレイスノヴァモン **128**,172,176,181,195
グレイモン **009**,178,182,186
クレシェモン **109**,181,192
クレニアムモン **136**,150,196
クワガーモン **052**,179,188
ケンタルモン **037**,179,187
コアドラモン（青） **095**,181,190
コアドラモン（緑） **098**,181,190
コカトリモン **050**,179,188
コロナモン **103**,181,186
コロモン **006**,178,182,183

サ

サイクロモン **064**,180,189
サクットモン **084**,172,180,184
サクモン **084**,172,180,183
シードラモン **014**,178,186
シーラモン **053**,179,188
ジエスモン **092**,150,180,194
シェルモン **040**,179,188
シスタモン ノワール 101
シスタモン ブラン 101
スカモン **042**,176,179,188
スカルグレイモン **030**,178,191
スカルマンモン **075**,178,193
ズバイガーモン **086**,172,180,189
ズバモン **085**,172,180,185
ズルモン **060**,180,183
スレイプモン **137**,150,174,196
スレイヤードラモン **097**,101,181,194
セイバーハックモン **091**,180,192

タ

ダークティラノモン **063**,180,189
タイタモン **080**,173,179,194
タスクモン **066**,180,189
タネモン **046**,179,184
ツノモン **020**,178,182,184
ディアナモン **110**,174,181,194
ティラノモン **010**,178,186
デーモン **146**,197
デーモン　現実世界の姿 146
デジタマモン **058**,179,191
デスモン **149**,197
デスモン(ウィルス種) 149
デビドラモン **065**,180,189
デビモン **011**,178,186
デュークモン **131**,150,196
デュナスモン **133**,150,196

デュラモン **087**,172,180,192
デュランダモン **088**,172,180,194
デルタモン **068**,180,189
トイアグモン 019
トイアグモン(黒) 019
ドゥフトモン **138**,150,196
ドゥフトモン：レオパルドモード 138
トコモン **033**,179,184
ドドモン **115**,182,183
ドラコモン **094**,101,181,185
ドリモゲモン **041**,179,188
ドリモン **115**,182,184
ドルガモン **117**,182,190
ドルグレモン **118**,182,193
ドルモン **116**,182,186

ナ

ナニモン **055**,176,179,189
ナノモン **071**,180,192
ニセアグモン博士 019
ニャロモン **120**,182,184
ヌメモン **015**,176,178,187

ハ

バードラモン **027**,178,187
ハイアンドロモン **077**,174,179,193
バオハックモン **090**,180,190
パグモン **060**,180,184
バケモン **039**,179,188
パタモン **034**,179,185
ハックモン **089**,101,180,185
バルバモン **145**,197
パルモン **048**,179,185
パンチョーマメモン **074**,178,193
ピチモン **102**,176,181,183
ピッコロモン **057**,179,191
ピノッキモン **082**,180,194
ピヨモン **047**,179,185
ファイラモン **104**,181,190
プカモン **102**,181,184
プシアグモン 019
プチモン **093**,181,183
プニモン **020**,178,182,183
フライモン **067**,180,189
ブリッツグレイモン **073**,174,178,193
フレアモン **105**,181,192
ブレイクドラモン **100**,101,174,181,194
プロットモン **121**,182,186
ベーダモン **032**,178,191
ベジーモン **029**,176,178,187
ベタモン **008**,178,184
ベビドモン **093**,181,184
ベリアルヴァンデモン **147**,197
ベルゼブモン **142**,173,197
ベルゼブモン：ブラストモード 142
ベルゼブモン+ベヒーモス 142
ベルフェモン：レイジモード **144**,173,197
ベルフェモン：スリープモード 144
ホエーモン **028**,178,187
ボタモン **006**,178,182,183
ポヨモン **033**,176,179,183

マ

マグナモン **132**,150,197
マメモン **017**,178,190
ムゲンドラモン **081**,172,174,179,180,194
ムルムクスモン **148**,197
メイクーモン **122**,182,190
メイクラックモン **123**,182,193
メガドラモン **056**,179,191
メタルガルルモン **114**,173,181,182,195
メタルグレイモン（ウィルス種） **016**,178,190
メタルグレイモン（ワクチン種） **111**,173,182,192
メタルティラノモン **070**,180,191
メタルマメモン **031**,178,191
メラモン **012**,178,186
モジャモン **054**,179,189
モノクロモン **049**,179,188
もんざえモン **018**,178,191

ヤ

ユキアグモン 019
ユキダルモン **026**,178,187
ユキミボタモン **120**,182,183
ユニモン **036**,179,187
ユラモン **046**,176,179,183

ラ

ラジエルモン **124**,182,195
ラストティラノモン **126**,172,176,179,180,195
リヴァイアモン **141**,197
リリスモン **143**,197
ルーチェモン：サタンモード 140
ルーチェモン 天使型 140
ルーチェモン：ラルバ 140
ルーチェモン：フォールダウンモード **140**,193
ルナモン **107**,181,186
レアモン **069**,176,180,189
レオモン **051**,179,188
レキスモン **108**,181,190
ロードナイトモン **134**,150,196

ワ

ワーガルルモン **113**,182,192

デジタルモンスター
DIGITALMONSTER
ART BOOK Ver.1~5 & 20th

発売元　株式会社バンダイ
東京都台東区駒形1-4-8 〒111-8081

発行　2017年12月1日発行

協力　渡辺けんじ
森山 奏
中野 牌人
兎塚クニアキ
株式会社　ウィズ
編集　キャラメル・ママ
デザイン　Kプラスアートワークス有限会社
印刷　株式会社シナテック

対象年齢15才以上　2399452

⚠注 意　お買上げのお客様へ　必ずお読みください。

●本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないで下さい。
※イラストや設定などは当時のものを掲載しております。
そのため、現在とは表現が異なる物もございますのでご了承ください。

≪電話受付先≫　バンダイお客様相談センター
〒277-8511　柏市豊四季241-22　ナビダイヤル　0570-041-101
●受付時間 10時～17時（祝日、夏季・冬季休業日を除く）
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

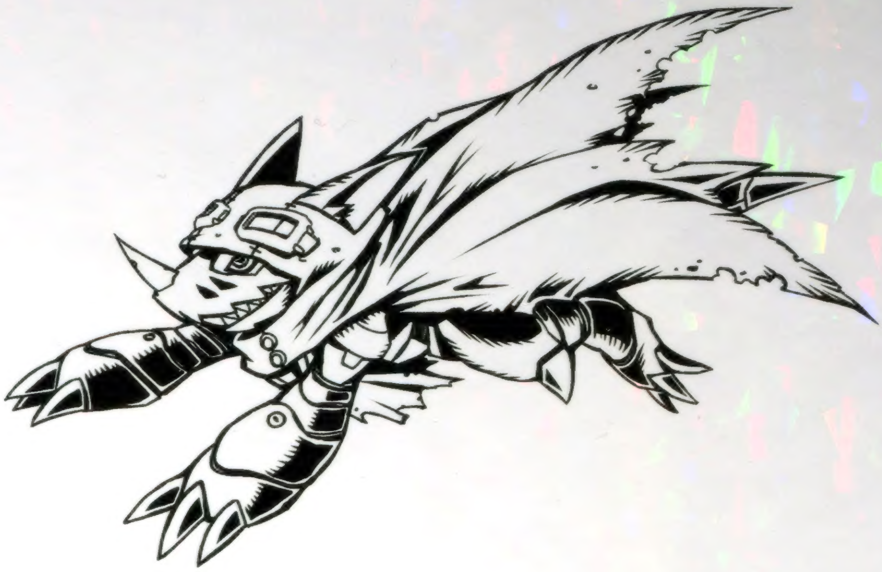
≪商品・修理品送付先≫　バンダイ　栃木修理・配送センター
〒321-0298　栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち4-2-20
●営業時間 10時～17時（土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く）　電話番号はお客様相談センター共通

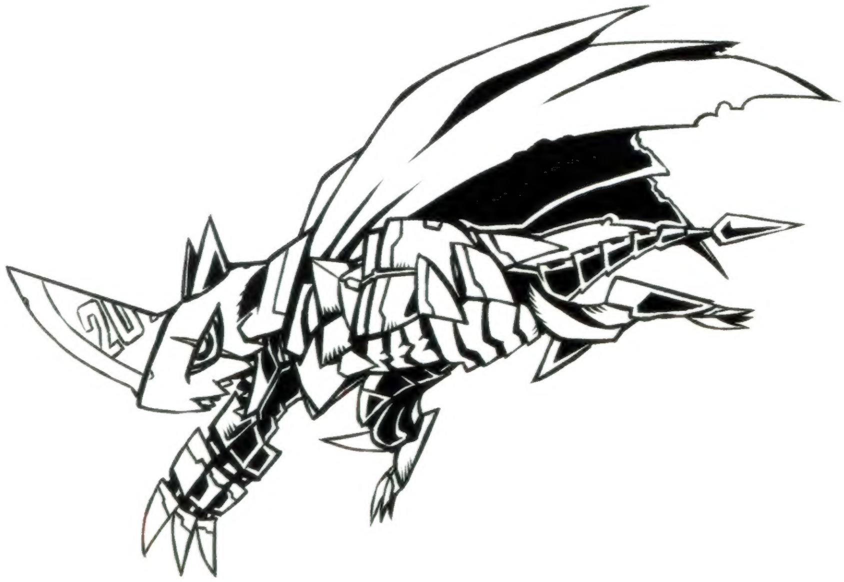
海外からのお問い合わせは受け付けておりません。
Customer service inquiries are not accepted from outside Japan.



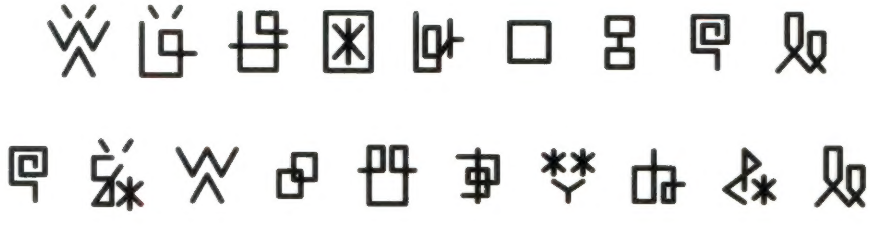
デジタルモンスター
DIGITAL MONSTER
ART BOOK Ver.1~5 & 20th











DIGITALMONSTER ART BOOK Ver.1~5 & 20th